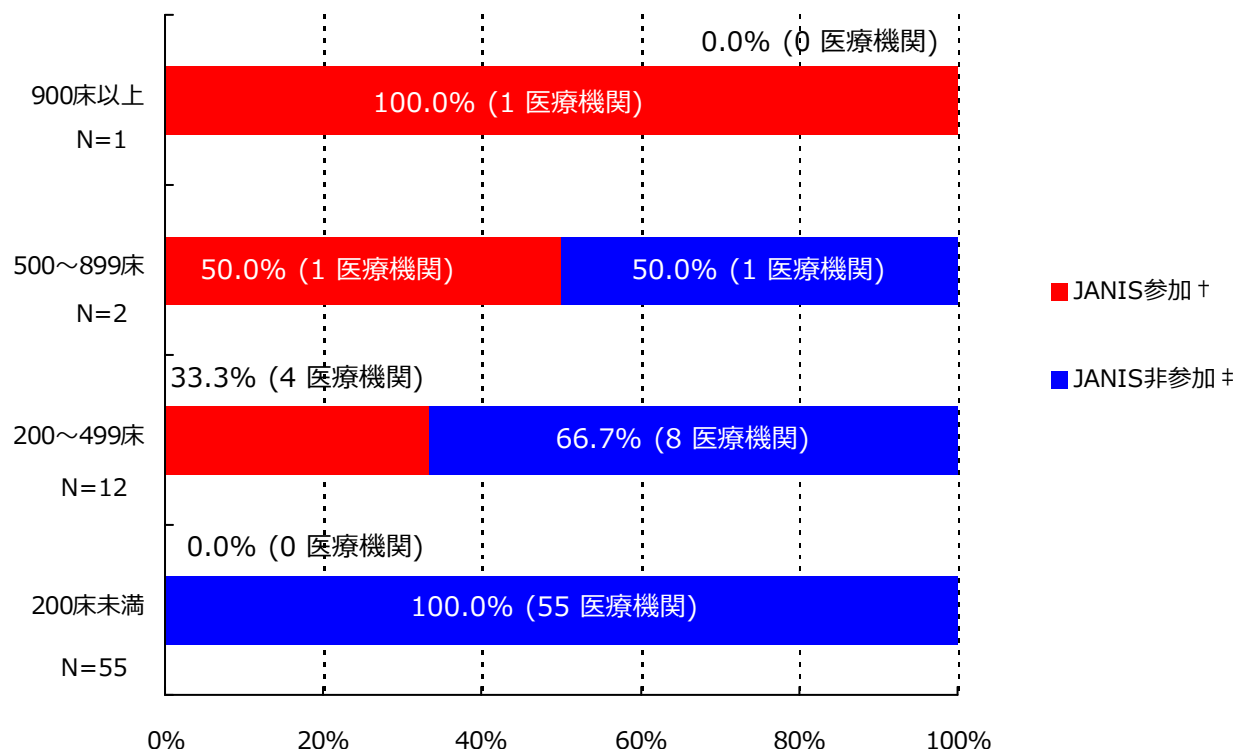


(福井県)
公開情報 2015年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)
院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



1. データ提出医療機関*数(6医療機関)



*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

† JANIS参加 = 2015年1月～12月 集計対象医療機関数

‡ JANIS非参加 = (2014年 都道府県別医療機関数¶) - (2015年1月～12月 集計対象医療機関数)

病床数	2014年 都道府県別医療機関数¶	2015年1月～12月 集計対象医療機関数 (都道府県別医療機関数に占める割合)
900床以上	1	1 (100.0%)
500～899床	2	1 (50.0%)
200～499床	12	4 (33.3%)
200床未満	55	0 (0.0%)
病床数不明	-	0 (-)
合計	70	6 (8.6%)

¶平成26年医療施設（動態）調査を参照した。

(福井県)

公開情報 2015年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

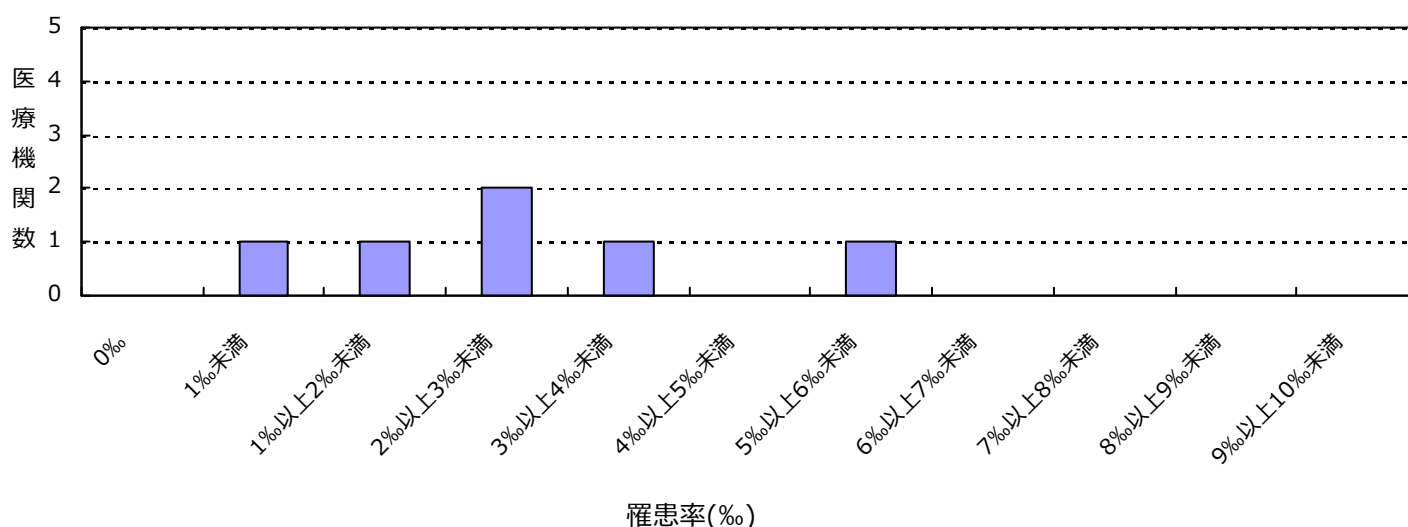


2. 新規感染症患者数と罹患率

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
MRSA	42,271	2	83	1.96%	0.72 2.40 5.67

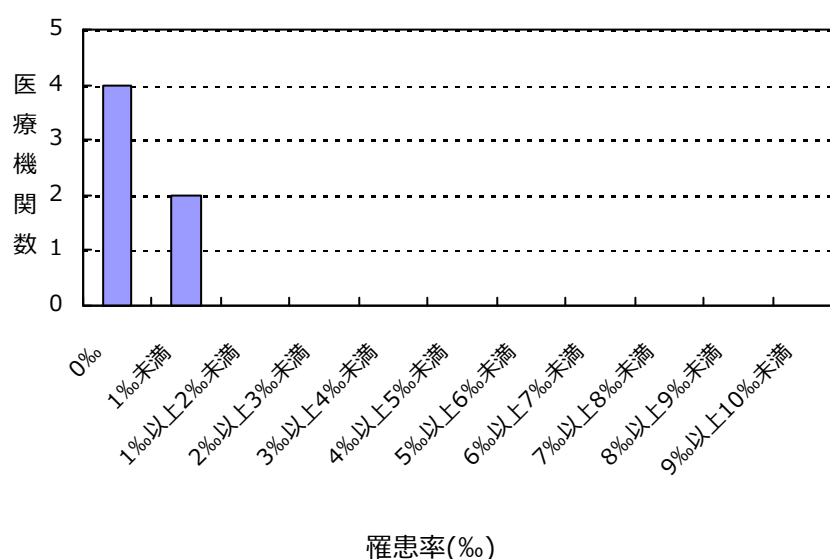
集計対象医療機関の罹患率(N=6)



ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
PRSP	42,271	0	7	0.17%	0.00 0.00 0.36

集計対象医療機関の罹患率(N=6)



(福井県)

公開情報 2015年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)
院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

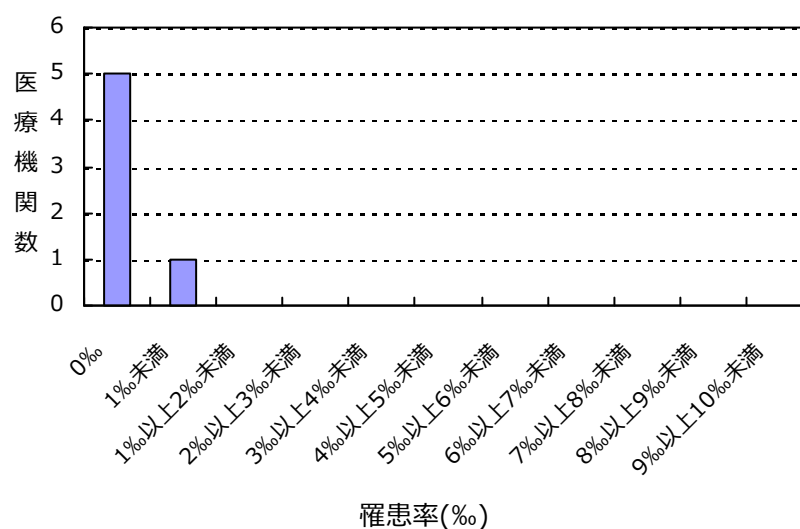


2. 新規感染症患者数と罹患率

多剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(‰)の分布
MDRP	42,271	0	1	0.02‰	0.00 0.00 0.07

集計対象医療機関の罹患率(N=6)



(福井県)

公開情報 2015年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)感染症の報告はありませんでした

バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)感染症の報告はありませんでした

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)感染症の報告はありませんでした

総入院患者数、新規感染症患者数、罹患率の説明

総入院患者数 = (対象期間の各月の新規入院患者数の合計) + (対象期間の一番初めの月の継続入院患者数)

感染症患者数 = (新規感染症患者数) + (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)

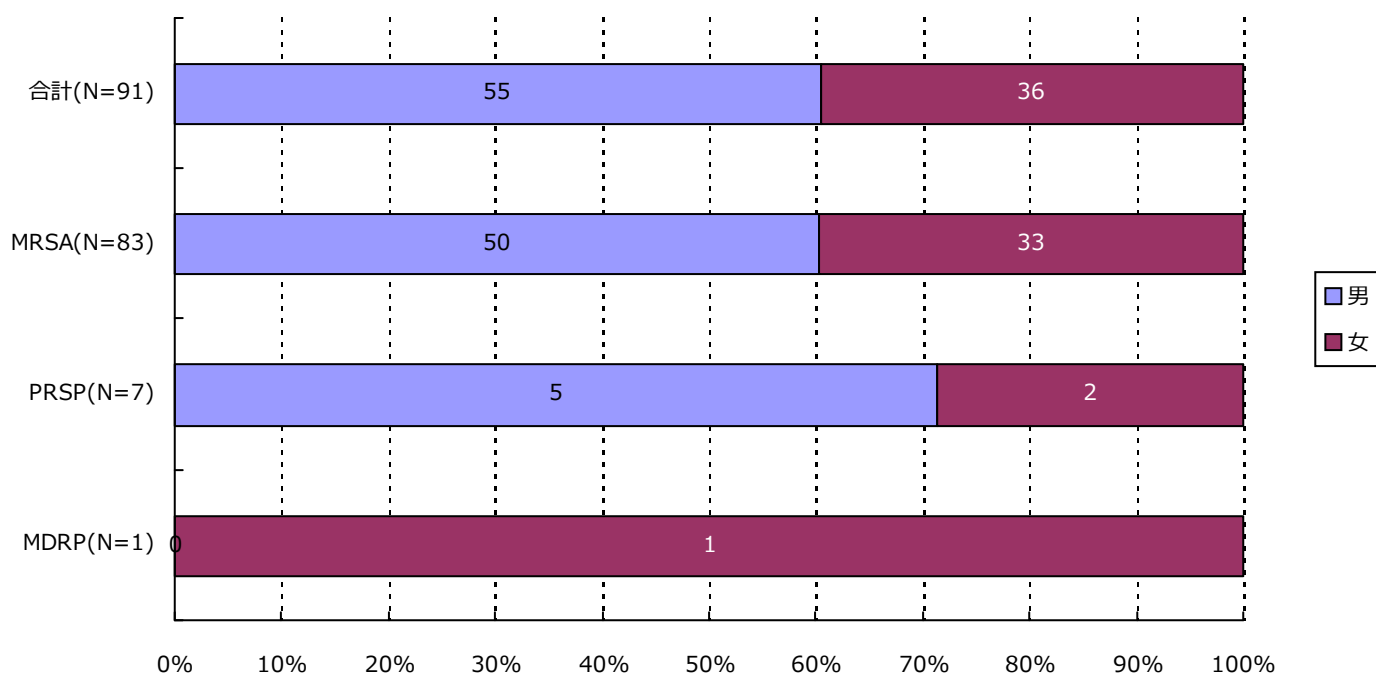
新規感染症患者数 = 対象期間の各月の新規感染症患者数の合計

継続感染症患者数 = 対象期間の一番初めの月より前に新規感染症患者とされ、対象期間の一番初めの月に改めて検査した際にも、継続的に同じ耐性菌に感染していた患者の数

罹患率 = (新規感染症患者数) ÷ ((総入院患者数) - (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)) × 1000

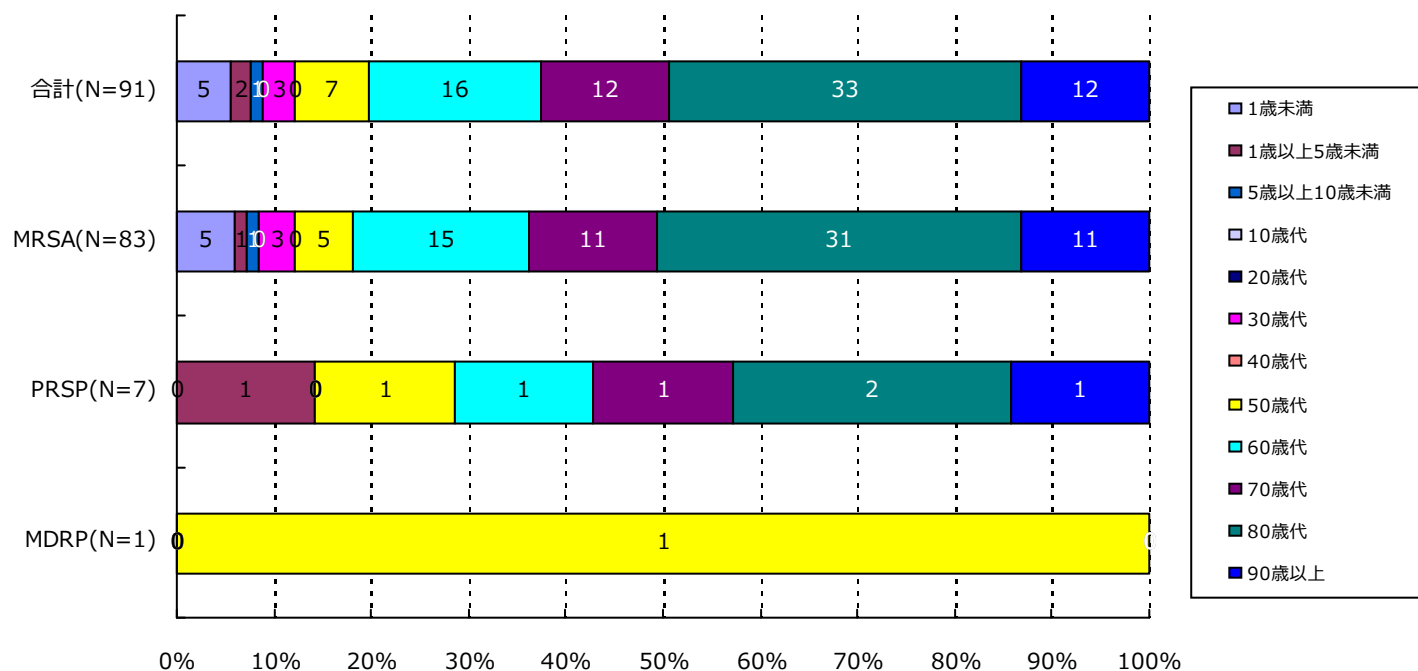
全体の罹患率 = (集計対象医療機関の新規感染症患者数合計) ÷ ((集計対象医療機関の総入院患者数合計) - (集計対象医療機関の対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数合計)) × 1000

3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳



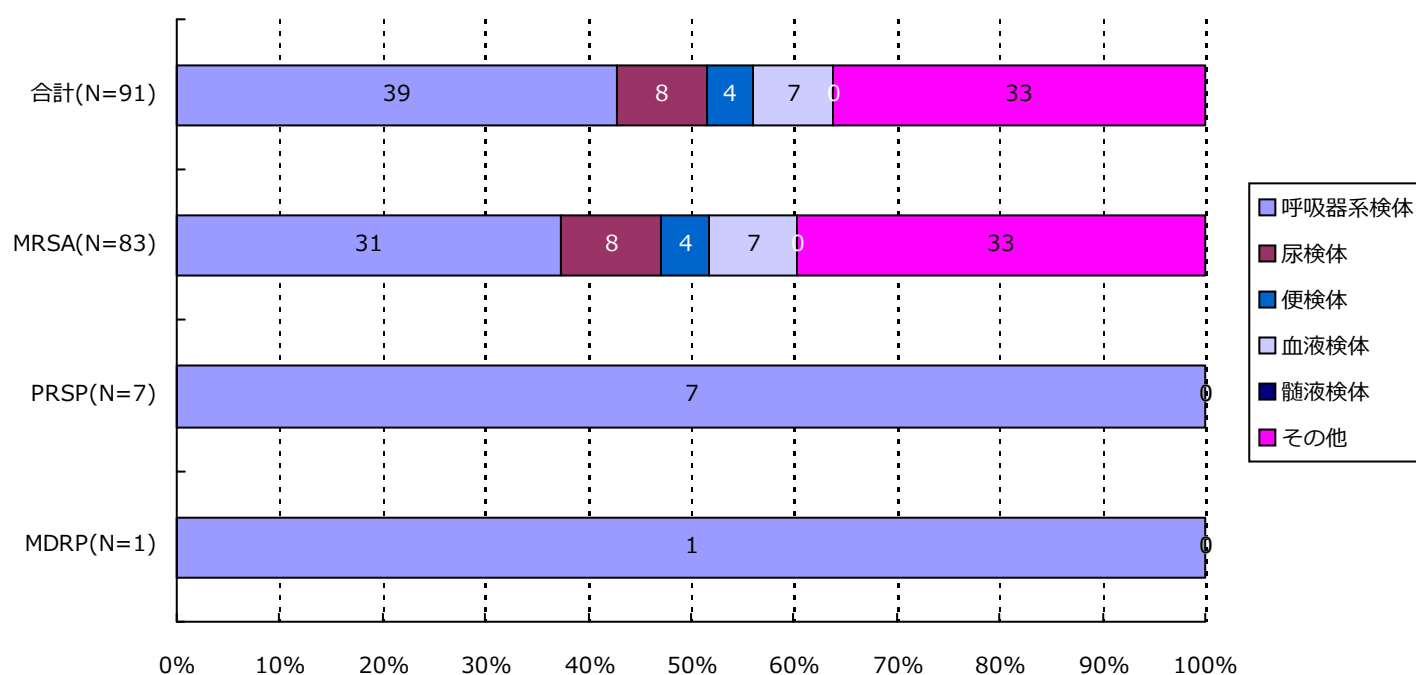
分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
男	55 (60.4%)	50 (60.2%)	0 (-)	0 (-)	5 (71.4%)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
女	36 (39.6%)	33 (39.8%)	0 (-)	0 (-)	2 (28.6%)	1 (100.0%)	0 (-)	0 (-)
合計	91	83	0	0	7	1	0	0

4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
1歳未満	5(5.5%)	5(6.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
1歳以上5歳未満	2(2.2%)	1(1.2%)	0(-)	0(-)	1(14.3%)	0(-)	0(-)	0(-)
5歳以上10歳未満	1(1.1%)	1(1.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
10歳代	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
20歳代	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
30歳代	3(3.3%)	3(3.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
40歳代	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
50歳代	7(7.7%)	5(6.0%)	0(-)	0(-)	1(14.3%)	1(100.0%)	0(-)	0(-)
60歳代	16(17.6%)	15(18.1%)	0(-)	0(-)	1(14.3%)	0(-)	0(-)	0(-)
70歳代	12(13.2%)	11(13.3%)	0(-)	0(-)	1(14.3%)	0(-)	0(-)	0(-)
80歳代	33(36.3%)	31(37.3%)	0(-)	0(-)	2(28.6%)	0(-)	0(-)	0(-)
90歳以上	12(13.2%)	11(13.3%)	0(-)	0(-)	1(14.3%)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	91	83	0	0	7	1	0	0

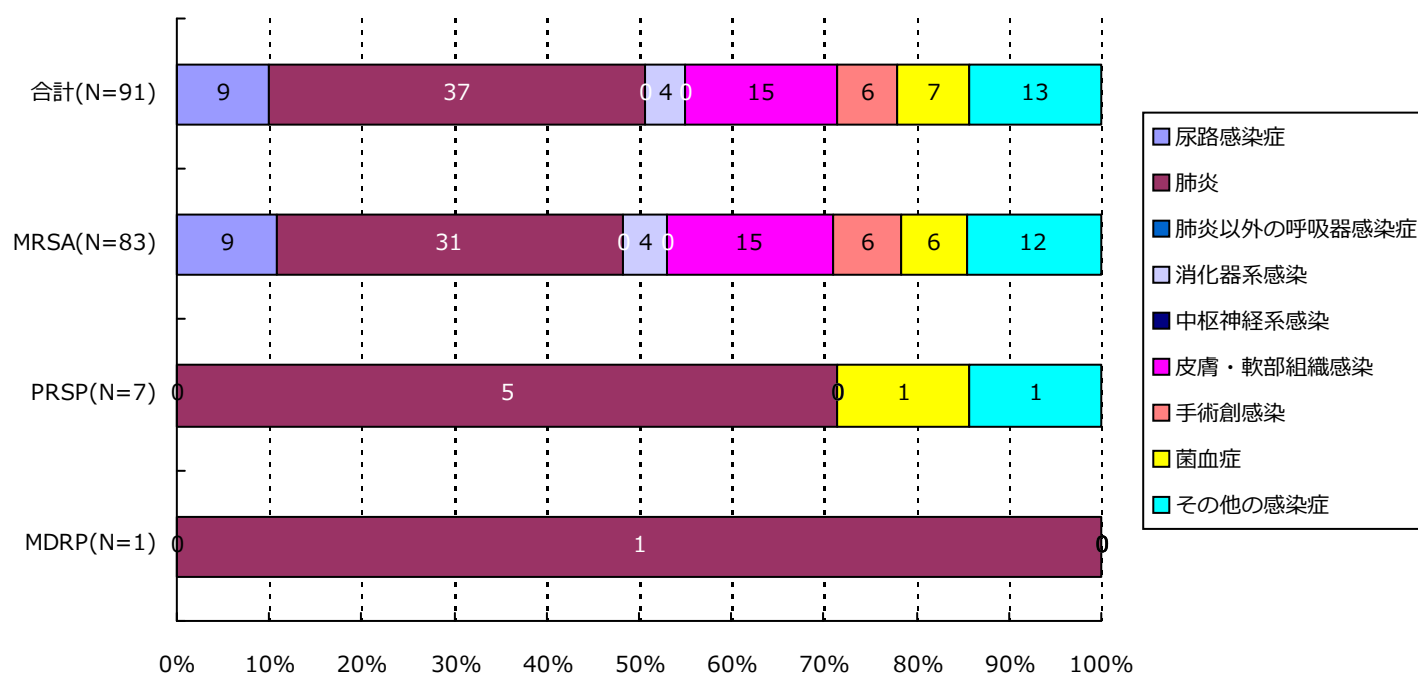
5. 耐性菌新規感染症患者の検体*内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
呼吸器系	39(42.9%)	31(37.3%)	0(-)	0(-)	7(100.0%)	1(100.0%)	0(-)	0(-)
尿検体	8(8.8%)	8(9.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
便検体	4(4.4%)	4(4.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
血液検体	7(7.7%)	7(8.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
髄液検体	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	33(36.3%)	33(39.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	91	83	0	0	7	1	0	0

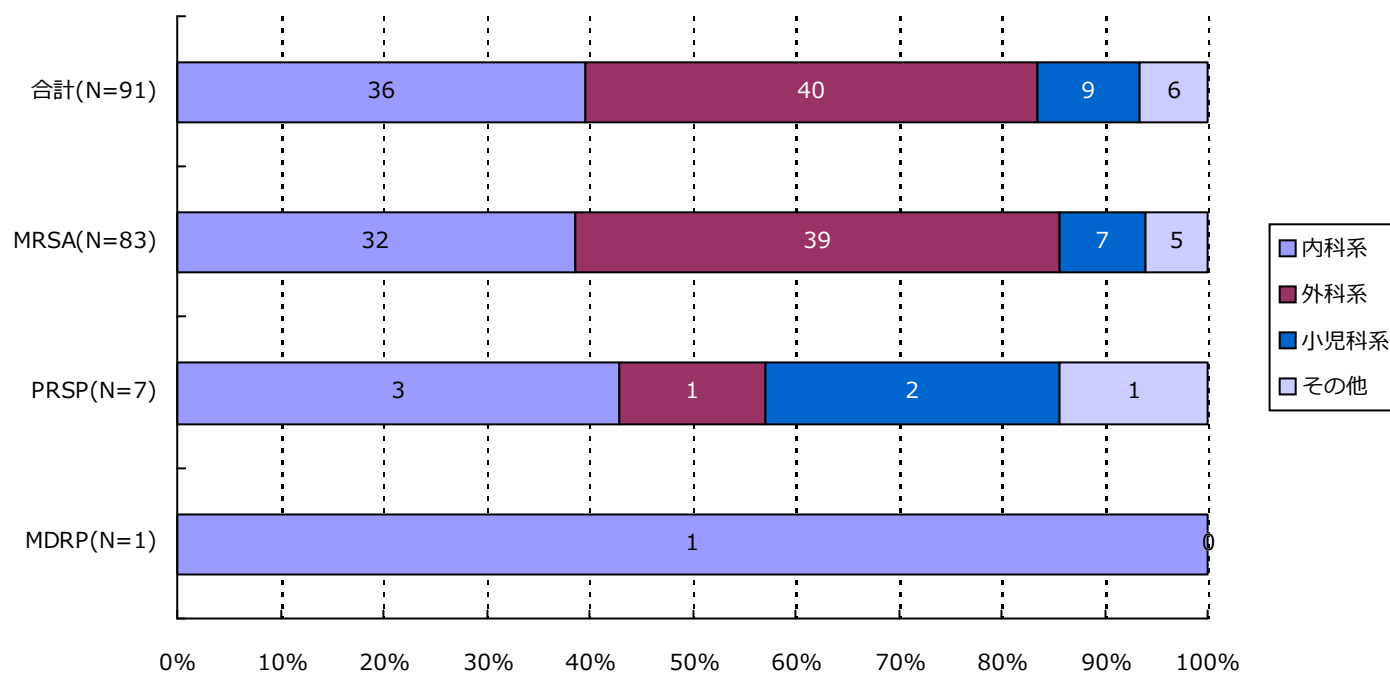
*検体区分については巻末の資料 1 を参照

6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
尿路	9(9.9%)	9(10.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
肺炎	37(40.7%)	31(37.3%)	0(-)	0(-)	5(71.4%)	1(100.0%)	0(-)	0(-)
肺炎以外	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
消化器系	4(4.4%)	4(4.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
中枢神経系	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
皮膚・軟部	15(16.5%)	15(18.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
手術創	6(6.6%)	6(7.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
菌血症	7(7.7%)	6(7.2%)	0(-)	0(-)	1(14.3%)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	13(14.3%)	12(14.5%)	0(-)	0(-)	1(14.3%)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	91	83	0	0	7	1	0	0

7. 耐性菌新規感染症患者の診療科*別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
内科系	36(39.6%)	32(38.6%)	0(-)	0(-)	3(42.9%)	1(100.0%)	0(-)	0(-)
外科系	40(44.0%)	39(47.0%)	0(-)	0(-)	1(14.3%)	0(-)	0(-)	0(-)
小児科系	9(9.9%)	7(8.4%)	0(-)	0(-)	2(28.6%)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	6(6.6%)	5(6.0%)	0(-)	0(-)	1(14.3%)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	91	83	0	0	7	1	0	0

*診療科の内訳については巻末の資料2を参照

・資料 1

呼吸器系検体	喀出痰
	気管内採痰
	気管支洗浄液
	咽頭粘液
	鼻腔内
	口腔内
	生検材料(肺)
	胸水
	その他(呼吸器)
尿検体	自然排尿
	採尿カテーテル
	留置カテーテル
	カテーテル尿
便検体	糞便
血液検体	静脈血
	動脈血
髄液検体	髄液
その他	尿道分泌液
	膣分泌液
	胃・十二指腸液
	胆汁
	生検材料(消化管)
	腹水
	関節液
	その他

・資料 2

内科系	内科
	循環器内科
	神経内科
	呼吸器内科
	消化器内科
	胃腸科
	内分泌・代謝内科
	腎臓内科
	糖尿病内科
	アレルギー・膠原病内科
	膠原病内科
	アレルギー内科
	リウマチ内科
	血液内科
	感染症内科
	老人内科
	心療内科
	その他
神経科	
精神科	
放射線科	
総合診療部	
救急部	
救急・集中治療部	
集中治療部(ICU)	
冠動脈疾患集中治療部(CCU)	
内視鏡科	
透析科	
理学療法・リハビリテーション科	
理学療法科	
リハビリテーション科	
麻酔科	
その他	

外科系	外科
	消化器外科
	肛門科
	肝胆脾外科
	心臓血管外科
	内分泌外科
	呼吸器外科
	小児外科
	小児循環器外科
	小児消化器外科
	産婦人科
	産科
	婦人科
	整形外科
	美容外科
	眼科
	耳鼻咽喉科
	気管食道科
	泌尿器科
	小児科系
皮膚科	
脳神経外科	
形成外科	
歯科口腔外科	
歯科	
小児歯科	
矯正歯科	
口腔外科	
手術部	
移植・人工臓器科	
小児科	
新生児科	
新生児集中治療部(NICU)	
周産期センター	

・資料 3 厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 薬剤耐性菌 判定基準 (Ver.3.1)

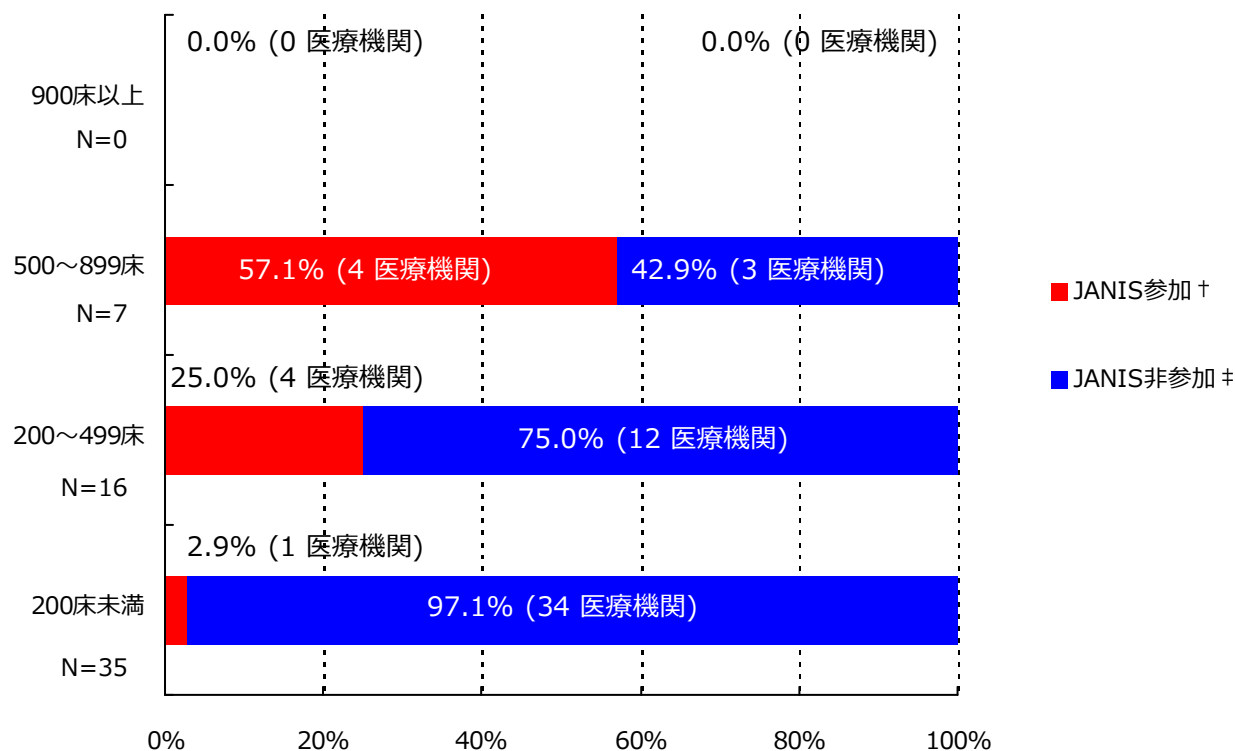
菌名	概要*	菌名コード	微量液体希釈法の基準*	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)	MPIPC が “R” の <i>Staphylococcus aureus</i> (または CFX がディスク拡散法で “R”)、または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC \geq 4 μ g/ml	MPIPC \leq 10mm または CFX \leq 21mm
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	VCM が微量液体希釈法で “R” の <i>Staphylococcus aureus</i>	1301、1303-1306	VCM \geq 16 μ g/ml	
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・ VCM が微量液体希釈法で耐性 + ・ VCM がディスク拡散法で “R” ・ 選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp. は除く	1201、1202、1205、1206、1209、1210、1213-1217	VCM \geq 16 μ g/ml +	VCM \leq 14mm
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	PCG が微量液体希釈法で耐性 +、または MPIPC がディスク拡散法で “S 以外” の <i>Streptococcus pneumoniae</i>	1131	PCG \geq 0.125 μ g/ml +	MPIPC \leq 19mm または PCG が試薬会社の基準で “S 以外” (例 \leq 23mm) ‡
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	下記のすべての条件を満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・ カルバペネム系 (IPM、MEPM のいずれか) が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX、GFLX のいずれか)	4001	IPM・MEPM \geq 16 μ g/ml + AMK \geq 32 μ g/ml + NFLX \geq 16 μ g/ml OFLX・LVFX・LFLX・GFLX \geq 8 μ g/ml CPFX \geq 4 μ g/ml	IPM・MEPM \leq 13mm + AMK \leq 14mm NFLX・OFLX \leq 12mm LVFX \leq 13mm、LFLX \leq 18mm CPFX \leq 15mm、GFLX \leq 14mm
多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)	下記のすべての条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp. ・ カルバペネム系が “R” (IPM、MEPM のいずれか) ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (LVFX、CPFX、GFLX のいずれか)	4400-4403	IPM・MEPM \geq 16 μ g/ml AMK \geq 32 μ g/ml + LVFX・GFLX \geq 8 μ g/ml CPFX \geq 4 μ g/ml	IPM・MEPM \leq 13mm AMK \leq 14mm LVFX \leq 13mm、GFLX \leq 14mm CPFX \leq 15mm
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE)	下記のいずれかの条件を満たす腸内細菌科細菌 ・ MEPM が耐性 + ・ IPM が耐性 +、かつ CMZ が “R”	2000-2691、3150-3151	MEPM \geq 2 μ g/ml + IPM \geq 2 μ g/ml + かつ CMZ \geq 64 μ g/ml	MEPM \leq 22mm IPM \leq 22mm、かつ CMZ \leq 12mm

* 原則 S,I,R の判定は CLSI2012(M100-S22)に準拠

+ 感染症発生動向調査の基準に準拠

‡ PR(I)SP のスクリーニングにディスク拡散法で PCG を用いることは推奨されていないが、国内の現状を考慮し採用

1. データ提出医療機関*数(9医療機関)



*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

† JANIS参加 = 2015年1月～12月 集計対象医療機関数

‡ JANIS非参加 = (2014年 都道府県別医療機関数¶) - (2015年1月～12月 集計対象医療機関数)

病床数	2014年 都道府県別医療機関数¶	2015年1月～12月 集計対象医療機関数 (都道府県別医療機関数に占める割合)
900床以上	0	0 (-)
500～899床	7	4 (57.1%)
200～499床	16	4 (25.0%)
200床未満	35	1 (2.9%)
病床数不明	-	0 (-)
合計	58	9 (15.5%)

¶平成26年医療施設（動態）調査を参照した。

(滋賀県)

公開情報 2015年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

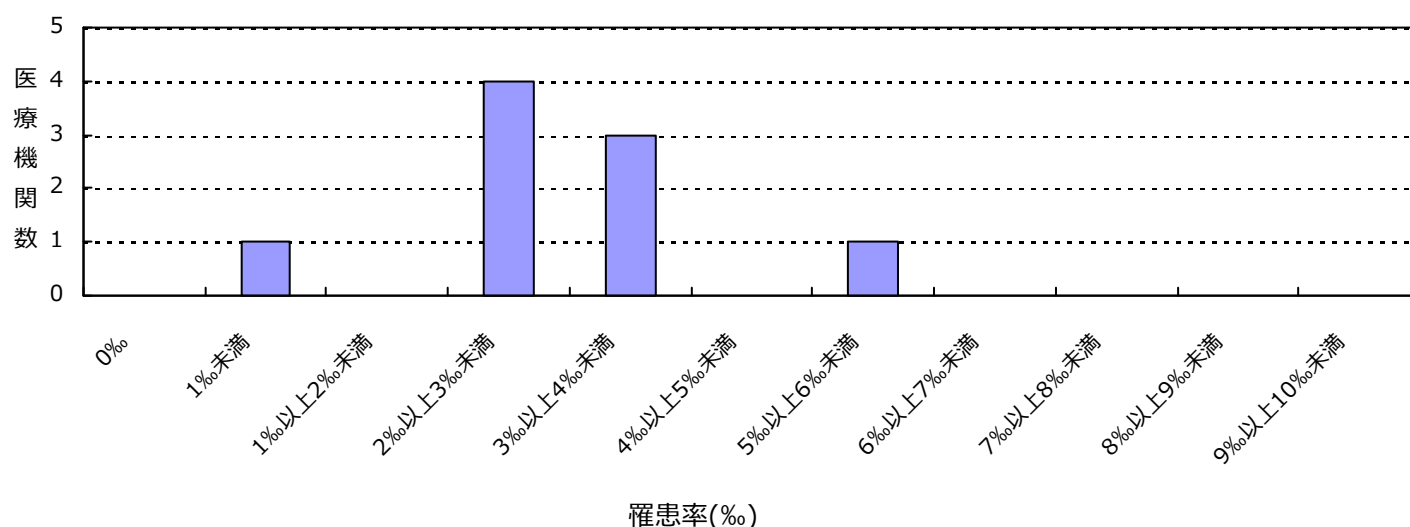


2. 新規感染症患者数と罹患率

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
MRSA	81,025	3	206	2.54%	0.63 2.83 5.79

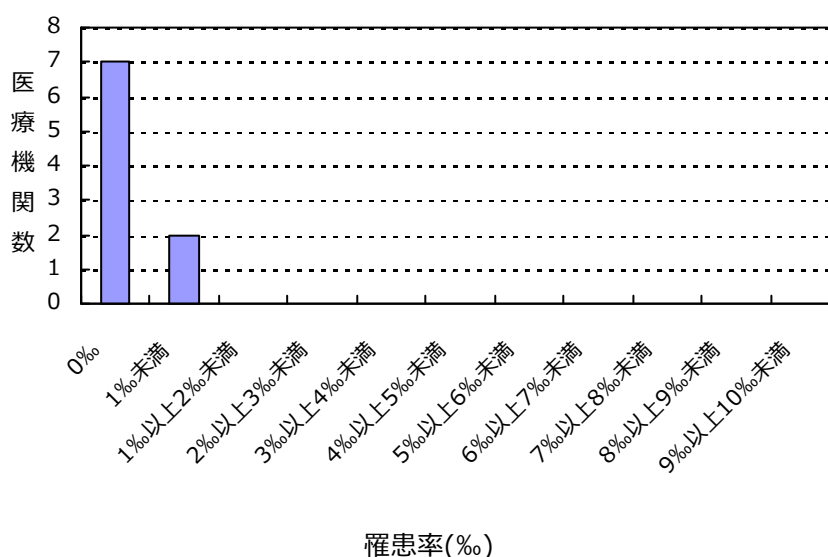
集計対象医療機関の罹患率(N=9)



ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
PRSP	81,025	0	6	0.07%	0.00 0.00 1.00

集計対象医療機関の罹患率(N=9)



(滋賀県)

公開情報 2015年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)
院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

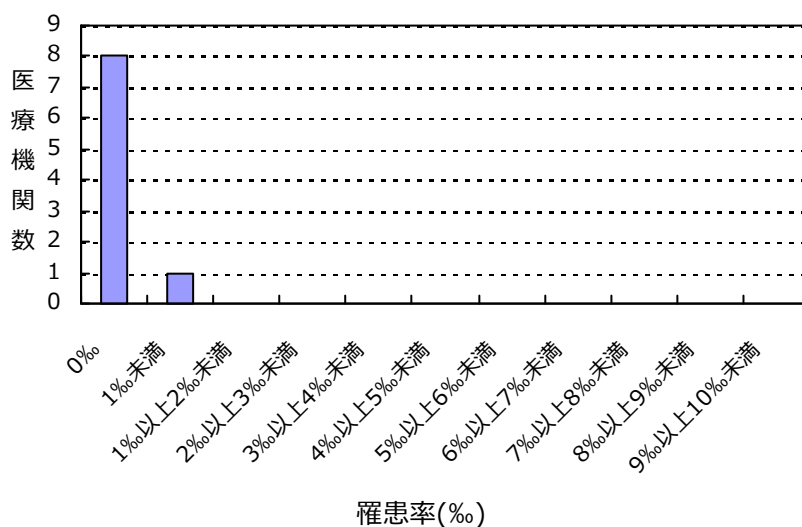


2. 新規感染症患者数と罹患率

多剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
MDRP	81,025	0	1	0.01%	0.00 0.00 0.10

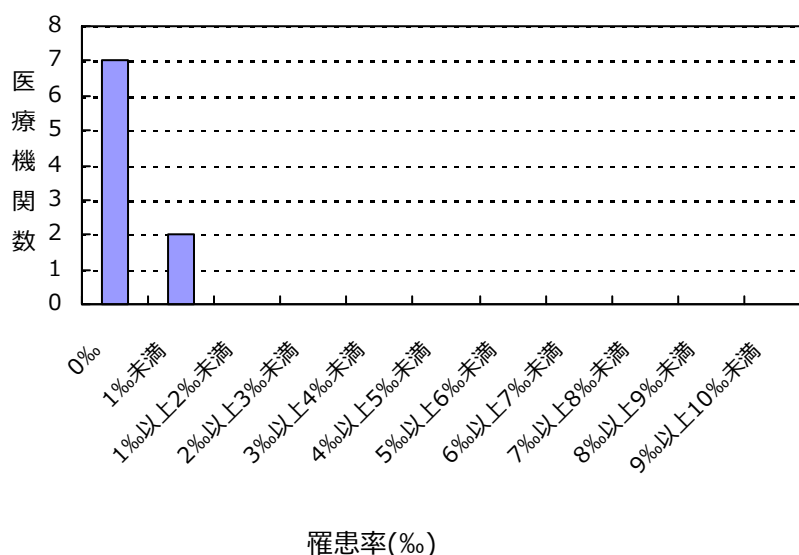
集計対象医療機関の罹患率(N=9)



カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
CRE	81,025	0	2	0.02%	0.00 0.00 0.10

集計対象医療機関の罹患率(N=9)



(滋賀県)

公開情報 2015年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)感染症の報告はありませんでした

バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)感染症の報告はありませんでした

総入院患者数、新規感染症患者数、罹患率の説明

総入院患者数 = (対象期間の各月の新規入院患者数の合計) + (対象期間の一番初めの月の継続入院患者数)

感染症患者数 = (新規感染症患者数) + (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)

新規感染症患者数 = 対象期間の各月の新規感染症患者数の合計

継続感染症患者数 = 対象期間の一番初めの月より前に新規感染症患者とされ、対象期間の一番初めの月に改めて検査した際にも、継続的に同じ耐性菌に感染していた患者の数

罹患率 = (新規感染症患者数) ÷ ((総入院患者数) - (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)) × 1000

全体の罹患率 = (集計対象医療機関の新規感染症患者数合計) ÷ ((集計対象医療機関の総入院患者数合計) - (集計対象医療機関の対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数合計)) × 1000

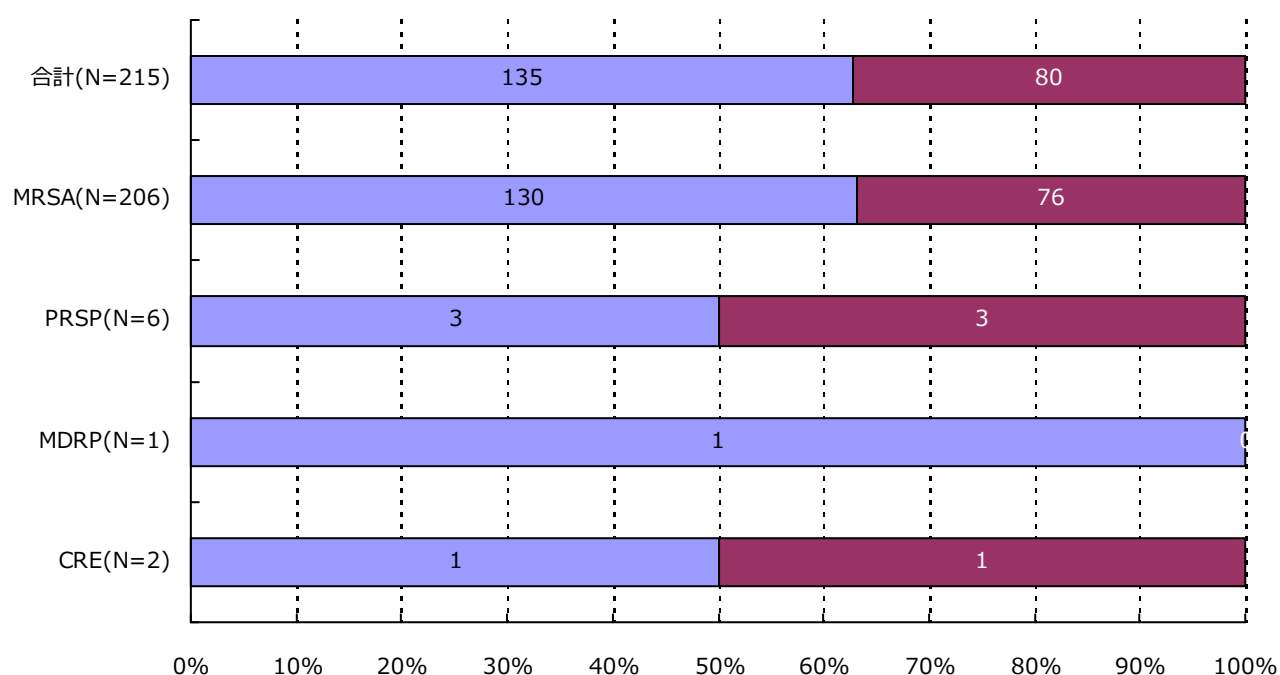
(滋賀県)

公開情報 2015年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
男	135 (62.8%)	130 (63.1%)	0 (-)	0 (-)	3 (50.0%)	1 (100.0%)	0 (-)	1 (50.0%)
女	80 (37.2%)	76 (36.9%)	0 (-)	0 (-)	3 (50.0%)	0 (-)	0 (-)	1 (50.0%)
合計	215	206	0	0	6	1	0	2

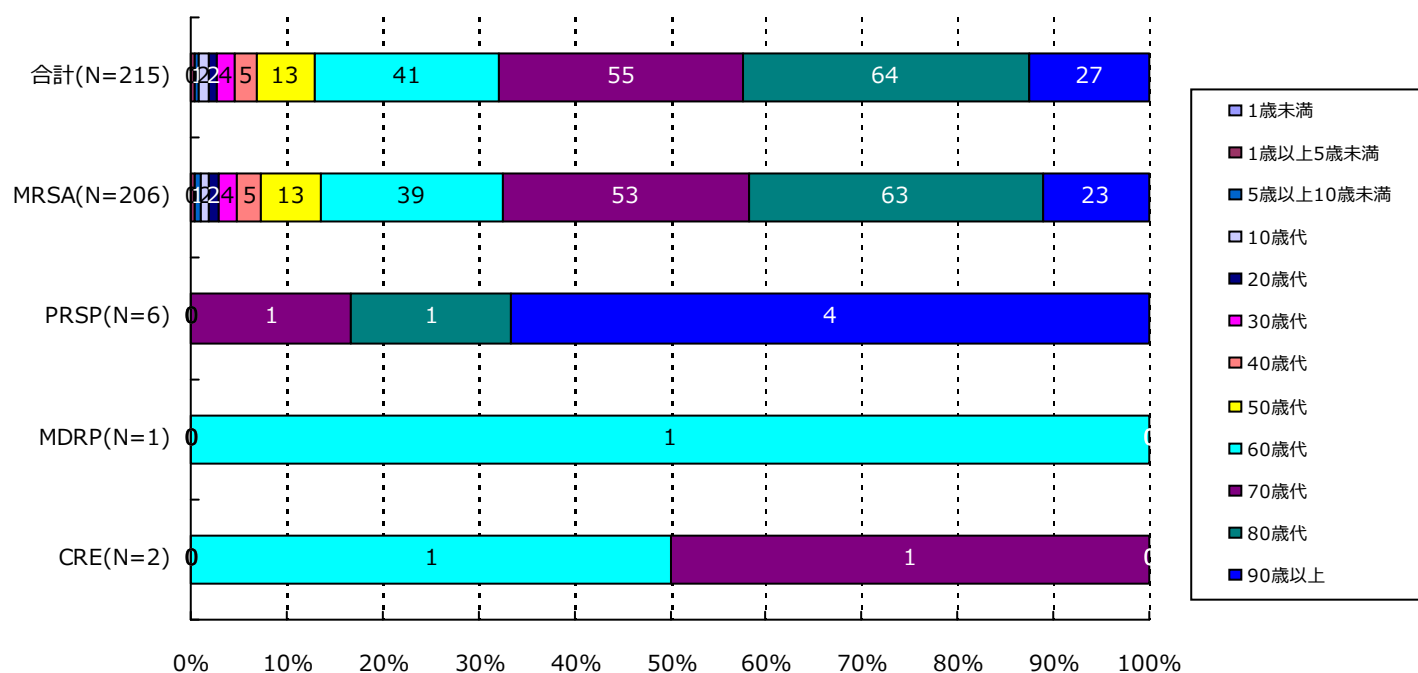
(滋賀県)

公開情報 2015年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

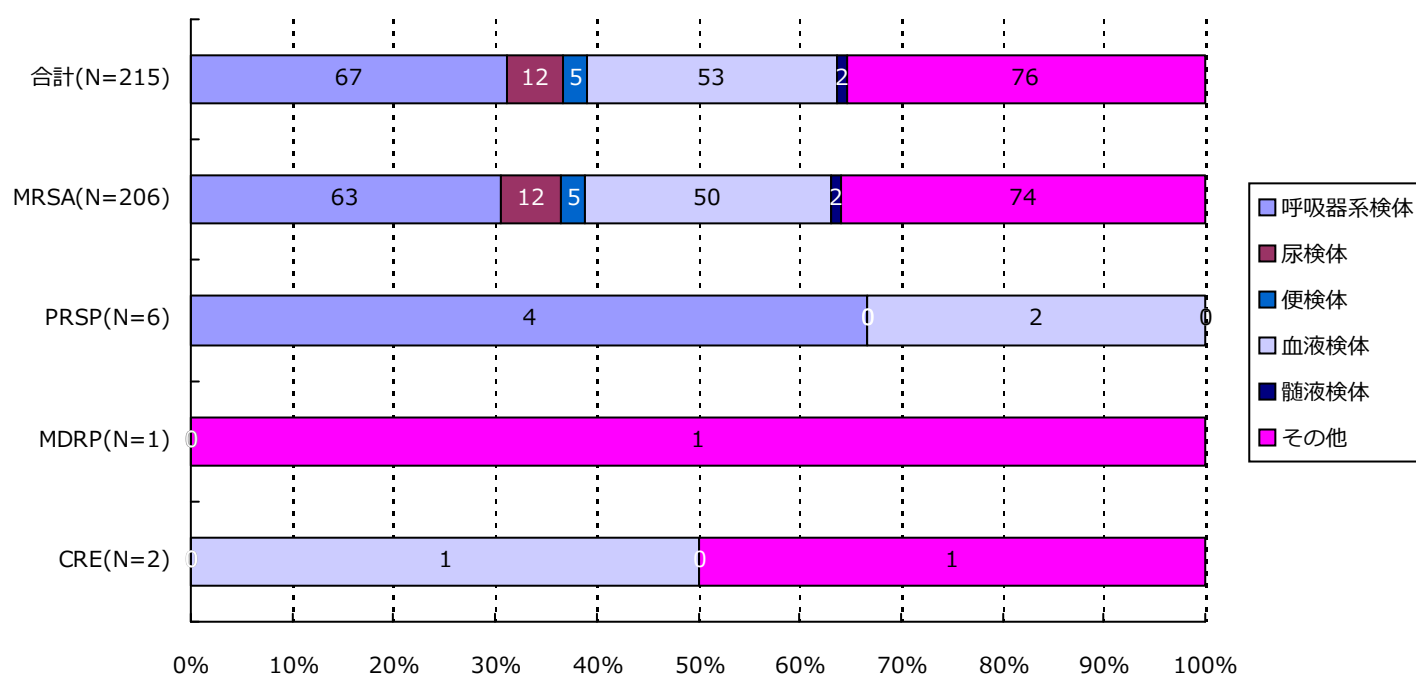


4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
1歳未満	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
1歳以上5歳未満	1(0.5%)	1(0.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
5歳以上10歳未満	1(0.5%)	1(0.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
10歳代	2(0.9%)	2(1.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
20歳代	2(0.9%)	2(1.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
30歳代	4(1.9%)	4(1.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
40歳代	5(2.3%)	5(2.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
50歳代	13(6.0%)	13(6.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
60歳代	41(19.1%)	39(18.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(100.0%)	0(-)	1(50.0%)
70歳代	55(25.6%)	53(25.7%)	0(-)	0(-)	1(16.7%)	0(-)	0(-)	1(50.0%)
80歳代	64(29.8%)	63(30.6%)	0(-)	0(-)	1(16.7%)	0(-)	0(-)	0(-)
90歳以上	27(12.6%)	23(11.2%)	0(-)	0(-)	4(66.7%)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	215	206	0	0	6	1	0	2

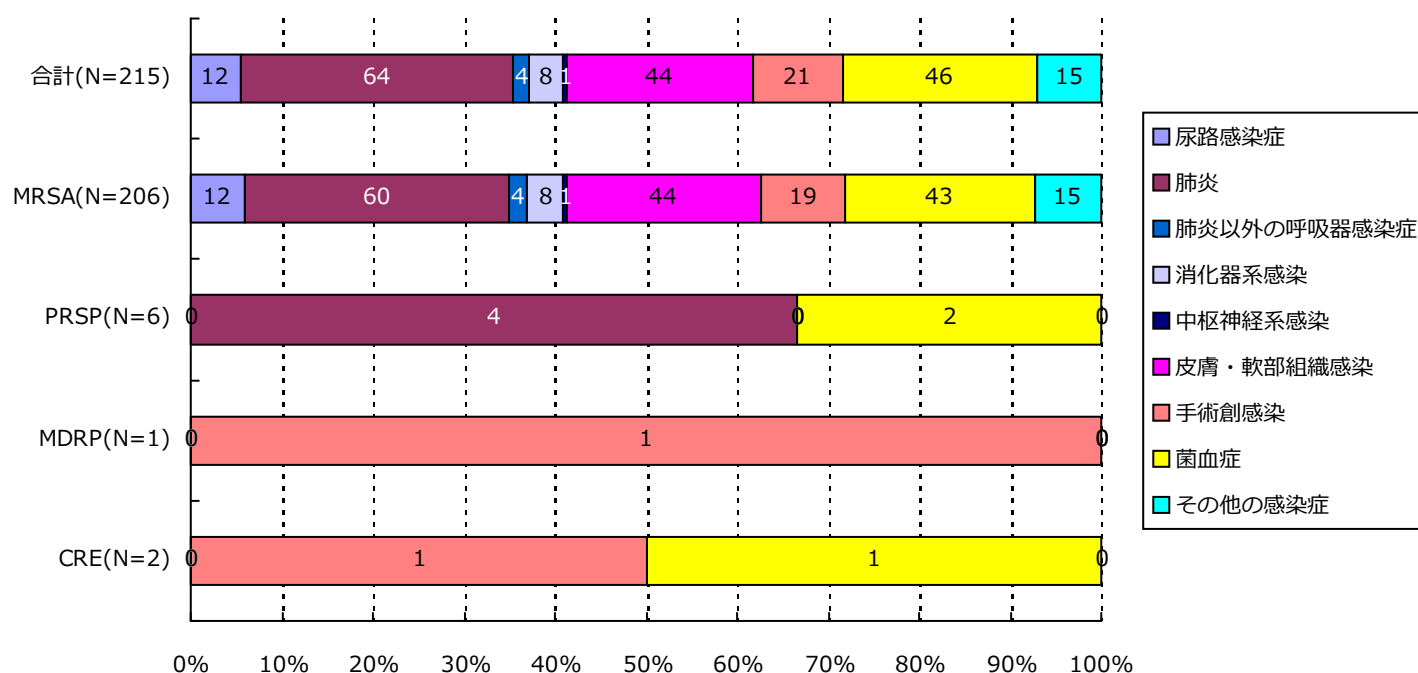
5. 耐性菌新規感染症患者の検体*内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
呼吸器系	67(31.2%)	63(30.6%)	0(-)	0(-)	4(66.7%)	0(-)	0(-)	0(-)
尿検体	12(5.6%)	12(5.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
便検体	5(2.3%)	5(2.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
血液検体	53(24.7%)	50(24.3%)	0(-)	0(-)	2(33.3%)	0(-)	0(-)	1(50.0%)
髄液検体	2(0.9%)	2(1.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	76(35.3%)	74(35.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(100.0%)	0(-)	1(50.0%)
合計	215	206	0	0	6	1	0	2

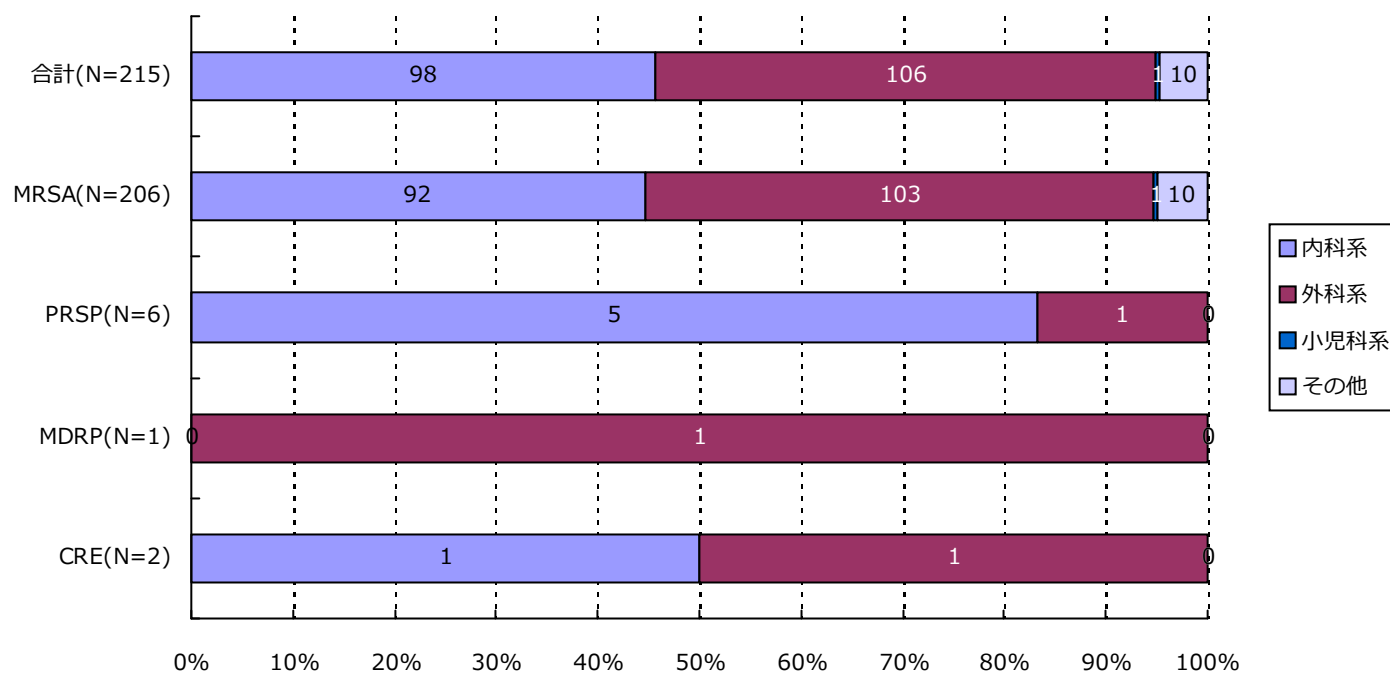
*検体区分については巻末の資料 1 を参照

6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
尿路	12(5.6%)	12(5.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
肺炎	64(29.8%)	60(29.1%)	0(-)	0(-)	4(66.7%)	0(-)	0(-)	0(-)
肺炎以外	4(1.9%)	4(1.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
消化器系	8(3.7%)	8(3.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
中枢神経系	1(0.5%)	1(0.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
皮膚・軟部	44(20.5%)	44(21.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
手術創	21(9.8%)	19(9.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(100.0%)	0(-)	1(50.0%)
菌血症	46(21.4%)	43(20.9%)	0(-)	0(-)	2(33.3%)	0(-)	0(-)	1(50.0%)
その他	15(7.0%)	15(7.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	215	206	0	0	6	1	0	2

7. 耐性菌新規感染症患者の診療科*別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
内科系	98(45.6%)	92(44.7%)	0(-)	0(-)	5(83.3%)	0(-)	0(-)	1(50.0%)
外科系	106(49.3%)	103(50.0%)	0(-)	0(-)	1(16.7%)	1(100.0%)	0(-)	1(50.0%)
小児科系	1(0.5%)	1(0.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	10(4.7%)	10(4.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	215	206	0	0	6	1	0	2

*診療科の内訳については巻末の資料2を参照

・ 資料 1

呼吸器系検体	喀出痰
	気管内採痰
	気管支洗浄液
	咽頭粘液
	鼻腔内
	口腔内
	生検材料(肺)
	胸水
	その他(呼吸器)
尿検体	自然排尿
	採尿カテーテル
	留置カテーテル
	カテーテル尿
便検体	糞便
血液検体	静脈血
	動脈血
髄液検体	髄液
その他	尿道分泌液
	膣分泌液
	胃・十二指腸液
	胆汁
	生検材料(消化管)
	腹水
	関節液
	その他

・ 資料 2

内科系	内科
	循環器内科
	神経内科
	呼吸器内科
	消化器内科
	胃腸科
	内分泌・代謝内科
	腎臓内科
	糖尿病内科
	アレルギー・膠原病内科
	膠原病内科
	アレルギー内科
	リウマチ内科
	血液内科
	感染症内科
	老人内科
	心療内科
外科系	外科
	消化器外科
	肛門科
	肝胆脾外科
	心血管外科
	内分泌外科
	呼吸器外科
	小児外科
	小児循環器外科
	小児消化器外科
	産婦人科
	産科
	婦人科
	整形外科
	美容外科
	眼科
	耳鼻咽喉科
	気管食道科
	泌尿器科
	皮膚・泌尿器科
小児科系	皮膚科
	脳神経外科
	形成外科
	歯科口腔外科
	歯科
	小児歯科
	矯正歯科
	口腔外科
	手術部
	移植・人工臓器科
	小児科
	新生児科
	新生児集中治療部(NICU)
	周産期センター
内科系	性病科
	神経科
	精神科
	放射線科
	総合診療部
	救急部
	救急・集中治療部
	集中治療部(ICU)
	冠動脈疾患集中治療部(CCU)
	内視鏡科
	透析科
	理学療法・リハビリテーション科
	理学療法科
	リハビリテーション科
	麻酔科
	その他
外科系	性病科
	神経科
	精神科
	放射線科
	総合診療部
	救急部
	救急・集中治療部
	集中治療部(ICU)
	冠動脈疾患集中治療部(CCU)
	内視鏡科
	透析科
	理学療法・リハビリテーション科
	理学療法科
	リハビリテーション科
	麻酔科
	その他

・資料 3 厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 薬剤耐性菌 判定基準 (Ver.3.1)

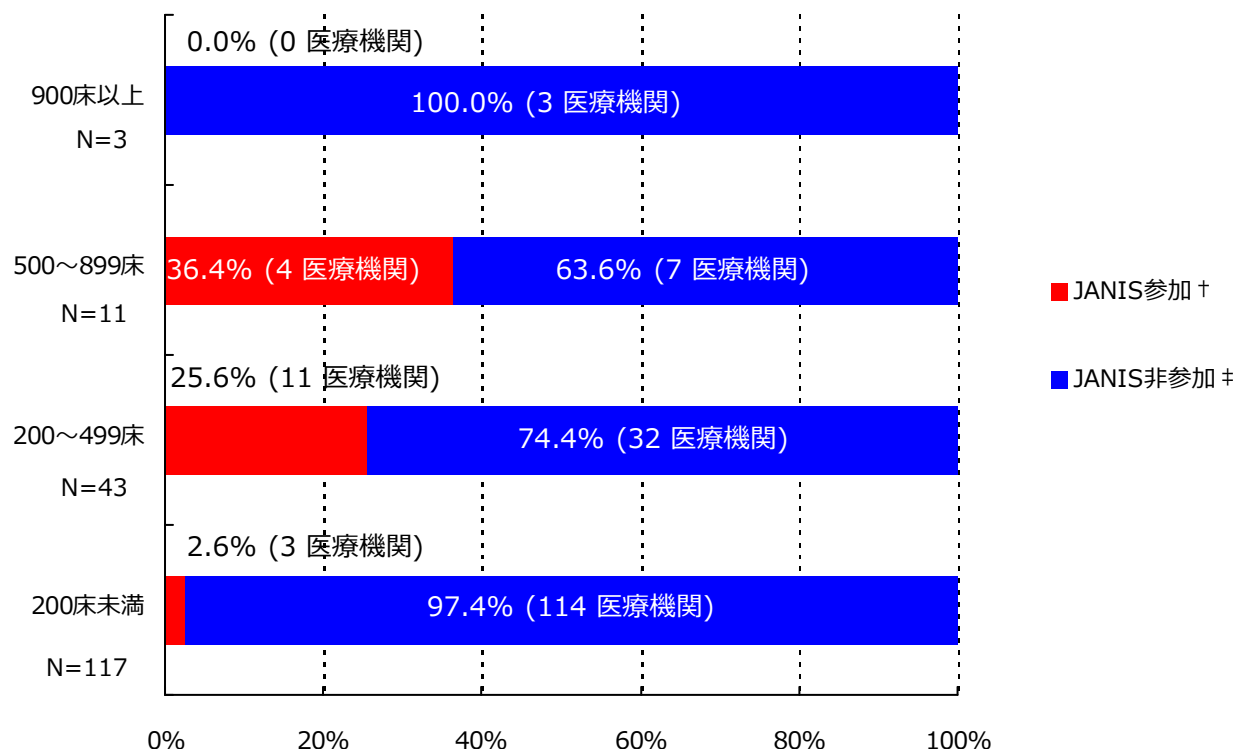
菌名	概要*	菌名コード	微量液体希釈法の基準*	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)	MPIPC が “R” の <i>Staphylococcus aureus</i> (または CFX がディスク拡散法で “R”)、または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC \geq 4 μ g/ml	MPIPC \leq 10mm または CFX \leq 21mm
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	VCM が微量液体希釈法で “R” の <i>Staphylococcus aureus</i>	1301、1303-1306	VCM \geq 16 μ g/ml	
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・ VCM が微量液体希釈法で耐性 + ・ VCM がディスク拡散法で “R” ・ 選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp. は除く	1201、1202、1205、1206、1209、1210、1213-1217	VCM \geq 16 μ g/ml +	VCM \leq 14mm
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	PCG が微量液体希釈法で耐性 +、または MPIPC がディスク拡散法で “S 以外” の <i>Streptococcus pneumoniae</i>	1131	PCG \geq 0.125 μ g/ml +	MPIPC \leq 19mm または PCG が試薬会社の基準で “S 以外” (例 \leq 23mm) ‡
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	下記のすべての条件を満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・ カルバペネム系 (IPM、MEPM のいずれか) が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX、GFLX のいずれか)	4001	IPM・MEPM \geq 16 μ g/ml + AMK \geq 32 μ g/ml + NFLX \geq 16 μ g/ml OFLX・LVFX・LFLX・GFLX \geq 8 μ g/ml CPFX \geq 4 μ g/ml	IPM・MEPM \leq 13mm + AMK \leq 14mm NFLX・OFLX \leq 12mm LVFX \leq 13mm、LFLX \leq 18mm CPFX \leq 15mm、GFLX \leq 14mm
多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)	下記のすべての条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp. ・ カルバペネム系が “R” (IPM、MEPM のいずれか) ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (LVFX、CPFX、GFLX のいずれか)	4400-4403	IPM・MEPM \geq 16 μ g/ml AMK \geq 32 μ g/ml + LVFX・GFLX \geq 8 μ g/ml CPFX \geq 4 μ g/ml	IPM・MEPM \leq 13mm AMK \leq 14mm LVFX \leq 13mm、GFLX \leq 14mm CPFX \leq 15mm
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE)	下記のいずれかの条件を満たす腸内細菌科細菌 ・ MEPM が耐性 + ・ IPM が耐性 +、かつ CMZ が “R”	2000-2691、3150-3151	MEPM \geq 2 μ g/ml + IPM \geq 2 μ g/ml + かつ CMZ \geq 64 μ g/ml	MEPM \leq 22mm IPM \leq 22mm、かつ CMZ \leq 12mm

* 原則 S,I,R の判定は CLSI2012(M100-S22)に準拠

+ 感染症発生動向調査の基準に準拠

‡ PR(I)SP のスクリーニングにディスク拡散法で PCG を用いることは推奨されていないが、国内の現状を考慮し採用

1. データ提出医療機関*数(18医療機関)



*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

† JANIS参加 = 2015年1月～12月 集計対象医療機関数

‡ JANIS非参加 = (2014年 都道府県別医療機関数¶) - (2015年1月～12月 集計対象医療機関数)

病床数	2014年 都道府県別医療機関数¶	2015年1月～12月 集計対象医療機関数 (都道府県別医療機関数に占める割合)
900床以上	3	0 (0.0%)
500～899床	11	4 (36.4%)
200～499床	43	11 (25.6%)
200床未満	117	3 (2.6%)
病床数不明	-	0 (-)
合計	174	18 (10.3%)

¶平成26年医療施設（動態）調査を参照した。

(京都府)

公開情報 2015年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

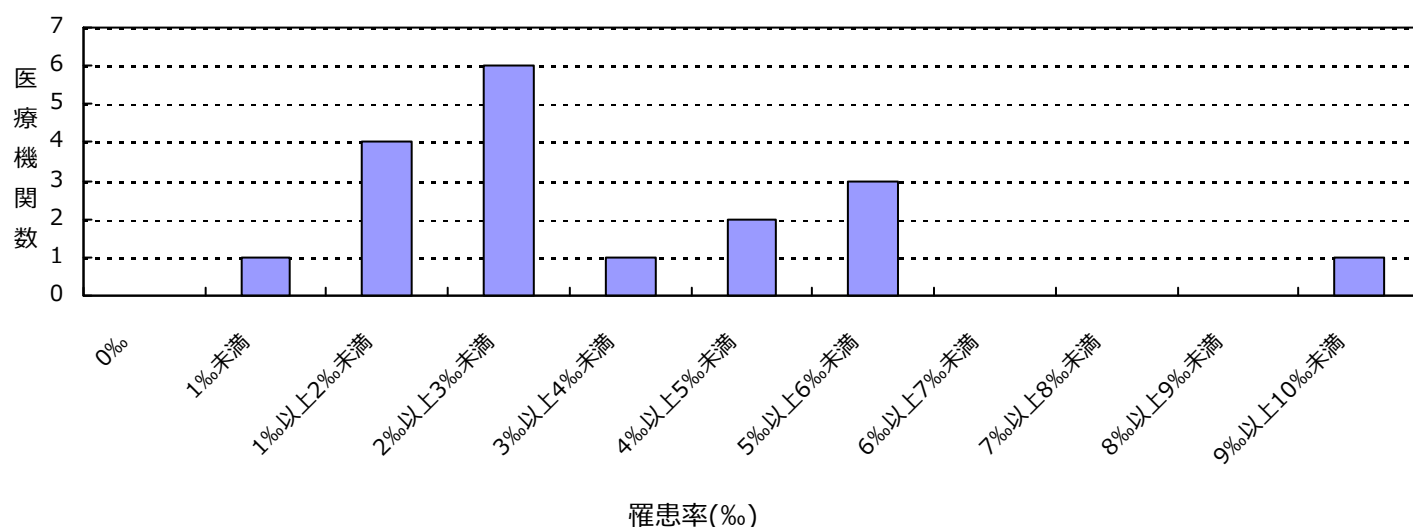


2. 新規感染症患者数と罹患率

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
MRSA	133,600	11	348	2.61%	0.74 2.45 9.38 -----

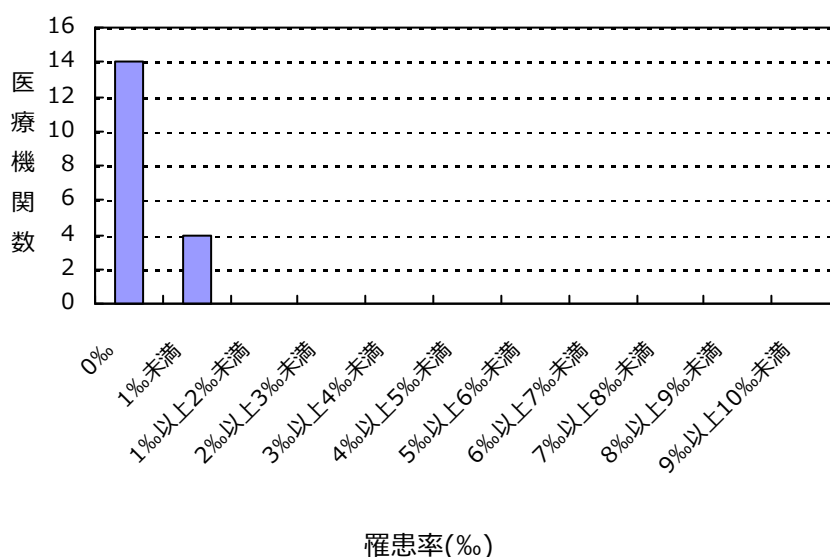
集計対象医療機関の罹患率(N=18)



ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
PRSP	133,600	0	8	0.06%	0.00 0.00 0.64 -----

集計対象医療機関の罹患率(N=18)



(京都府)

公開情報 2015年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

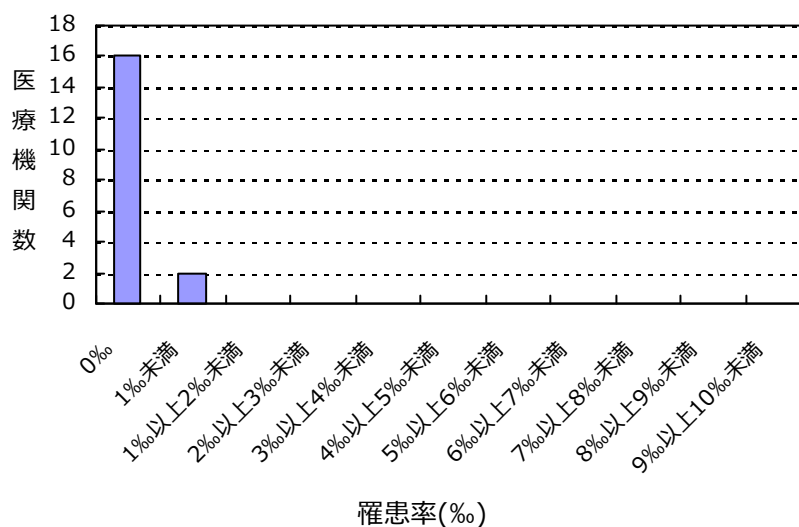


2. 新規感染症患者数と罹患率

多剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(‰)の分布
MDRP	133,600	0	2	0.01%	0.00 0.00 0.17

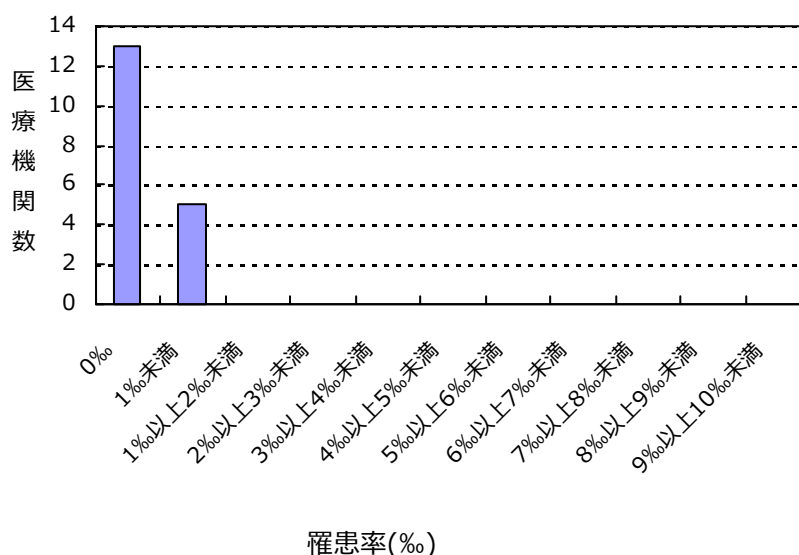
集計対象医療機関の罹患率(N=18)



カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(‰)の分布
CRE	133,600	0	10	0.07%	0.00 0.00 0.33

集計対象医療機関の罹患率(N=18)



(京都府)

公開情報 2015年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)感染症の報告はありませんでした

バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)感染症の報告はありませんでした

総入院患者数、新規感染症患者数、罹患率の説明

総入院患者数 = (対象期間の各月の新規入院患者数の合計) + (対象期間の一番初めの月の継続入院患者数)

感染症患者数 = (新規感染症患者数) + (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)

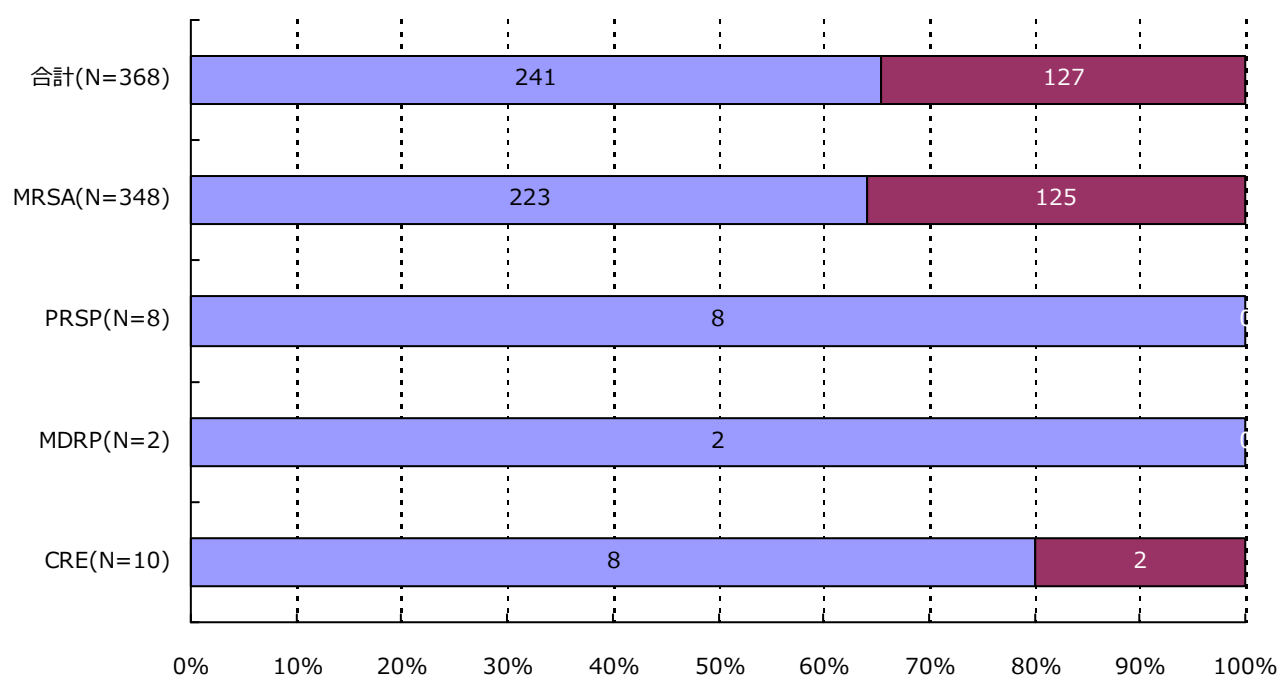
新規感染症患者数 = 対象期間の各月の新規感染症患者数の合計

継続感染症患者数 = 対象期間の一番初めの月より前に新規感染症患者とされ、対象期間の一番初めの月に改めて検査した際にも、継続的に同じ耐性菌に感染していた患者の数

罹患率 = (新規感染症患者数) ÷ ((総入院患者数) - (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)) × 1000

全体の罹患率 = (集計対象医療機関の新規感染症患者数合計) ÷ ((集計対象医療機関の総入院患者数合計) - (集計対象医療機関の対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数合計)) × 1000

3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
男	241 (65.5%)	223 (64.1%)	0 (-)	0 (-)	8 (100.0%)	2 (100.0%)	0 (-)	8 (80.0%)
女	127 (34.5%)	125 (35.9%)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	2 (20.0%)
合計	368	348	0	0	8	2	0	10

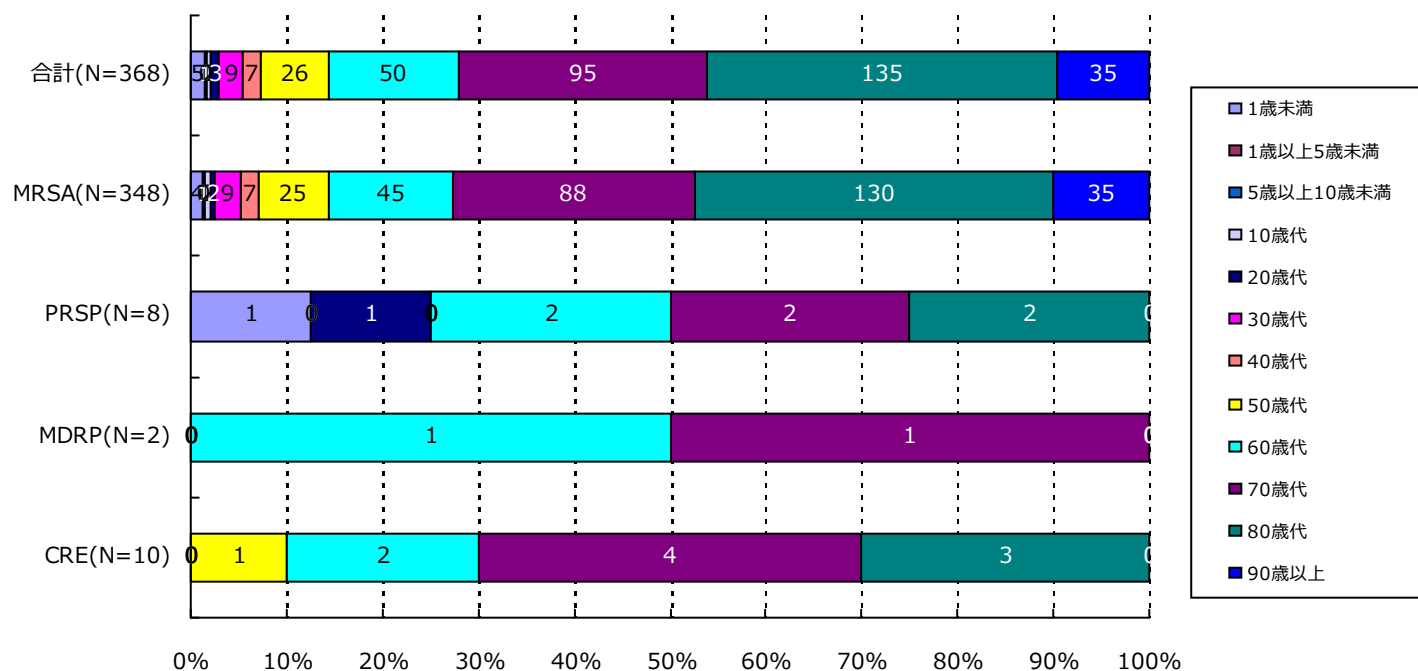
(京都府)

公開情報 2015年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

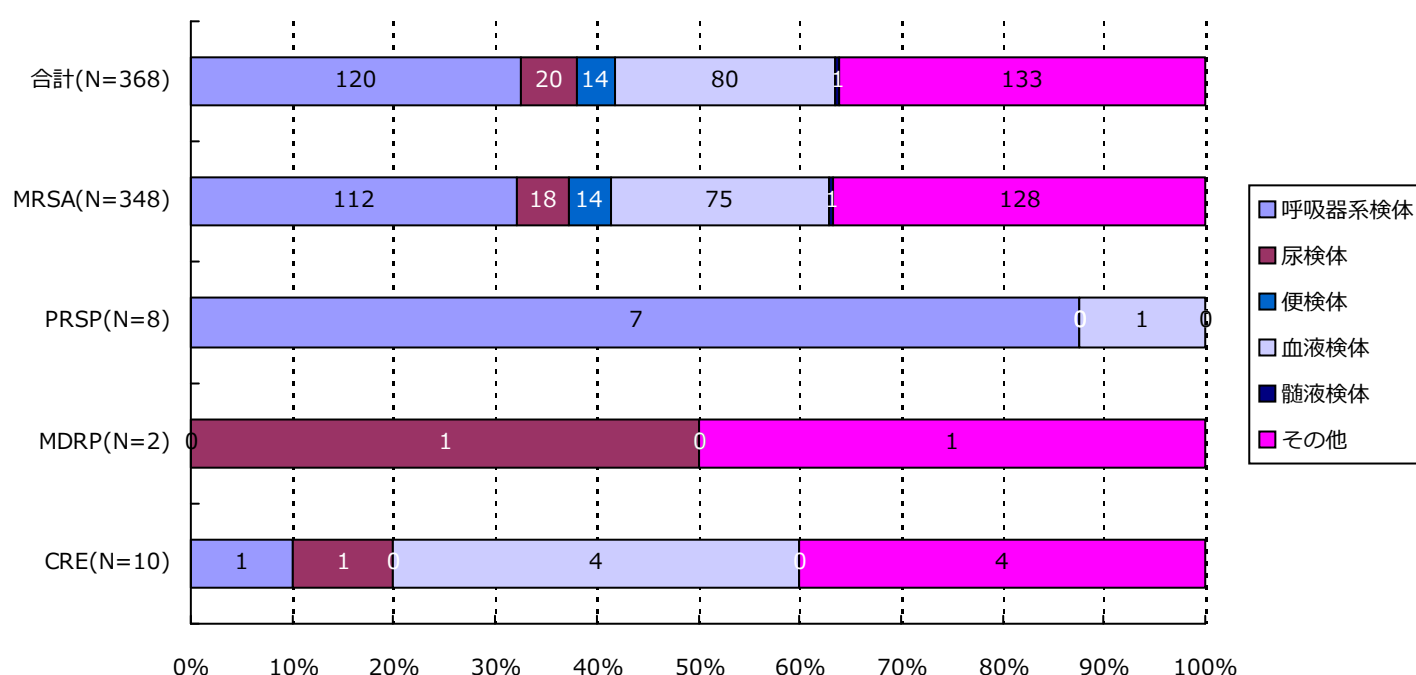


4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
1歳未満	5(1.4%)	4(1.1%)	0(-)	0(-)	1(12.5%)	0(-)	0(-)	0(-)
1歳以上5歳未満	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
5歳以上10歳未満	1(0.3%)	1(0.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
10歳代	2(0.5%)	2(0.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
20歳代	3(0.8%)	2(0.6%)	0(-)	0(-)	1(12.5%)	0(-)	0(-)	0(-)
30歳代	9(2.4%)	9(2.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
40歳代	7(1.9%)	7(2.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
50歳代	26(7.1%)	25(7.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(10.0%)
60歳代	50(13.6%)	45(12.9%)	0(-)	0(-)	2(25.0%)	1(50.0%)	0(-)	2(20.0%)
70歳代	95(25.8%)	88(25.3%)	0(-)	0(-)	2(25.0%)	1(50.0%)	0(-)	4(40.0%)
80歳代	135(36.7%)	130(37.4%)	0(-)	0(-)	2(25.0%)	0(-)	0(-)	3(30.0%)
90歳以上	35(9.5%)	35(10.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	368	348	0	0	8	2	0	10

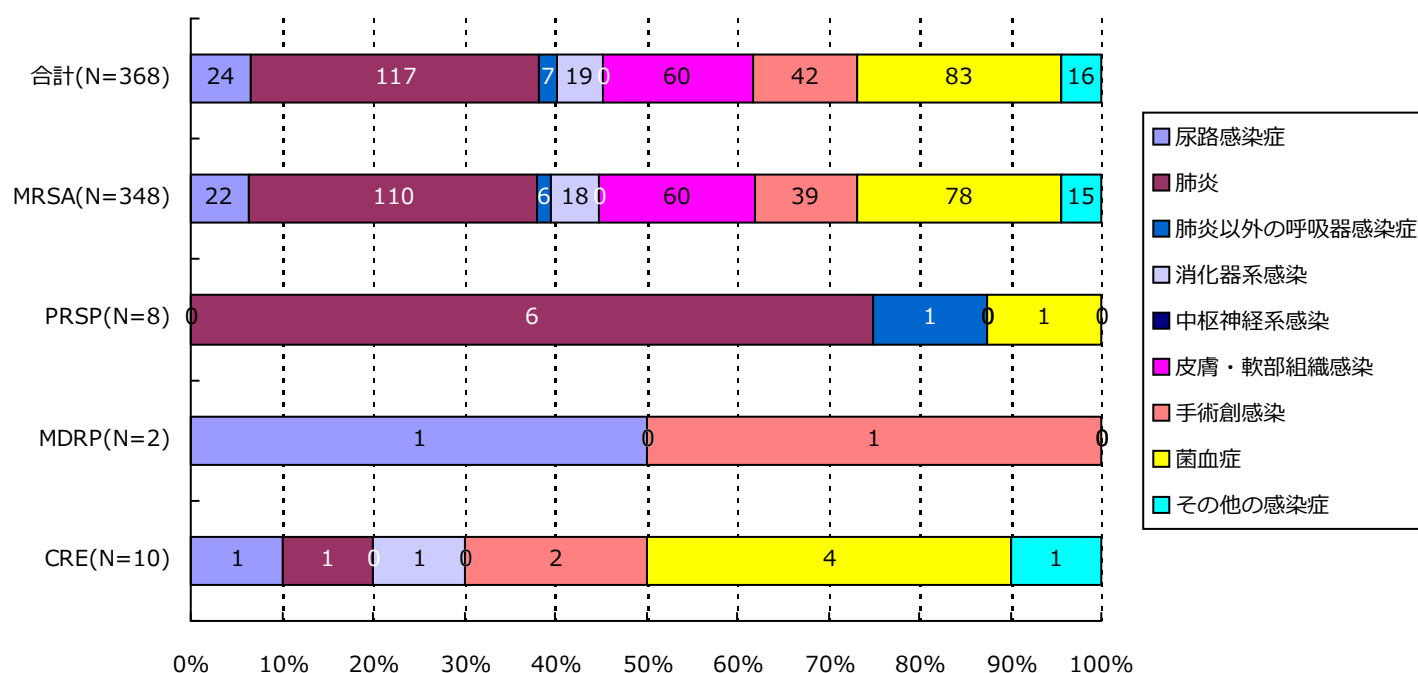
5. 耐性菌新規感染症患者の検体*内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
呼吸器系	120(32.6%)	112(32.2%)	0(-)	0(-)	7(87.5%)	0(-)	0(-)	1(10.0%)
尿検体	20(5.4%)	18(5.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(50.0%)	0(-)	1(10.0%)
便検体	14(3.8%)	14(4.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
血液検体	80(21.7%)	75(21.6%)	0(-)	0(-)	1(12.5%)	0(-)	0(-)	4(40.0%)
髄液検体	1(0.3%)	1(0.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	133(36.1%)	128(36.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(50.0%)	0(-)	4(40.0%)
合計	368	348	0	0	8	2	0	10

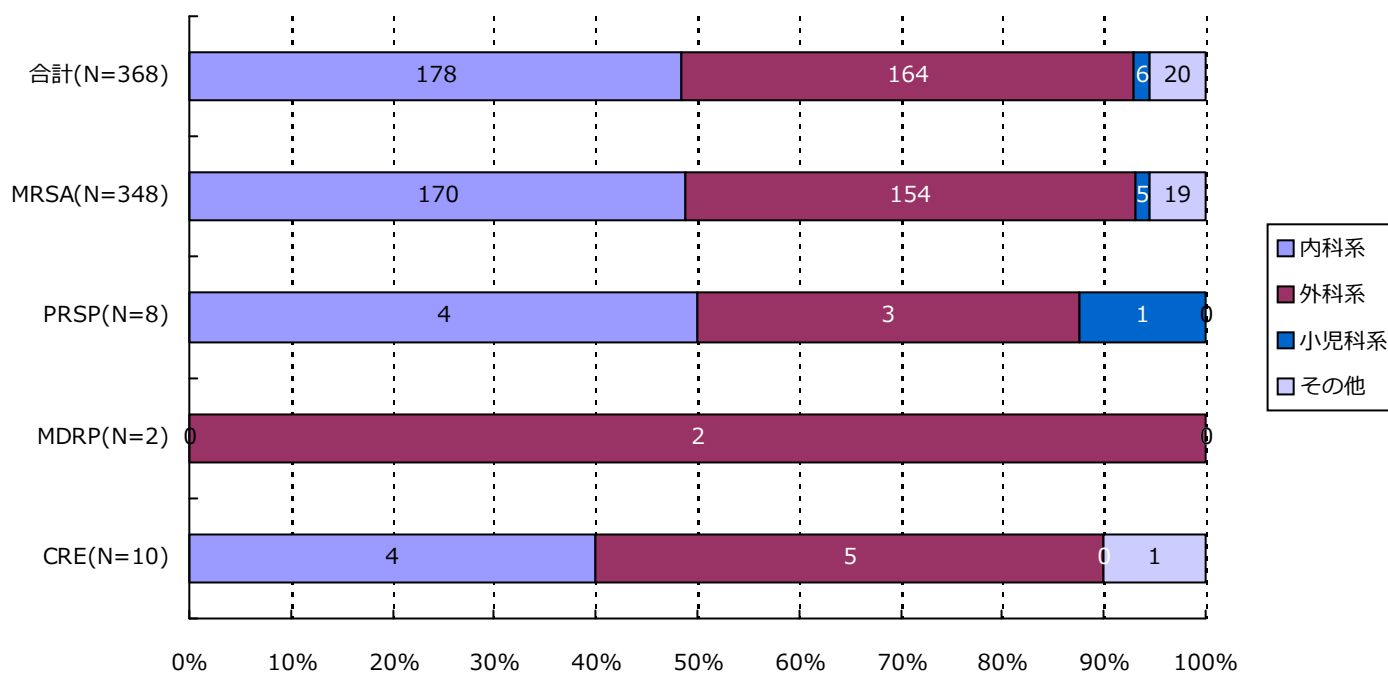
*検体区分については巻末の資料 1 を参照

6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
尿路	24(6.5%)	22(6.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(50.0%)	0(-)	1(10.0%)
肺炎	117(31.8%)	110(31.6%)	0(-)	0(-)	6(75.0%)	0(-)	0(-)	1(10.0%)
肺炎以外	7(1.9%)	6(1.7%)	0(-)	0(-)	1(12.5%)	0(-)	0(-)	0(-)
消化器系	19(5.2%)	18(5.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(10.0%)
中枢神経系	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
皮膚・軟部	60(16.3%)	60(17.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
手術創	42(11.4%)	39(11.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(50.0%)	0(-)	2(20.0%)
菌血症	83(22.6%)	78(22.4%)	0(-)	0(-)	1(12.5%)	0(-)	0(-)	4(40.0%)
その他	16(4.3%)	15(4.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(10.0%)
合計	368	348	0	0	8	2	0	10

7. 耐性菌新規感染症患者の診療科*別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
内科系	178(48.4%)	170(48.9%)	0(-)	0(-)	4(50.0%)	0(-)	0(-)	4(40.0%)
外科系	164(44.6%)	154(44.3%)	0(-)	0(-)	3(37.5%)	2(100.0%)	0(-)	5(50.0%)
小児科系	6(1.6%)	5(1.4%)	0(-)	0(-)	1(12.5%)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	20(5.4%)	19(5.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(10.0%)
合計	368	348	0	0	8	2	0	10

*診療科の内訳については巻末の資料2を参照

・資料 1

呼吸器系検体	喀出痰
	気管内採痰
	気管支洗浄液
	咽頭粘液
	鼻腔内
	口腔内
	生検材料(肺)
	胸水
	その他(呼吸器)
尿検体	自然排尿
	採尿カテーテル
	留置カテーテル
	カテーテル尿
便検体	糞便
血液検体	静脈血
	動脈血
髄液検体	髄液
その他	尿道分泌液
	膣分泌液
	胃・十二指腸液
	胆汁
	生検材料(消化管)
	腹水
	関節液
	その他

・資料 2

内科系	内科
	循環器内科
	神経内科
	呼吸器内科
	消化器内科
	胃腸科
	内分泌・代謝内科
	腎臓内科
	糖尿病内科
	アレルギー・膠原病内科
	膠原病内科
	アレルギー内科
	リウマチ内科
	血液内科
	感染症内科
	老人内科
	心療内科
	その他
神経科	
精神科	
放射線科	
総合診療部	
救急部	
救急・集中治療部	
集中治療部(ICU)	
冠動脈疾患集中治療部(CCU)	
内視鏡科	
透析科	
理学療法・リハビリテーション科	
理学療法科	
リハビリテーション科	
麻酔科	
その他	

外科系	外科
	消化器外科
	肛門科
	肝胆脾外科
	心臓血管外科
	内分泌外科
	呼吸器外科
	小児外科
	小児循環器外科
	小児消化器外科
	産婦人科
	産科
	婦人科
	整形外科
	美容外科
	眼科
	耳鼻咽喉科
	気管食道科
	泌尿器科
	皮膚・泌尿器科
皮膚科	
脳神経外科	
形成外科	
歯科口腔外科	
歯科	
小児歯科	
矯正歯科	
口腔外科	
手術部	
移植・人工臓器科	

小児科系	小児科
	新生児科
	新生児集中治療部(NICU)
	周産期センター

・資料 3 厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 薬剤耐性菌 判定基準 (Ver.3.1)

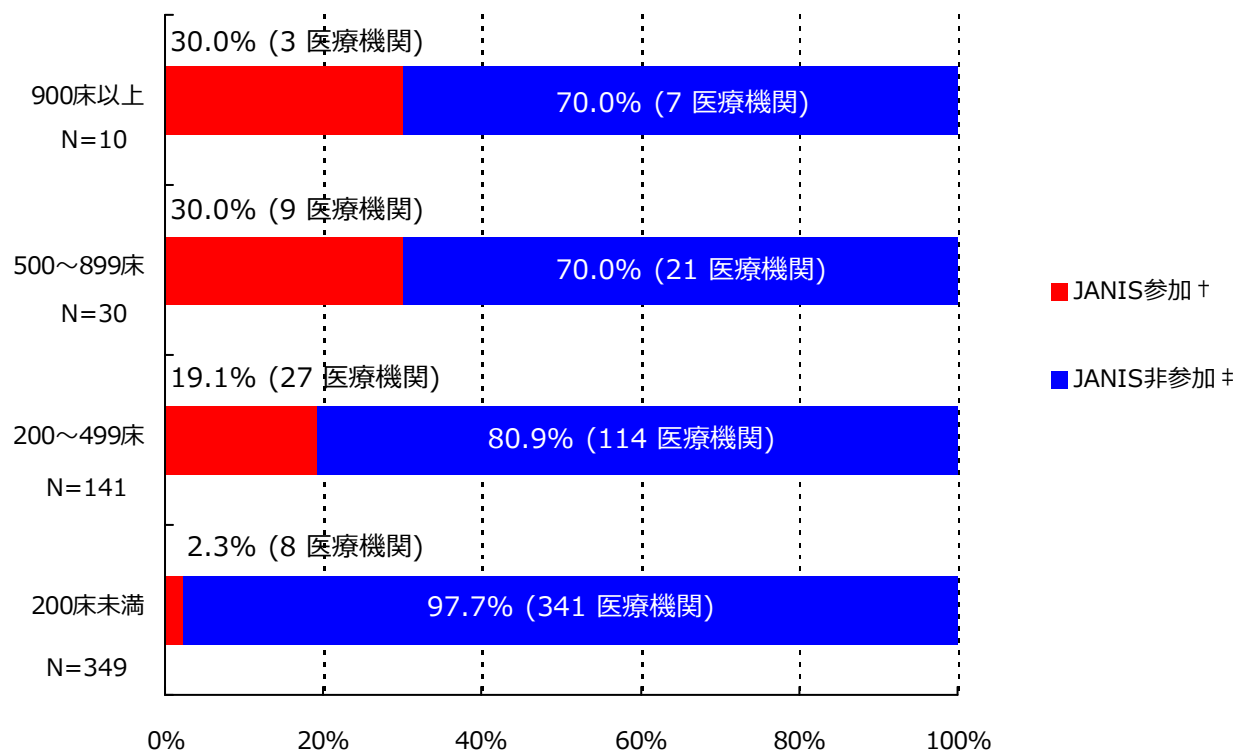
菌名	概要*	菌名コード	微量液体希釈法の基準*	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)	MPIPC が “R” の <i>Staphylococcus aureus</i> (または CFX がディスク拡散法で “R”)、または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC \geq 4 μ g/ml	MPIPC \leq 10mm または CFX \leq 21mm
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	VCM が微量液体希釈法で “R” の <i>Staphylococcus aureus</i>	1301、1303-1306	VCM \geq 16 μ g/ml	
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・ VCM が微量液体希釈法で耐性 + ・ VCM がディスク拡散法で “R” ・ 選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp. は除く	1201、1202、1205、1206、1209、1210、1213-1217	VCM \geq 16 μ g/ml +	VCM \leq 14mm
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	PCG が微量液体希釈法で耐性 +、または MPIPC がディスク拡散法で “S 以外” の <i>Streptococcus pneumoniae</i>	1131	PCG \geq 0.125 μ g/ml +	MPIPC \leq 19mm または PCG が試薬会社の基準で “S 以外” (例 \leq 23mm) ‡
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	下記のすべての条件を満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・ カルバペネム系 (IPM、MEPM のいずれか) が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX、GFLX のいずれか)	4001	IPM・MEPM \geq 16 μ g/ml + AMK \geq 32 μ g/ml + NFLX \geq 16 μ g/ml OFLX・LVFX・LFLX・GFLX \geq 8 μ g/ml CPFX \geq 4 μ g/ml	IPM・MEPM \leq 13mm + AMK \leq 14mm NFLX・OFLX \leq 12mm LVFX \leq 13mm、LFLX \leq 18mm CPFX \leq 15mm、GFLX \leq 14mm
多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)	下記のすべての条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp. ・ カルバペネム系が “R” (IPM、MEPM のいずれか) ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (LVFX、CPFX、GFLX のいずれか)	4400-4403	IPM・MEPM \geq 16 μ g/ml AMK \geq 32 μ g/ml + LVFX・GFLX \geq 8 μ g/ml CPFX \geq 4 μ g/ml	IPM・MEPM \leq 13mm AMK \leq 14mm LVFX \leq 13mm、GFLX \leq 14mm CPFX \leq 15mm
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE)	下記のいずれかの条件を満たす腸内細菌科細菌 ・ MEPM が耐性 + ・ IPM が耐性 +、かつ CMZ が “R”	2000-2691、3150-3151	MEPM \geq 2 μ g/ml + IPM \geq 2 μ g/ml + かつ CMZ \geq 64 μ g/ml	MEPM \leq 22mm IPM \leq 22mm、かつ CMZ \leq 12mm

* 原則 S,I,R の判定は CLSI2012(M100-S22)に準拠

+ 感染症発生動向調査の基準に準拠

‡ PR(I)SP のスクリーニングにディスク拡散法で PCG を用いることは推奨されていないが、国内の現状を考慮し採用

1. データ提出医療機関*数(47医療機関)



*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

† JANIS参加 = 2015年1月～12月 集計対象医療機関数

‡ JANIS非参加 = (2014年 都道府県別医療機関数¶) - (2015年1月～12月 集計対象医療機関数)

病床数	2014年 都道府県別医療機関数¶	2015年1月～12月 集計対象医療機関数 (都道府県別医療機関数に占める割合)
900床以上	10	3 (30.0%)
500～899床	30	9 (30.0%)
200～499床	141	27 (19.1%)
200床未満	349	8 (2.3%)
病床数不明	-	0 (-)
合計	530	47 (8.9%)

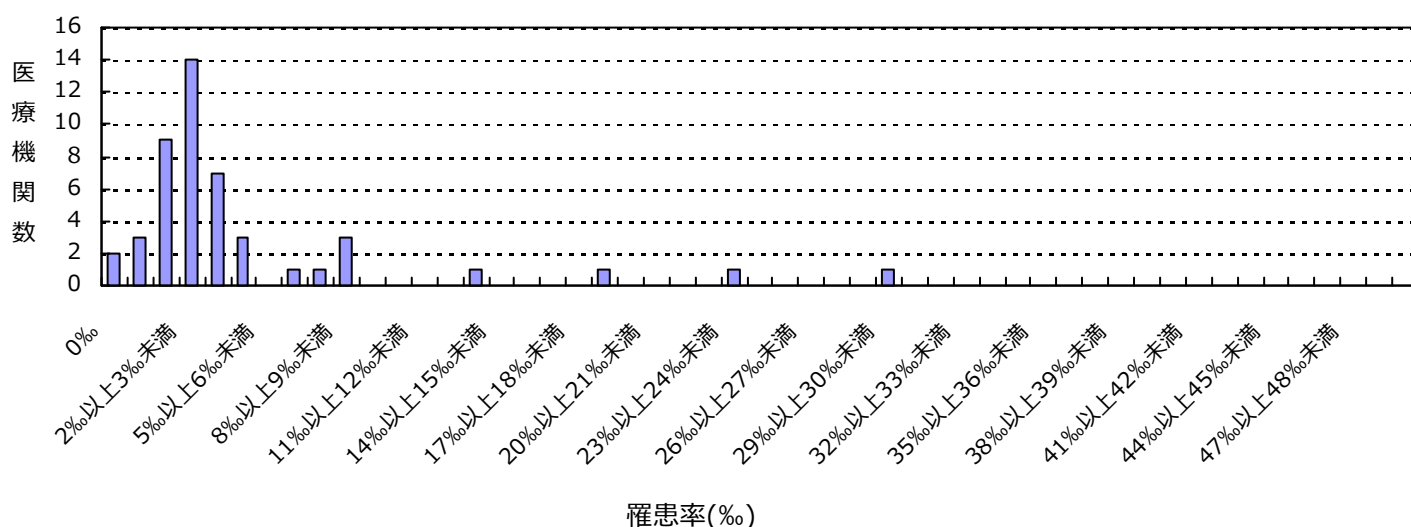
¶平成26年医療施設（動態）調査を参照した。

2. 新規感染症患者数と罹患率

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
MRSA	376,382	15	1,138	3.02%	0.00 2.78 29.81 中

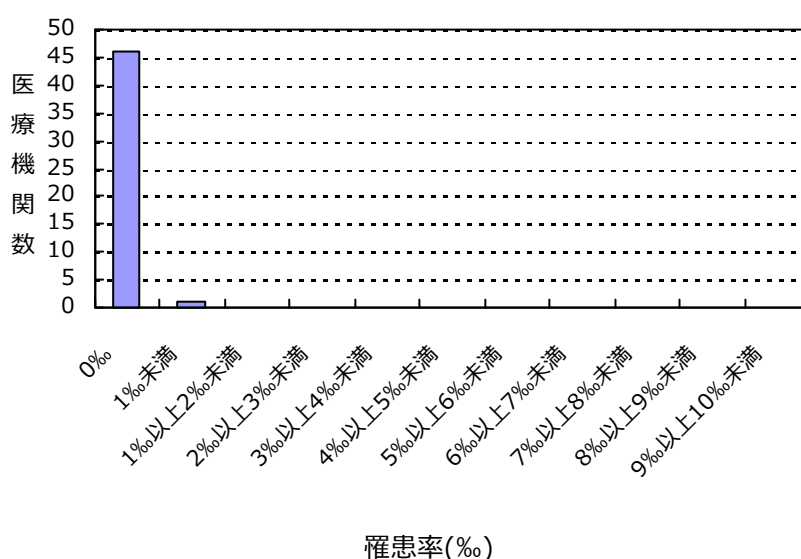
集計対象医療機関の罹患率(N=47)



バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
VRE	376,382	0	1	0.00%	0.00 0.00 0.04

集計対象医療機関の罹患率(N=47)



(大阪府)

公開情報 2015年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)
院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

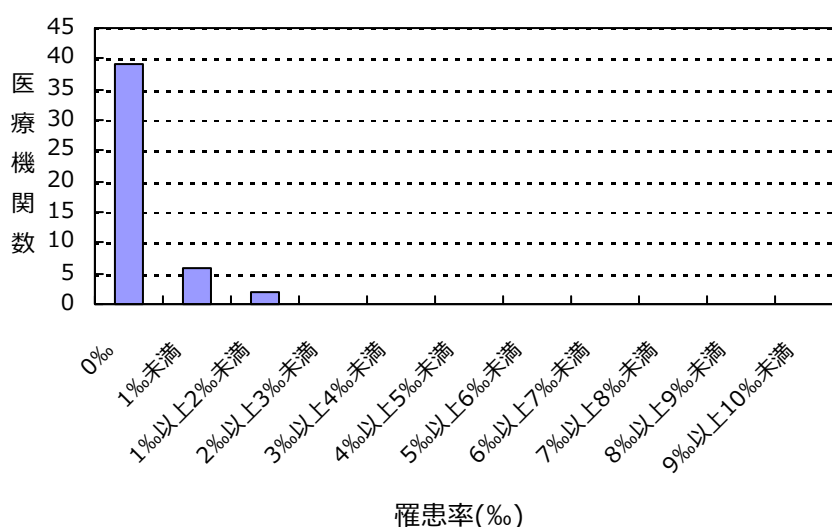


2. 新規感染症患者数と罹患率

ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
PRSP	376,382	0	34	0.09%	0.00 0.00 1.22

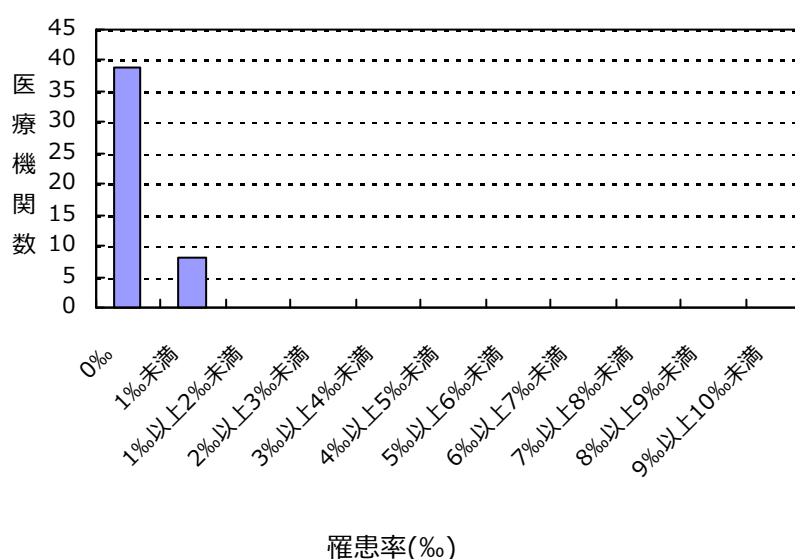
集計対象医療機関の罹患率(N=47)



多剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
MDRP	376,382	0	14	0.04%	0.00 0.00 0.77

集計対象医療機関の罹患率(N=47)



(大阪府)

公開情報 2015年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

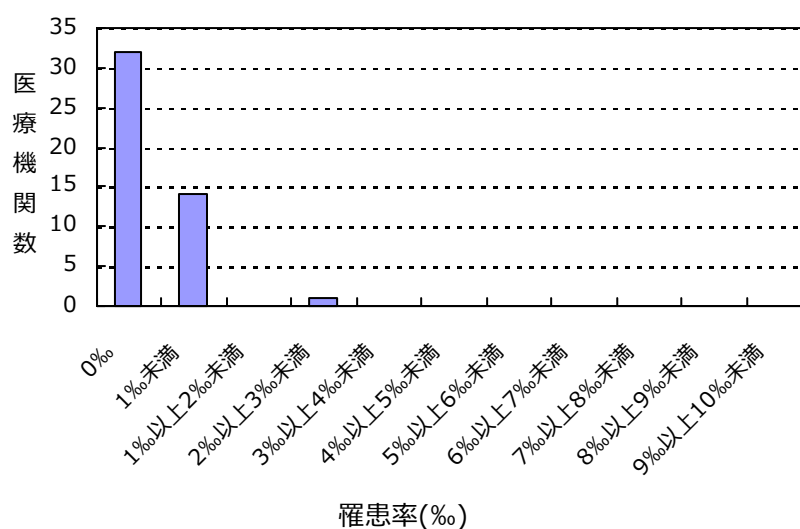


2. 新規感染症患者数と罹患率

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
CRE	376,382	0	27	0.07%	0.00 0.00 2.30 □ □ □

集計対象医療機関の罹患率(N=47)



(大阪府)

公開情報 2015年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)感染症の報告はありませんでした

総入院患者数、新規感染症患者数、罹患率の説明

総入院患者数 = (対象期間の各月の新規入院患者数の合計) + (対象期間の一番初めの月の継続入院患者数)

感染症患者数 = (新規感染症患者数) + (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)

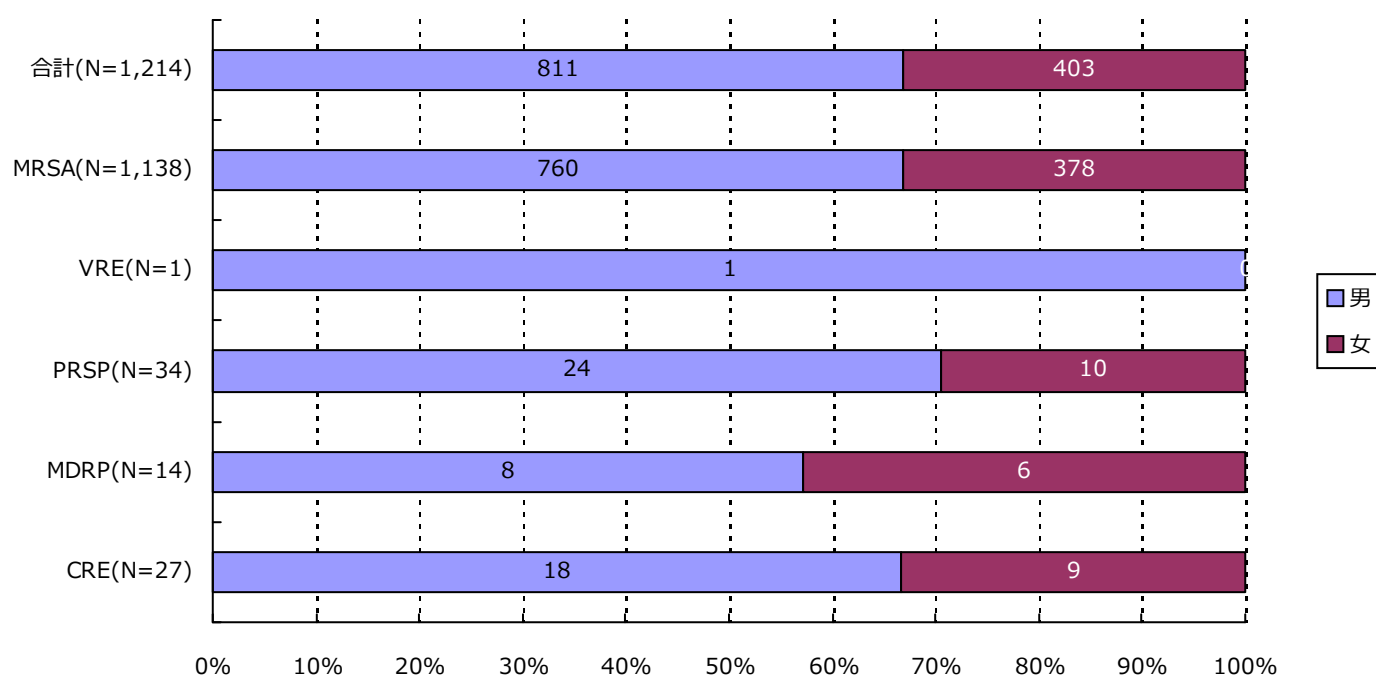
新規感染症患者数 = 対象期間の各月の新規感染症患者数の合計

継続感染症患者数 = 対象期間の一番初めの月より前に新規感染症患者とされ、対象期間の一番初めの月に改めて検査した際にも、継続的に同じ耐性菌に感染していた患者の数

罹患率 = (新規感染症患者数) ÷ ((総入院患者数) - (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)) × 1000

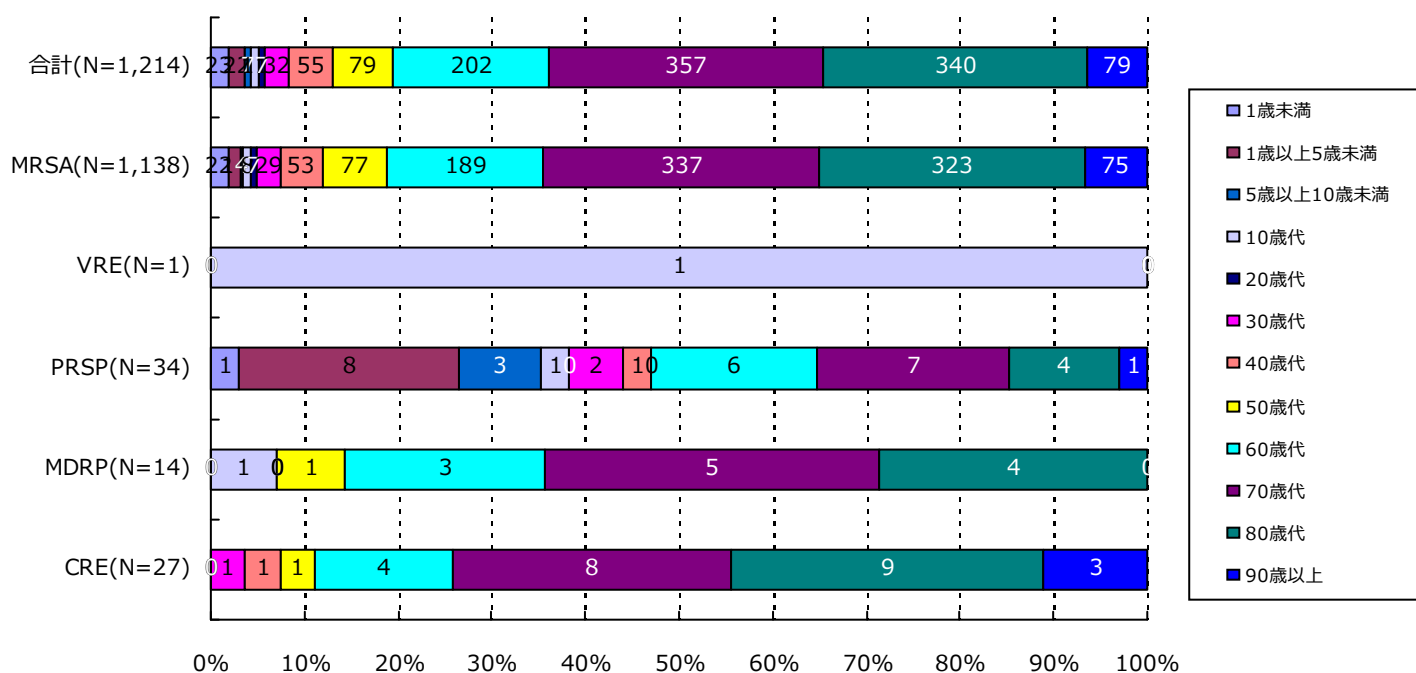
全体の罹患率 = (集計対象医療機関の新規感染症患者数合計) ÷ ((集計対象医療機関の総入院患者数合計) - (集計対象医療機関の対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数合計)) × 1000

3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳



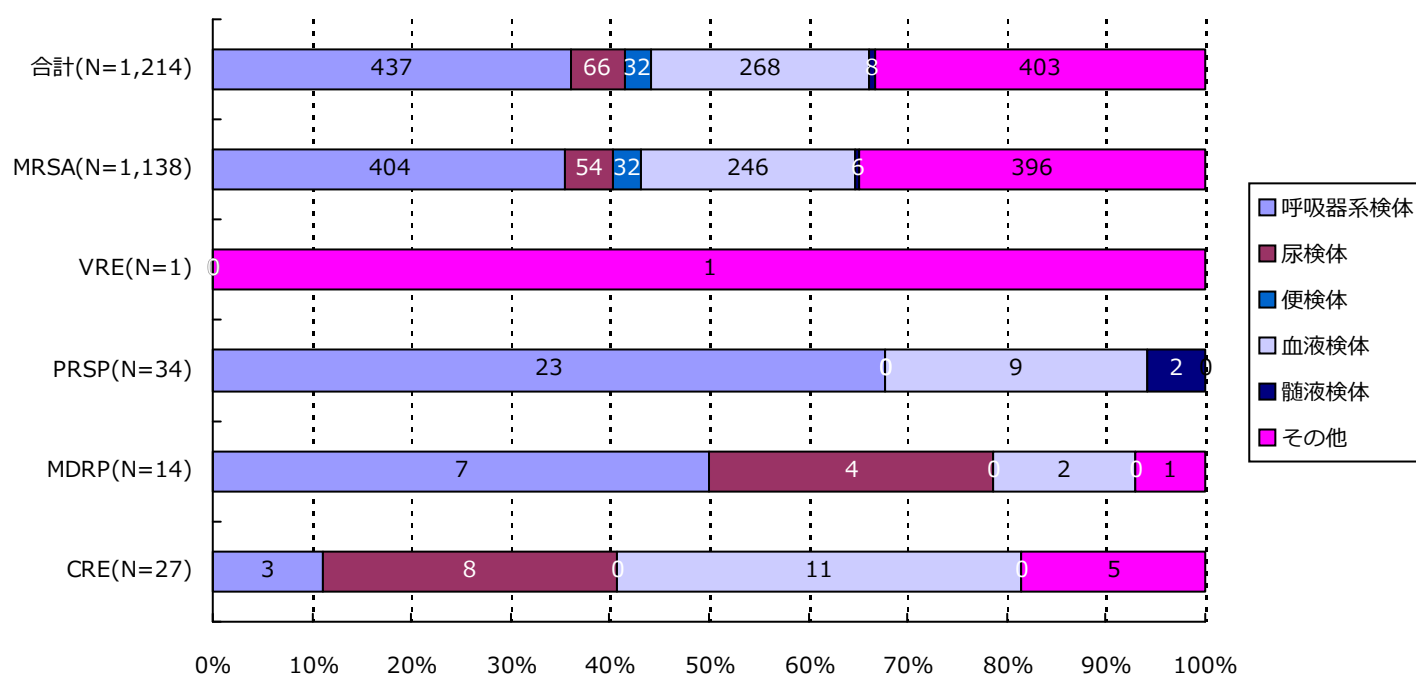
分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
男	811 (66.8%)	760 (66.8%)	0 (-)	1 (100.0%)	24 (70.6%)	8 (57.1%)	0 (-)	18 (66.7%)
女	403 (33.2%)	378 (33.2%)	0 (-)	0 (-)	10 (29.4%)	6 (42.9%)	0 (-)	9 (33.3%)
合計	1,214	1,138	0	1	34	14	0	27

4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
1歳未満	23(1.9%)	22(1.9%)	0(-)	0(-)	1(2.9%)	0(-)	0(-)	0(-)
1歳以上5歳未満	22(1.8%)	14(1.2%)	0(-)	0(-)	8(23.5%)	0(-)	0(-)	0(-)
5歳以上10歳未満	7(0.6%)	4(0.4%)	0(-)	0(-)	3(8.8%)	0(-)	0(-)	0(-)
10歳代	11(0.9%)	8(0.7%)	0(-)	1(100.0%)	1(2.9%)	1(7.1%)	0(-)	0(-)
20歳代	7(0.6%)	7(0.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
30歳代	32(2.6%)	29(2.5%)	0(-)	0(-)	2(5.9%)	0(-)	0(-)	1(3.7%)
40歳代	55(4.5%)	53(4.7%)	0(-)	0(-)	1(2.9%)	0(-)	0(-)	1(3.7%)
50歳代	79(6.5%)	77(6.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(7.1%)	0(-)	1(3.7%)
60歳代	202(16.6%)	189(16.6%)	0(-)	0(-)	6(17.6%)	3(21.4%)	0(-)	4(14.8%)
70歳代	357(29.4%)	337(29.6%)	0(-)	0(-)	7(20.6%)	5(35.7%)	0(-)	8(29.6%)
80歳代	340(28.0%)	323(28.4%)	0(-)	0(-)	4(11.8%)	4(28.6%)	0(-)	9(33.3%)
90歳以上	79(6.5%)	75(6.6%)	0(-)	0(-)	1(2.9%)	0(-)	0(-)	3(11.1%)
合計	1,214	1,138	0	1	34	14	0	27

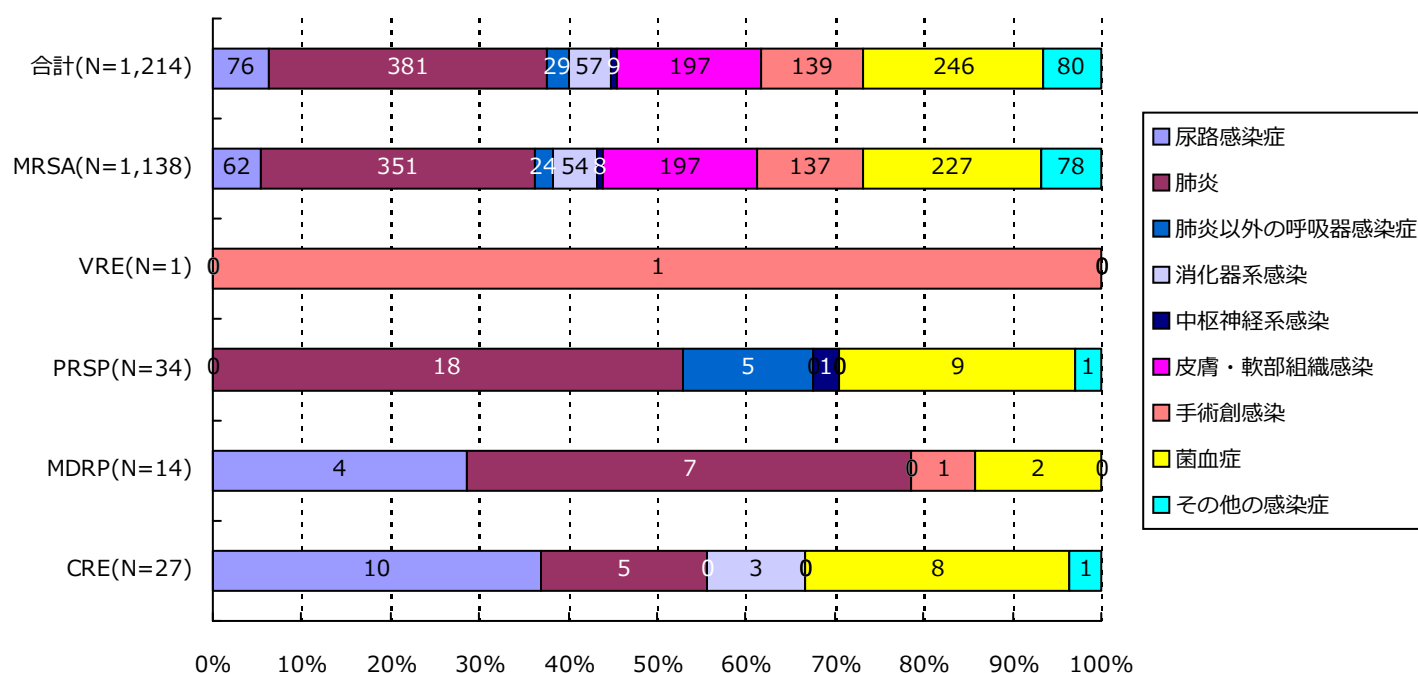
5. 耐性菌新規感染症患者の検体*内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
呼吸器系	437(36.0%)	404(35.5%)	0(-)	0(-)	23(67.6%)	7(50.0%)	0(-)	3(11.1%)
尿検体	66(5.4%)	54(4.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	4(28.6%)	0(-)	8(29.6%)
便検体	32(2.6%)	32(2.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
血液検体	268(22.1%)	246(21.6%)	0(-)	0(-)	9(26.5%)	2(14.3%)	0(-)	11(40.7%)
髄液検体	8(0.7%)	6(0.5%)	0(-)	0(-)	2(5.9%)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	403(33.2%)	396(34.8%)	0(-)	1(100.0%)	0(-)	1(7.1%)	0(-)	5(18.5%)
合計	1,214	1,138	0	1	34	14	0	27

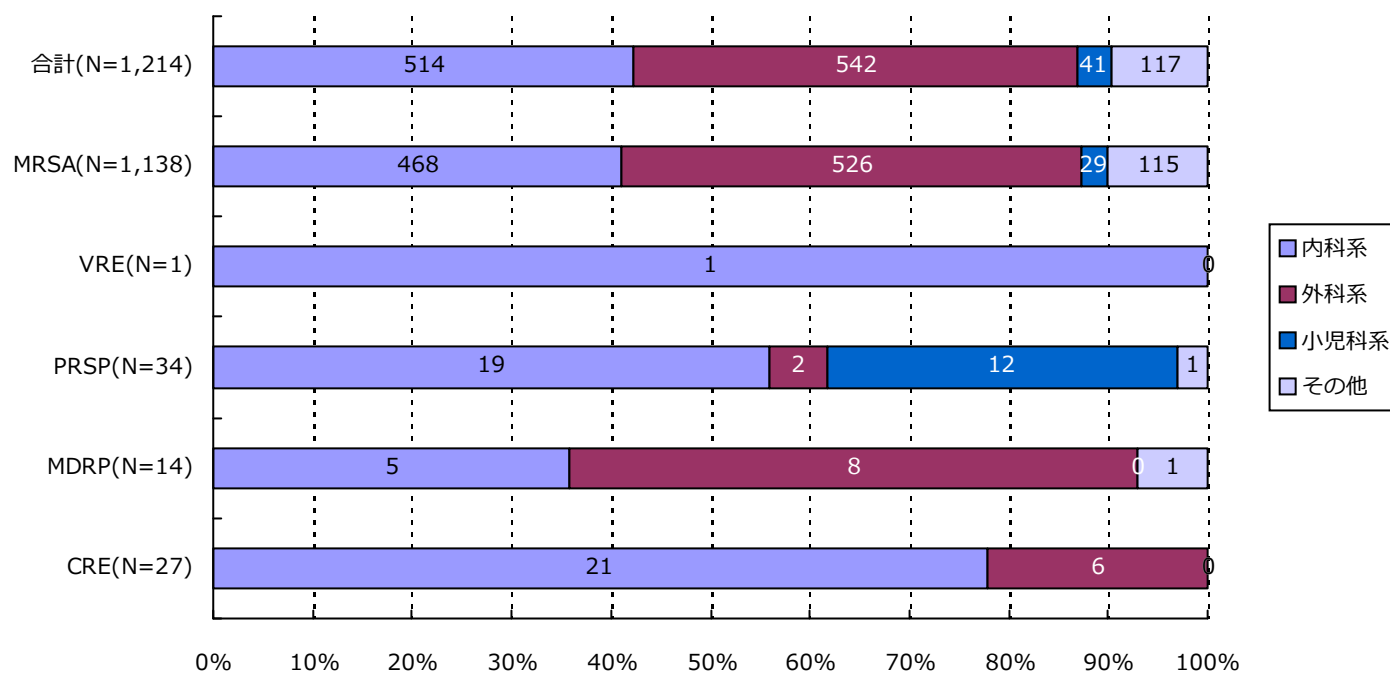
*検体区分については巻末の資料 1 を参照

6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
尿路	76(6.3%)	62(5.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	4(28.6%)	0(-)	10(37.0%)
肺炎	381(31.4%)	351(30.8%)	0(-)	0(-)	18(52.9%)	7(50.0%)	0(-)	5(18.5%)
肺炎以外	29(2.4%)	24(2.1%)	0(-)	0(-)	5(14.7%)	0(-)	0(-)	0(-)
消化器系	57(4.7%)	54(4.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	3(11.1%)
中枢神経系	9(0.7%)	8(0.7%)	0(-)	0(-)	1(2.9%)	0(-)	0(-)	0(-)
皮膚・軟部	197(16.2%)	197(17.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
手術創	139(11.4%)	137(12.0%)	0(-)	1(100.0%)	0(-)	1(7.1%)	0(-)	0(-)
菌血症	246(20.3%)	227(19.9%)	0(-)	0(-)	9(26.5%)	2(14.3%)	0(-)	8(29.6%)
その他	80(6.6%)	78(6.9%)	0(-)	0(-)	1(2.9%)	0(-)	0(-)	1(3.7%)
合計	1,214	1,138	0	1	34	14	0	27

7. 耐性菌新規感染症患者の診療科*別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
内科系	514(42.3%)	468(41.1%)	0(-)	1(100.0%)	19(55.9%)	5(35.7%)	0(-)	21(77.8%)
外科系	542(44.6%)	526(46.2%)	0(-)	0(-)	2(5.9%)	8(57.1%)	0(-)	6(22.2%)
小児科系	41(3.4%)	29(2.5%)	0(-)	0(-)	12(35.3%)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	117(9.6%)	115(10.1%)	0(-)	0(-)	1(2.9%)	1(7.1%)	0(-)	0(-)
合計	1,214	1,138	0	1	34	14	0	27

*診療科の内訳については巻末の資料2を参照

・資料 1

呼吸器系検体	喀出痰
	気管内採痰
	気管支洗浄液
	咽頭粘液
	鼻腔内
	口腔内
	生検材料(肺)
	胸水
	その他(呼吸器)
尿検体	自然排尿
	採尿カテーテル
	留置カテーテル
	カテーテル尿
便検体	糞便
血液検体	静脈血
	動脈血
髄液検体	髄液
その他	尿道分泌液
	膣分泌液
	胃・十二指腸液
	胆汁
	生検材料(消化管)
	腹水
	関節液
	その他

・資料 2

内科系	内科	外科系	外科	
	循環器内科		消化器外科	
	神経内科		肛門科	
	呼吸器内科		肝胆脾外科	
	消化器内科		心臓血管外科	
	胃腸科		内分泌外科	
	内分泌・代謝内科		呼吸器外科	
	腎臓内科		小児外科	
	糖尿病内科		小児循環器外科	
	アレルギー・膠原病内科		小児消化器外科	
	膠原病内科		産婦人科	
	アレルギー内科		産科	
	リウマチ内科		婦人科	
	血液内科		整形外科	
	感染症内科		美容外科	
	老人内科		眼科	
	心療内科		耳鼻咽喉科	
	その他		性病科	気管食道科
			神経科	泌尿器科
精神科		皮膚・泌尿器科		
放射線科		皮膚科		
総合診療部		脳神経外科		
救急部		形成外科		
救急・集中治療部		歯科口腔外科		
集中治療部(ICU)		歯科		
冠動脈疾患集中治療部(CCU)		小児歯科		
内視鏡科		矯正歯科		
透析科		口腔外科		
理学療法・リハビリテーション科		手術部		
理学療法科		移植・人工臓器科		
リハビリテーション科		小児科系	小児科	
麻酔科			新生児科	
その他			新生児集中治療部(NICU)	
			周産期センター	

資料 3 厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 薬剤耐性菌 判定基準 (Ver.3.1)

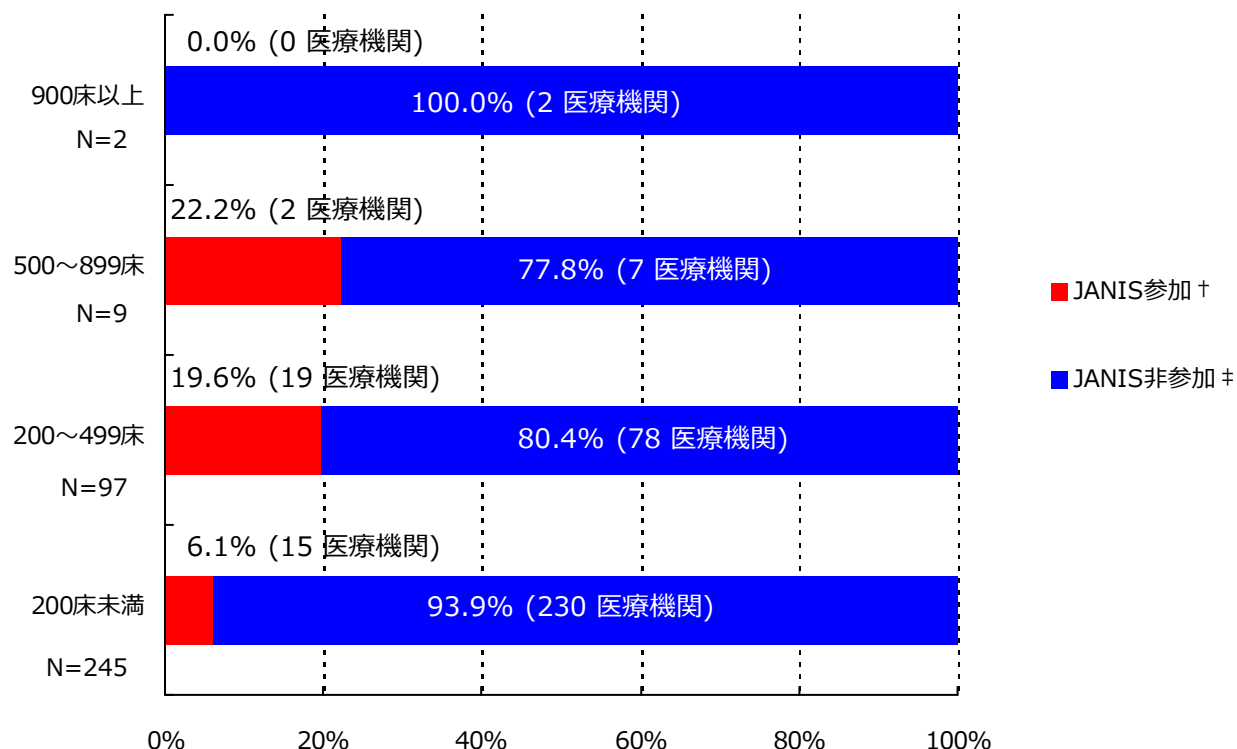
菌名	概要*	菌名コード	微量液体希釈法の基準*	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)	MPIPC が “R” の <i>Staphylococcus aureus</i> (または CFX がディスク拡散法で “R”)、または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC \geq 4 μ g/ml	MPIPC \leq 10mm または CFX \leq 21mm
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	VCM が微量液体希釈法で “R” の <i>Staphylococcus aureus</i>	1301、1303-1306	VCM \geq 16 μ g/ml	
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・ VCM が微量液体希釈法で耐性 + ・ VCM がディスク拡散法で “R” ・ 選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp. は除く	1201、1202、1205、1206、1209、1210、1213-1217	VCM \geq 16 μ g/ml +	VCM \leq 14mm
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	PCG が微量液体希釈法で耐性 +、または MPIPC がディスク拡散法で “S 以外” の <i>Streptococcus pneumoniae</i>	1131	PCG \geq 0.125 μ g/ml +	MPIPC \leq 19mm または PCG が試薬会社の基準で “S 以外” (例 \leq 23mm) ‡
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	下記のすべての条件を満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・ カルバペネム系 (IPM、MEPM のいずれか) が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX、GFLX のいずれか)	4001	IPM・MEPM \geq 16 μ g/ml + AMK \geq 32 μ g/ml + NFLX \geq 16 μ g/ml OFLX・LVFX・LFLX・GFLX \geq 8 μ g/ml CPFX \geq 4 μ g/ml	IPM・MEPM \leq 13mm + AMK \leq 14mm NFLX・OFLX \leq 12mm LVFX \leq 13mm、LFLX \leq 18mm CPFX \leq 15mm、GFLX \leq 14mm
多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)	下記のすべての条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp. ・ カルバペネム系が “R” (IPM、MEPM のいずれか) ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (LVFX、CPFX、GFLX のいずれか)	4400-4403	IPM・MEPM \geq 16 μ g/ml AMK \geq 32 μ g/ml + LVFX・GFLX \geq 8 μ g/ml CPFX \geq 4 μ g/ml	IPM・MEPM \leq 13mm AMK \leq 14mm LVFX \leq 13mm、GFLX \leq 14mm CPFX \leq 15mm
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE)	下記のいずれかの条件を満たす腸内細菌科細菌 ・ MEPM が耐性 + ・ IPM が耐性 +、かつ CMZ が “R”	2000-2691、3150-3151	MEPM \geq 2 μ g/ml + IPM \geq 2 μ g/ml + かつ CMZ \geq 64 μ g/ml	MEPM \leq 22mm IPM \leq 22mm、かつ CMZ \leq 12mm

* 原則 S,I,R の判定は CLSI2012(M100-S22)に準拠

+ 感染症発生動向調査の基準に準拠

‡ PR(I)SP のスクリーニングにディスク拡散法で PCG を用いることは推奨されていないが、国内の現状を考慮し採用

1. データ提出医療機関*数(36医療機関)



*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

† JANIS参加 = 2015年1月～12月 集計対象医療機関数

‡ JANIS非参加 = (2014年 都道府県別医療機関数¶) - (2015年1月～12月 集計対象医療機関数)

病床数	2014年 都道府県別医療機関数¶	2015年1月～12月 集計対象医療機関数 (都道府県別医療機関数に占める割合)
900床以上	2	0 (0.0%)
500～899床	9	2 (22.2%)
200～499床	97	19 (19.6%)
200床未満	245	15 (6.1%)
病床数不明	-	0 (-)
合計	353	36 (10.2%)

¶平成26年医療施設（動態）調査を参照した。

(兵庫県)

公開情報 2015年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

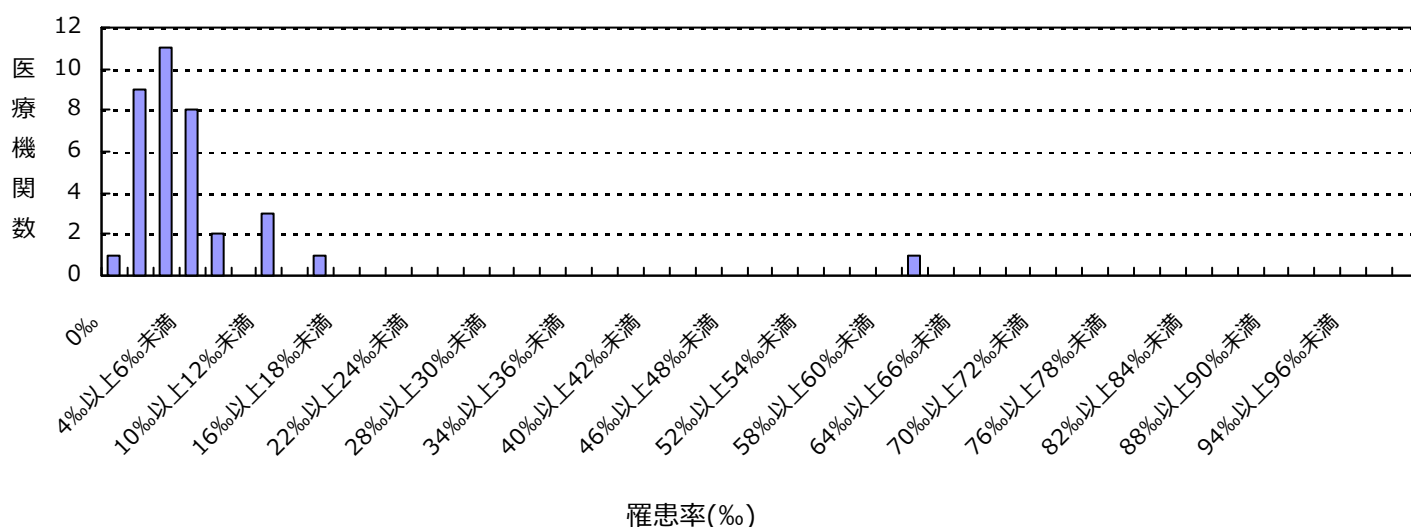


2. 新規感染症患者数と罹患率

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
MRSA	201,952	10	788	3.90%	0.00 3.36 61.40 中

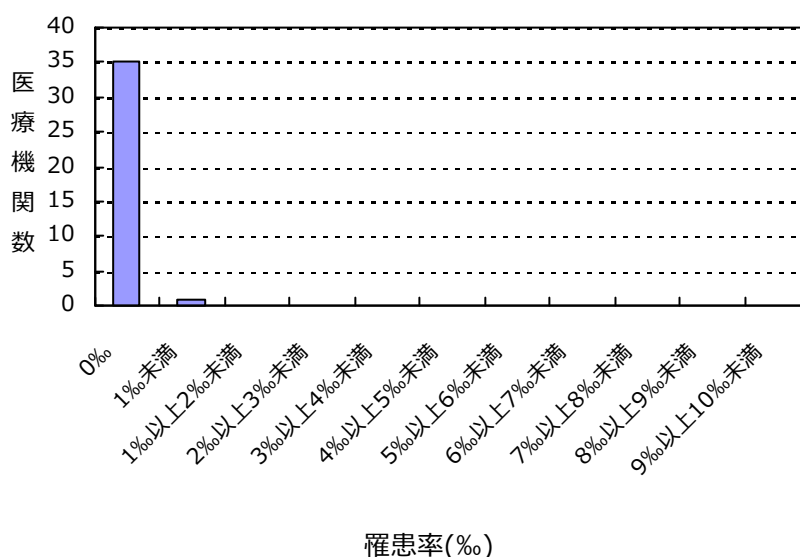
集計対象医療機関の罹患率(N=36)



バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
VRE	201,952	0	1	0.00%	0.00 0.00 0.15

集計対象医療機関の罹患率(N=36)



(兵庫県)

公開情報 2015年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)
院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

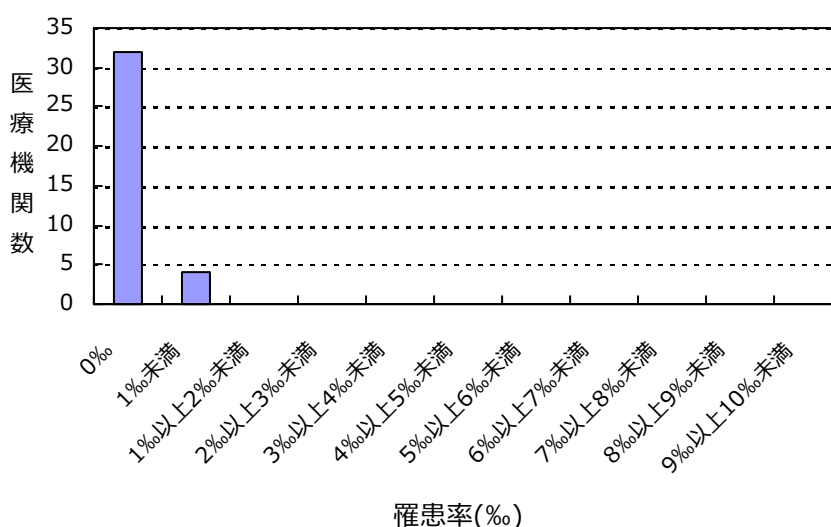


2. 新規感染症患者数と罹患率

ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
PRSP	201,952	0	5	0.02%	0.00 0.00 0.14

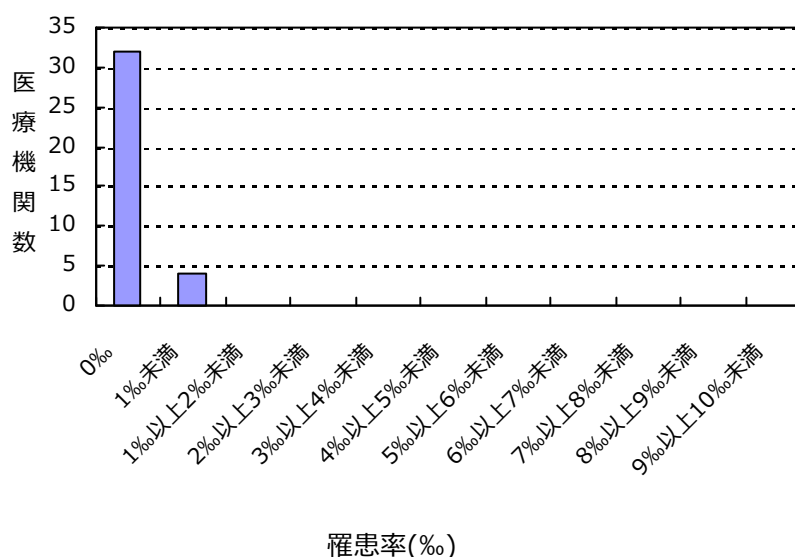
集計対象医療機関の罹患率(N=36)



多剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
MDRP	201,952	0	7	0.03%	0.00 0.00 0.43

集計対象医療機関の罹患率(N=36)



(兵庫県)

公開情報 2015年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

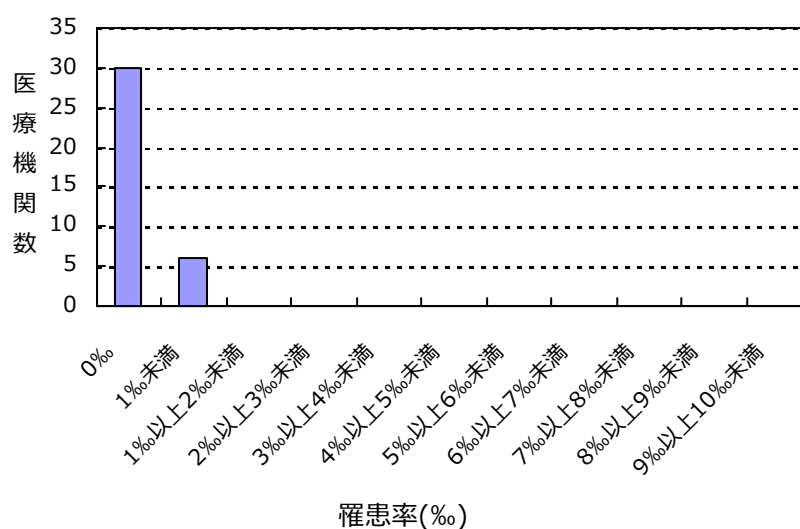


2. 新規感染症患者数と罹患率

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(‰)の分布
CRE	201,952	0	16	0.08‰	0.00 0.00 0.61

集計対象医療機関の罹患率(N=36)



(兵庫県)

公開情報 2015年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)感染症の報告はありませんでした

総入院患者数、新規感染症患者数、罹患率の説明

総入院患者数 = (対象期間の各月の新規入院患者数の合計) + (対象期間の一番初めの月の継続入院患者数)

感染症患者数 = (新規感染症患者数) + (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)

新規感染症患者数 = 対象期間の各月の新規感染症患者数の合計

継続感染症患者数 = 対象期間の一番初めの月より前に新規感染症患者とされ、対象期間の一番初めの月に改めて検査した際にも、継続的に同じ耐性菌に感染していた患者の数

罹患率 = (新規感染症患者数) ÷ ((総入院患者数) - (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)) × 1000

全体の罹患率 = (集計対象医療機関の新規感染症患者数合計) ÷ ((集計対象医療機関の総入院患者数合計) - (集計対象医療機関の対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数合計)) × 1000

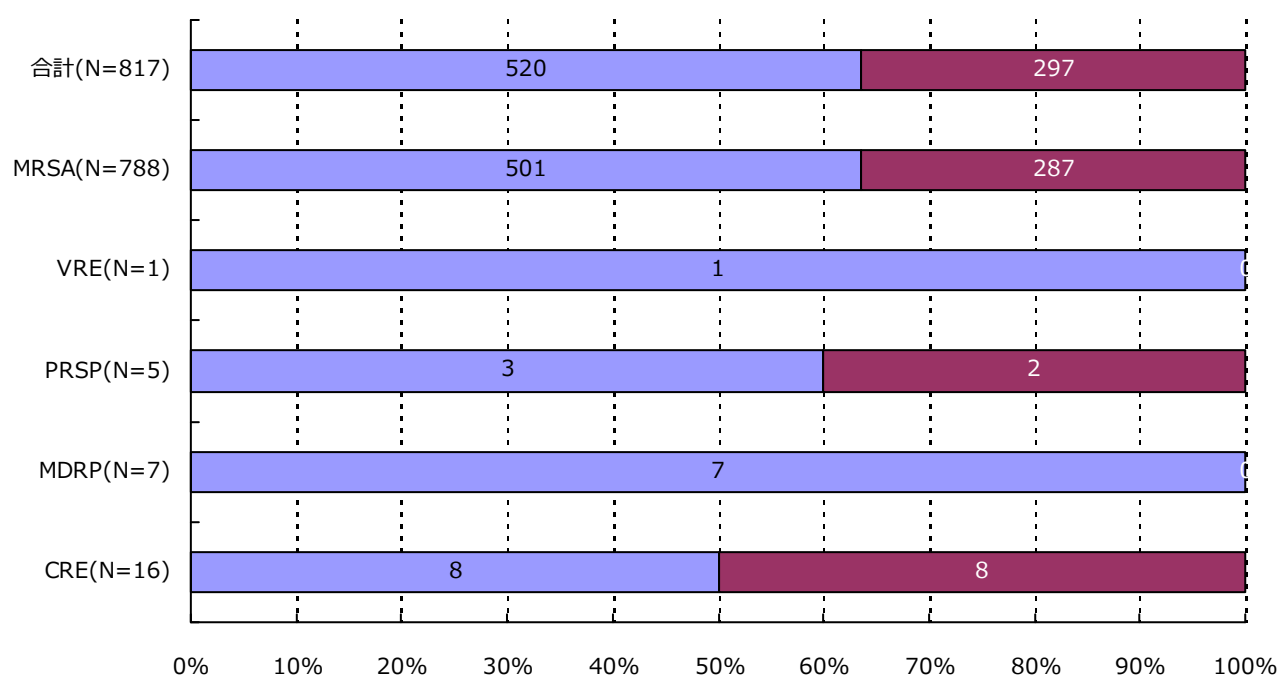
(兵庫県)

公開情報 2015年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

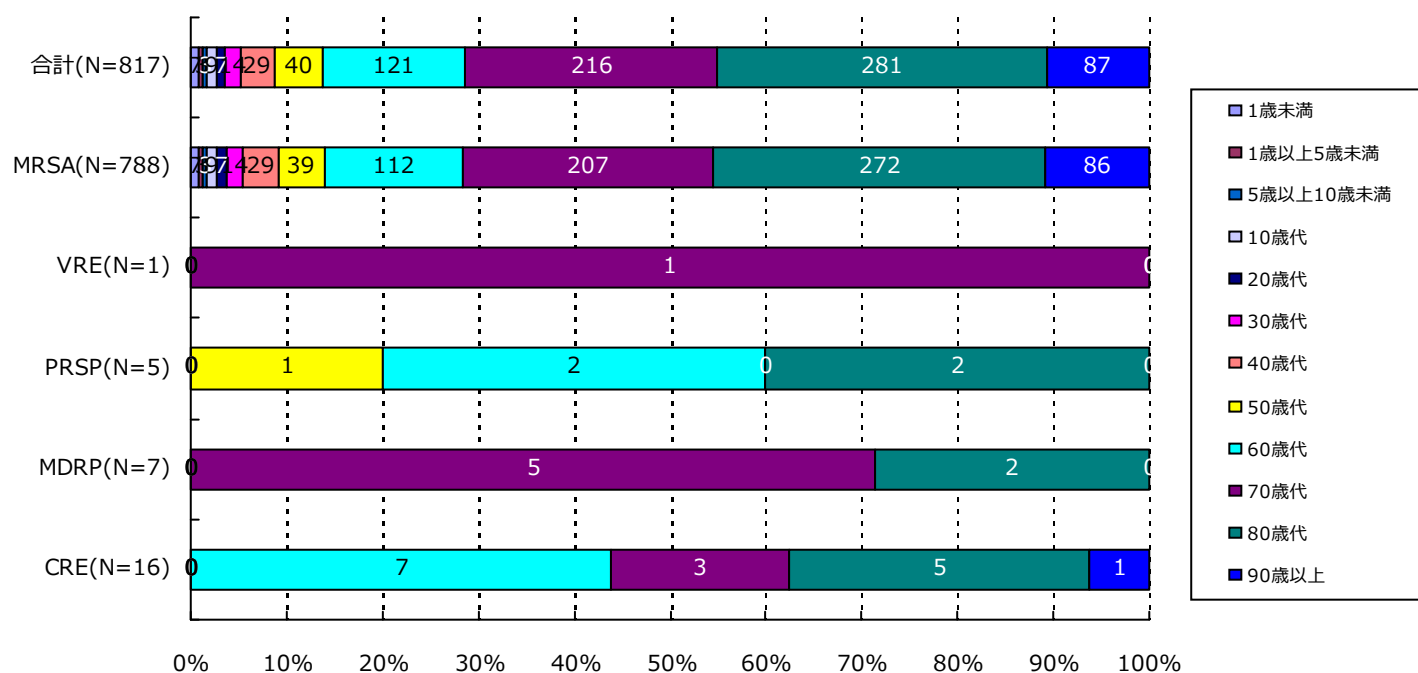


3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳



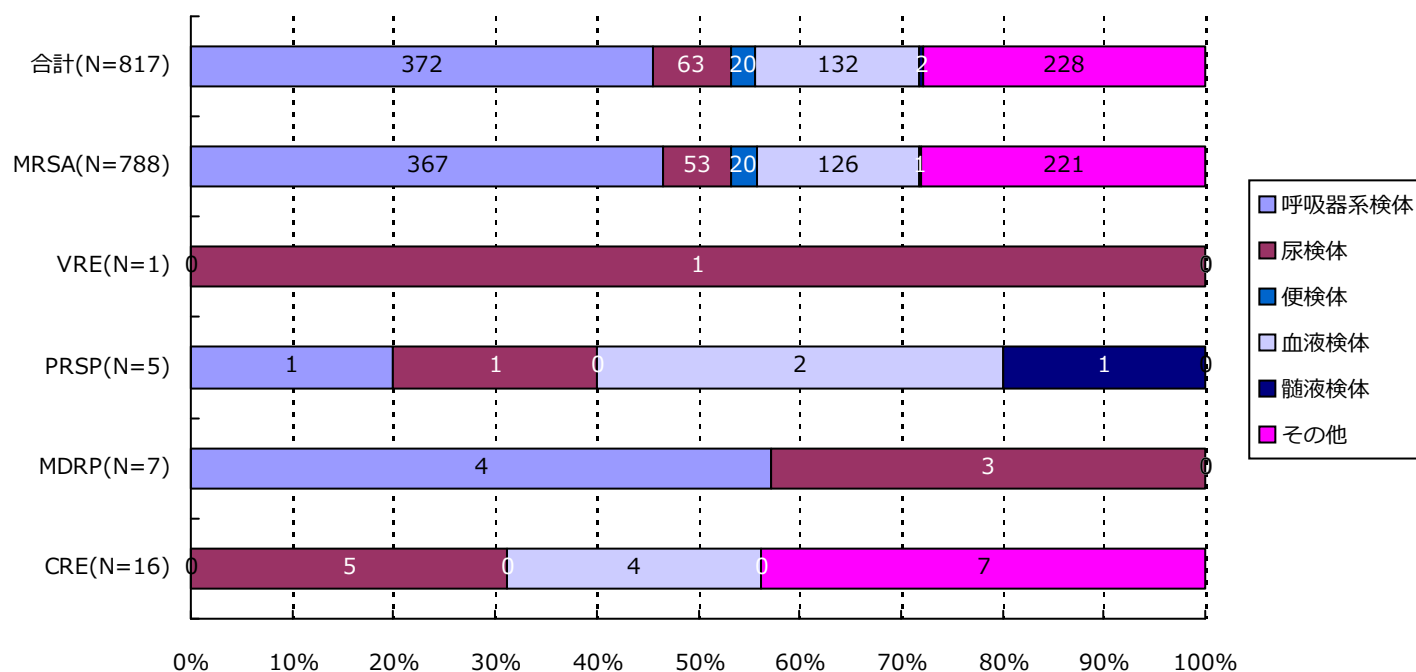
分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
男	520 (63.6%)	501 (63.6%)	0 (-)	1 (100.0%)	3 (60.0%)	7 (100.0%)	0 (-)	8 (50.0%)
女	297 (36.4%)	287 (36.4%)	0 (-)	0 (-)	2 (40.0%)	0 (-)	0 (-)	8 (50.0%)
合計	817	788	0	1	5	7	0	16

4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
1歳未満	7(0.9%)	7(0.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
1歳以上5歳未満	3(0.4%)	3(0.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
5歳以上10歳未満	3(0.4%)	3(0.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
10歳代	9(1.1%)	9(1.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
20歳代	7(0.9%)	7(0.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
30歳代	14(1.7%)	14(1.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
40歳代	29(3.5%)	29(3.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
50歳代	40(4.9%)	39(4.9%)	0(-)	0(-)	1(20.0%)	0(-)	0(-)	0(-)
60歳代	121(14.8%)	112(14.2%)	0(-)	0(-)	2(40.0%)	0(-)	0(-)	7(43.8%)
70歳代	216(26.4%)	207(26.3%)	0(-)	1(100.0%)	0(-)	5(71.4%)	0(-)	3(18.8%)
80歳代	281(34.4%)	272(34.5%)	0(-)	0(-)	2(40.0%)	2(28.6%)	0(-)	5(31.3%)
90歳以上	87(10.6%)	86(10.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(6.3%)
合計	817	788	0	1	5	7	0	16

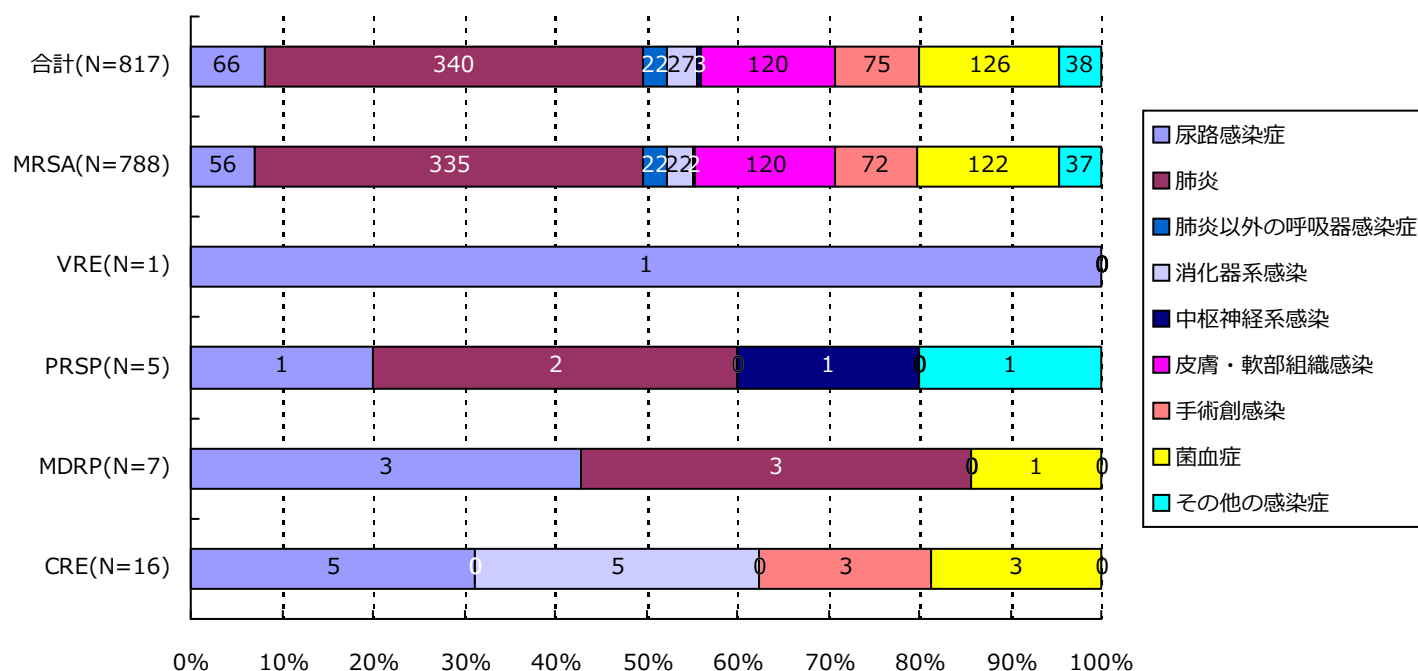
5. 耐性菌新規感染症患者の検体*内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
呼吸器系	372(45.5%)	367(46.6%)	0(-)	0(-)	1(20.0%)	4(57.1%)	0(-)	0(-)
尿検体	63(7.7%)	53(6.7%)	0(-)	1(100.0%)	1(20.0%)	3(42.9%)	0(-)	5(31.3%)
便検体	20(2.4%)	20(2.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
血液検体	132(16.2%)	126(16.0%)	0(-)	0(-)	2(40.0%)	0(-)	0(-)	4(25.0%)
髄液検体	2(0.2%)	1(0.1%)	0(-)	0(-)	1(20.0%)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	228(27.9%)	221(28.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	7(43.8%)
合計	817	788	0	1	5	7	0	16

*検体区分については巻末の資料 1 を参照

6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
尿路	66(8.1%)	56(7.1%)	0(-)	1(100.0%)	1(20.0%)	3(42.9%)	0(-)	5(31.3%)
肺炎	340(41.6%)	335(42.5%)	0(-)	0(-)	2(40.0%)	3(42.9%)	0(-)	0(-)
肺炎以外	22(2.7%)	22(2.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
消化器系	27(3.3%)	22(2.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	5(31.3%)
中枢神経系	3(0.4%)	2(0.3%)	0(-)	0(-)	1(20.0%)	0(-)	0(-)	0(-)
皮膚・軟部	120(14.7%)	120(15.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
手術創	75(9.2%)	72(9.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	3(18.8%)
菌血症	126(15.4%)	122(15.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(14.3%)	0(-)	3(18.8%)
その他	38(4.7%)	37(4.7%)	0(-)	0(-)	1(20.0%)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	817	788	0	1	5	7	0	16

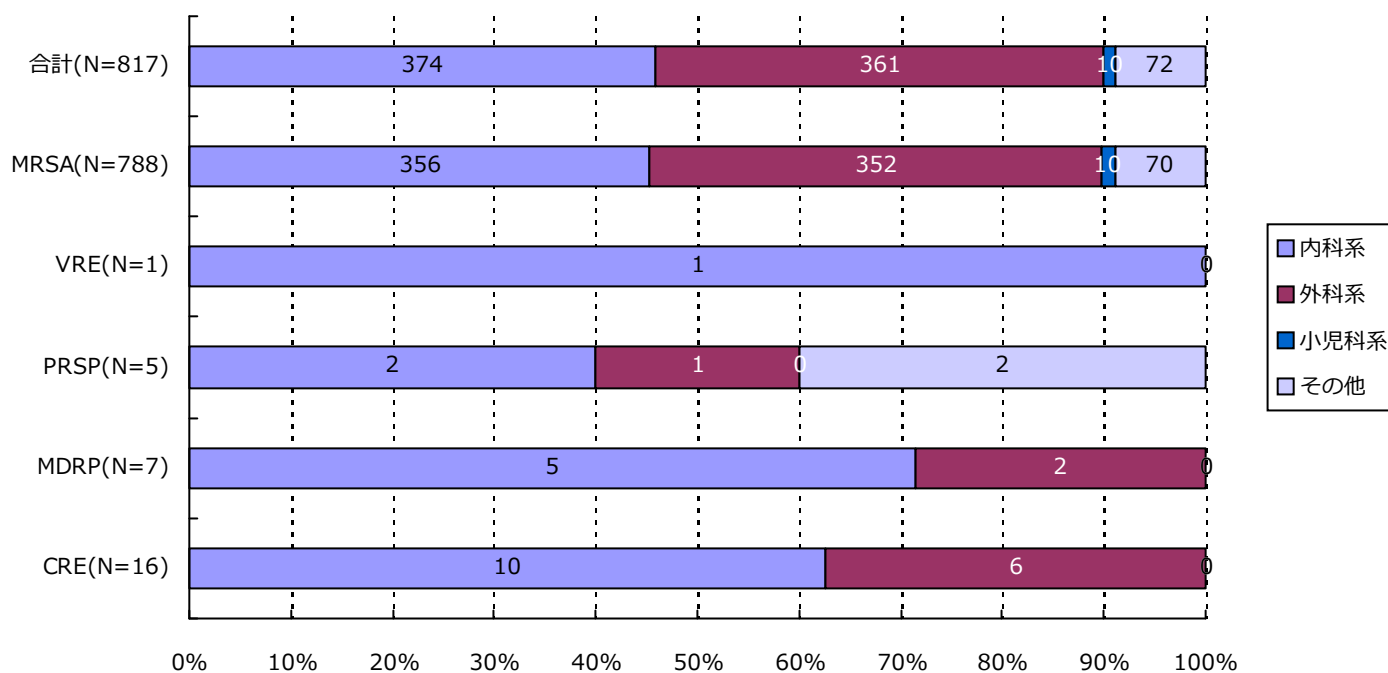
(兵庫県)

公開情報 2015年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



7. 耐性菌新規感染症患者の診療科*別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
内科系	374(45.8%)	356(45.2%)	0(-)	1(100.0%)	2(40.0%)	5(71.4%)	0(-)	10(62.5%)
外科系	361(44.2%)	352(44.7%)	0(-)	0(-)	1(20.0%)	2(28.6%)	0(-)	6(37.5%)
小児科系	10(1.2%)	10(1.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	72(8.8%)	70(8.9%)	0(-)	0(-)	2(40.0%)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	817	788	0	1	5	7	0	16

*診療科の内訳については巻末の資料2を参照

・資料 1

呼吸器系検体	喀出痰
	気管内採痰
	気管支洗浄液
	咽頭粘液
	鼻腔内
	口腔内
	生検材料(肺)
	胸水
	その他(呼吸器)
尿検体	自然排尿
	採尿カテーテル
	留置カテーテル
	カテーテル尿
便検体	糞便
血液検体	静脈血
	動脈血
髄液検体	髄液
その他	尿道分泌液
	膣分泌液
	胃・十二指腸液
	胆汁
	生検材料(消化管)
	腹水
	関節液
	その他

・資料 2

内科系	内科	外科系	外科	
	循環器内科		消化器外科	
	神経内科		肛門科	
	呼吸器内科		肝胆脾外科	
	消化器内科		心臓血管外科	
	胃腸科		内分泌外科	
	内分泌・代謝内科		呼吸器外科	
	腎臓内科		小児外科	
	糖尿病内科		小児循環器外科	
	アレルギー・膠原病内科		小児消化器外科	
	膠原病内科		産婦人科	
	アレルギー内科		産科	
	リウマチ内科		婦人科	
	血液内科		整形外科	
	感染症内科		美容外科	
	老人内科		眼科	
	心療内科		耳鼻咽喉科	
	その他		性病科	気管食道科
			神経科	泌尿器科
精神科		皮膚・泌尿器科		
放射線科		皮膚科		
総合診療部		脳神経外科		
救急部		形成外科		
救急・集中治療部		歯科口腔外科		
集中治療部(ICU)		歯科		
冠動脈疾患集中治療部(CCU)		小児歯科		
内視鏡科		矯正歯科		
透析科		口腔外科		
理学療法・リハビリテーション科		手術部		
理学療法科		移植・人工臓器科		
リハビリテーション科		小児科系	小児科	
麻酔科			新生児科	
その他			新生児集中治療部(NICU)	
			周産期センター	

・資料 3 厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 薬剤耐性菌 判定基準 (Ver.3.1)

菌名	概要*	菌名コード	微量液体希釈法の基準*	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)	MPIPC が “R” の <i>Staphylococcus aureus</i> (または CFX がディスク拡散法で “R”)、または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC \geq 4 μ g/ml	MPIPC \leq 10mm または CFX \leq 21mm
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	VCM が微量液体希釈法で “R” の <i>Staphylococcus aureus</i>	1301、1303-1306	VCM \geq 16 μ g/ml	
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・ VCM が微量液体希釈法で耐性 + ・ VCM がディスク拡散法で “R” ・ 選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp. は除く	1201、1202、1205、1206、1209、1210、1213-1217	VCM \geq 16 μ g/ml +	VCM \leq 14mm
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	PCG が微量液体希釈法で耐性 +、または MPIPC がディスク拡散法で “S 以外” の <i>Streptococcus pneumoniae</i>	1131	PCG \geq 0.125 μ g/ml +	MPIPC \leq 19mm または PCG が試薬会社の基準で “S 以外” (例 \leq 23mm) ‡
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	下記のすべての条件を満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・ カルバペネム系 (IPM、MEPM のいずれか) が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX、GFLX のいずれか)	4001	IPM・MEPM \geq 16 μ g/ml + AMK \geq 32 μ g/ml + NFLX \geq 16 μ g/ml OFLX・LVFX・LFLX・GFLX \geq 8 μ g/ml CPFX \geq 4 μ g/ml	IPM・MEPM \leq 13mm + AMK \leq 14mm NFLX・OFLX \leq 12mm LVFX \leq 13mm、LFLX \leq 18mm CPFX \leq 15mm、GFLX \leq 14mm
多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)	下記のすべての条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp. ・ カルバペネム系が “R” (IPM、MEPM のいずれか) ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (LVFX、CPFX、GFLX のいずれか)	4400-4403	IPM・MEPM \geq 16 μ g/ml AMK \geq 32 μ g/ml + LVFX・GFLX \geq 8 μ g/ml CPFX \geq 4 μ g/ml	IPM・MEPM \leq 13mm AMK \leq 14mm LVFX \leq 13mm、GFLX \leq 14mm CPFX \leq 15mm
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE)	下記のいずれかの条件を満たす腸内細菌科細菌 ・ MEPM が耐性 + ・ IPM が耐性 +、かつ CMZ が “R”	2000-2691、3150-3151	MEPM \geq 2 μ g/ml + IPM \geq 2 μ g/ml + かつ CMZ \geq 64 μ g/ml	MEPM \leq 22mm IPM \leq 22mm、かつ CMZ \leq 12mm

* 原則 S,I,R の判定は CLSI2012(M100-S22)に準拠

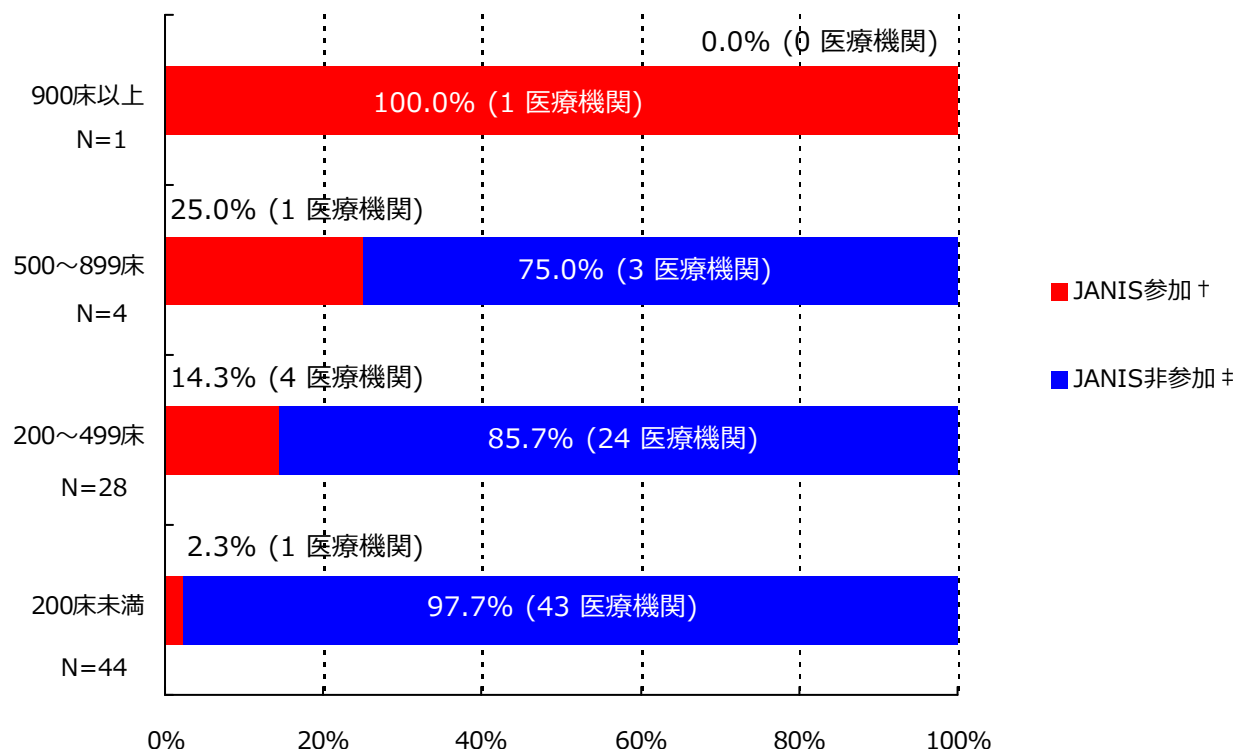
+ 感染症発生動向調査の基準に準拠

‡ PR(I)SP のスクリーニングにディスク拡散法で PCG を用いることは推奨されていないが、国内の現状を考慮し採用

(奈良県)
公開情報 2015年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)
院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



1. データ提出医療機関*数(7医療機関)



*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

† JANIS参加 = 2015年1月～12月 集計対象医療機関数

‡ JANIS非参加 = (2014年 都道府県別医療機関数¶) - (2015年1月～12月 集計対象医療機関数)

病床数	2014年 都道府県別医療機関数¶	2015年1月～12月 集計対象医療機関数 (都道府県別医療機関数に占める割合)
900床以上	1	1 (100.0%)
500～899床	4	1 (25.0%)
200～499床	28	4 (14.3%)
200床未満	44	1 (2.3%)
病床数不明	-	0 (-)
合計	77	7 (9.1%)

¶平成26年医療施設（動態）調査を参照した。

(奈良県)

公開情報 2015年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)
院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

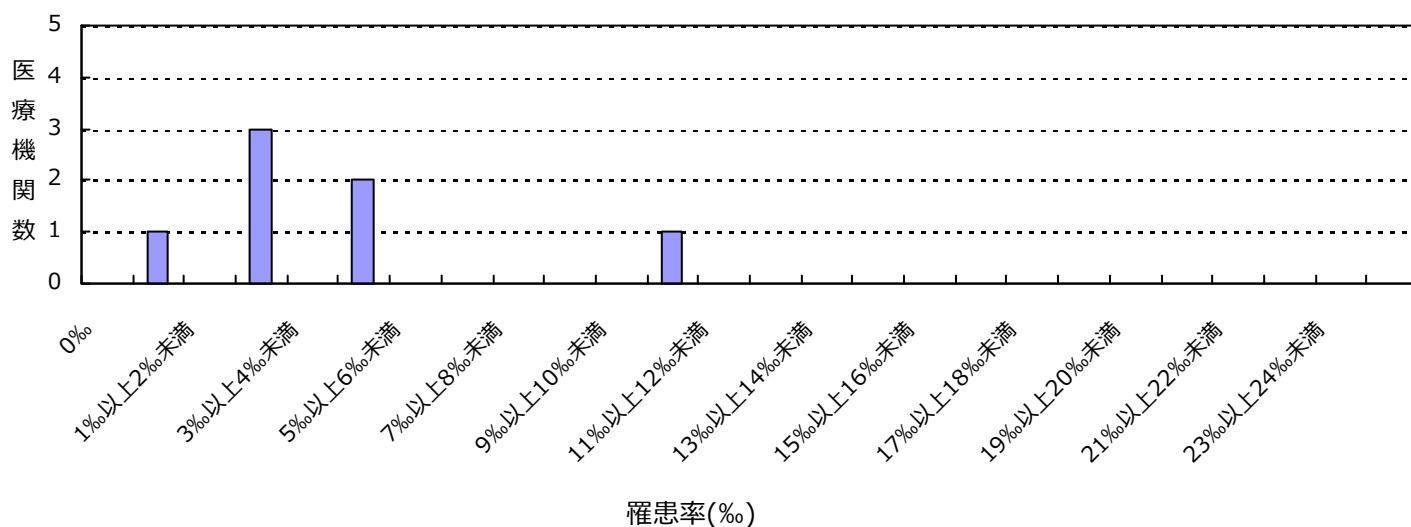


2. 新規感染症患者数と罹患率

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
MRSA	58,726	1	205	3.49%	0.54 2.98 10.10

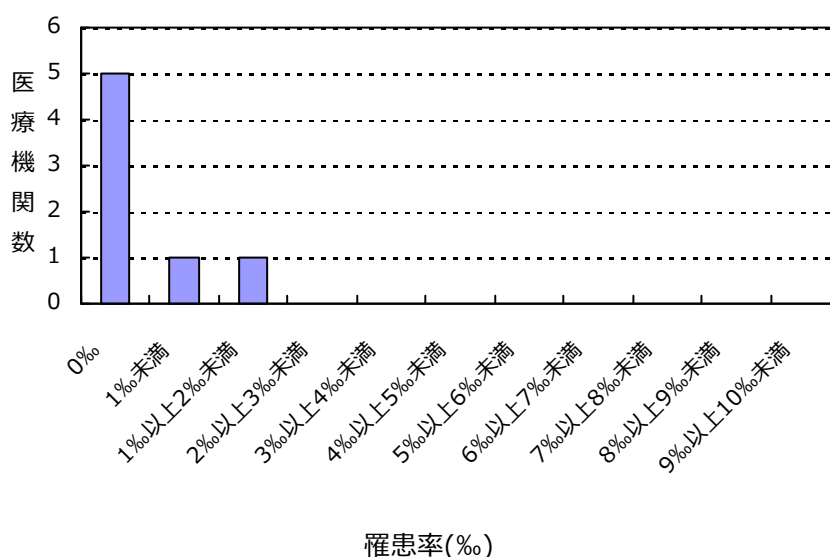
集計対象医療機関の罹患率(N=7)



ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
PRSP	58,726	0	20	0.34%	0.00 0.00 1.05

集計対象医療機関の罹患率(N=7)



(奈良県)

公開情報 2015年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)
院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

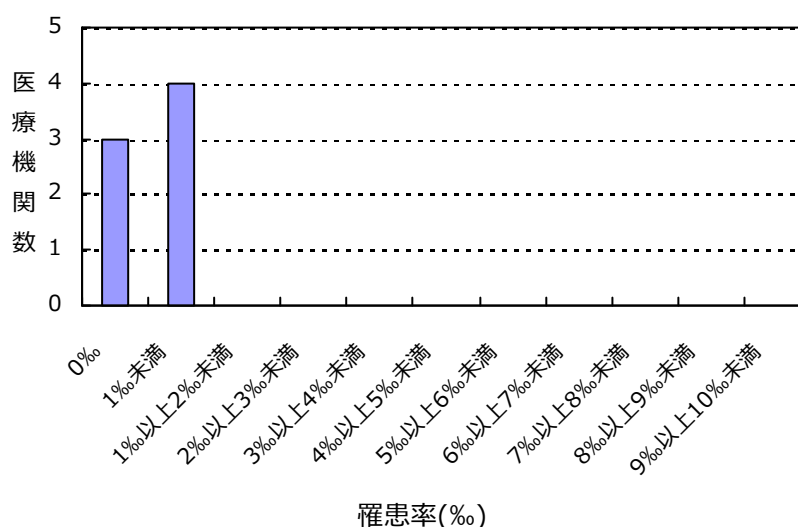


2. 新規感染症患者数と罹患率

多剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
MDRP	58,726	0	6	0.10%	0.00 0.06 0.32

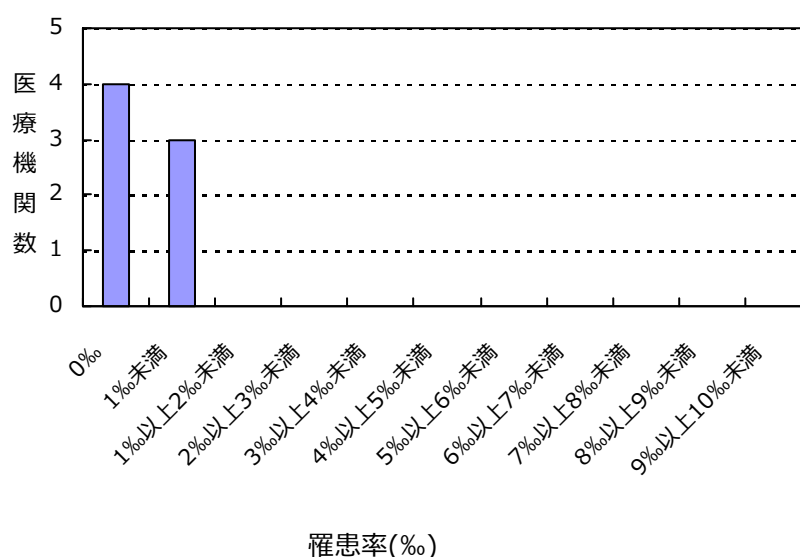
集計対象医療機関の罹患率(N=7)



カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
CRE	58,726	0	7	0.12%	0.00 0.00 0.54

集計対象医療機関の罹患率(N=7)



(奈良県)

公開情報 2015年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)感染症の報告はありませんでした

バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)感染症の報告はありませんでした

総入院患者数、新規感染症患者数、罹患率の説明

総入院患者数 = (対象期間の各月の新規入院患者数の合計) + (対象期間の一番初めの月の継続入院患者数)

感染症患者数 = (新規感染症患者数) + (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)

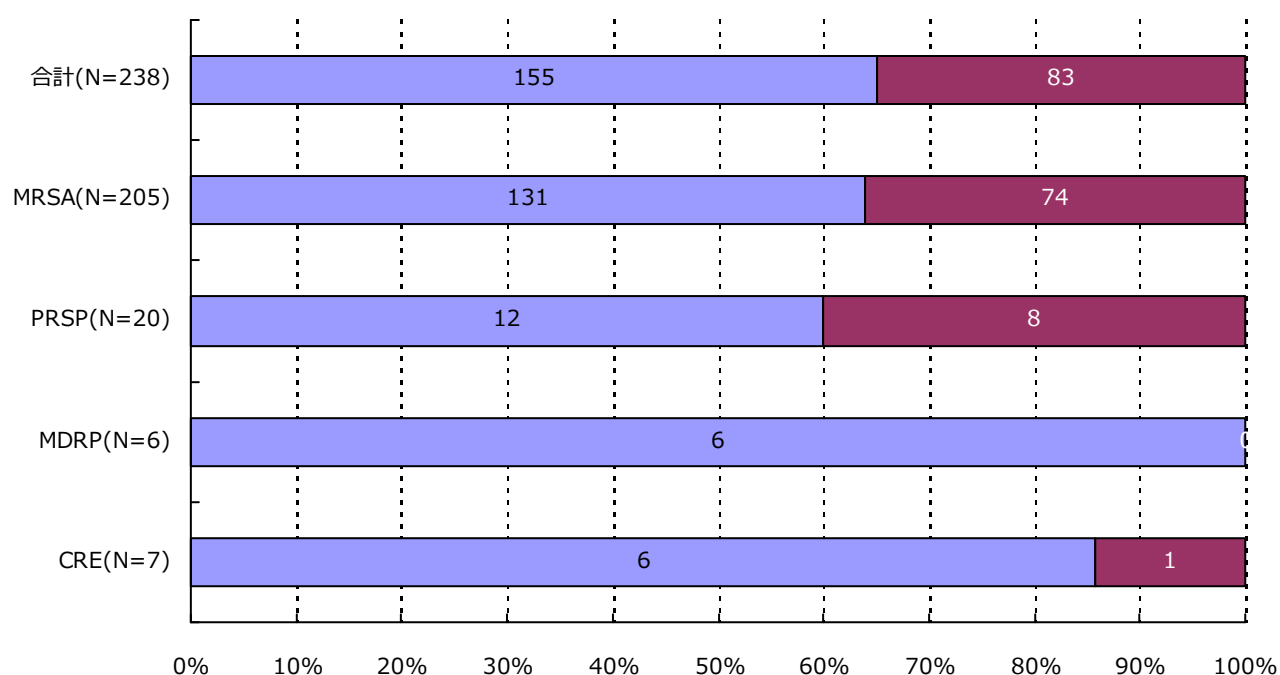
新規感染症患者数 = 対象期間の各月の新規感染症患者数の合計

継続感染症患者数 = 対象期間の一番初めの月より前に新規感染症患者とされ、対象期間の一番初めの月に改めて検査した際にも、継続的に同じ耐性菌に感染していた患者の数

罹患率 = (新規感染症患者数) ÷ ((総入院患者数) - (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)) × 1000

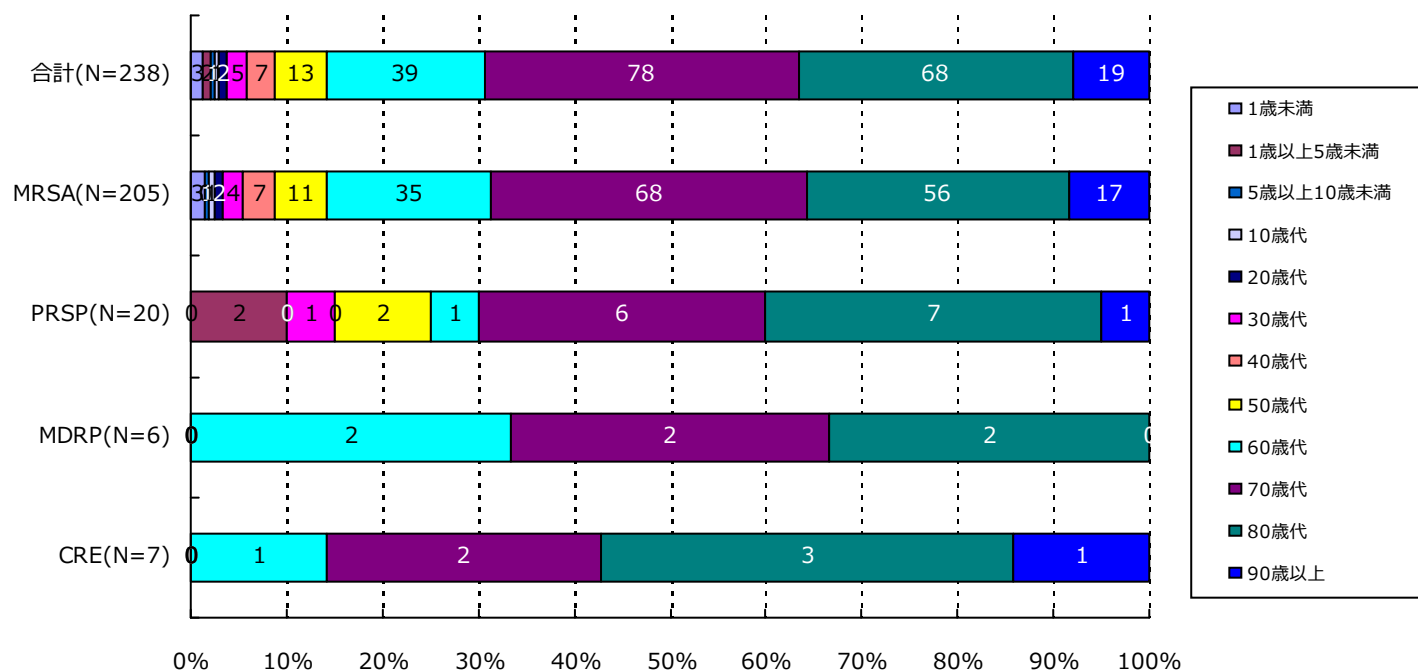
全体の罹患率 = (集計対象医療機関の新規感染症患者数合計) ÷ ((集計対象医療機関の総入院患者数合計) - (集計対象医療機関の対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数合計)) × 1000

3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳



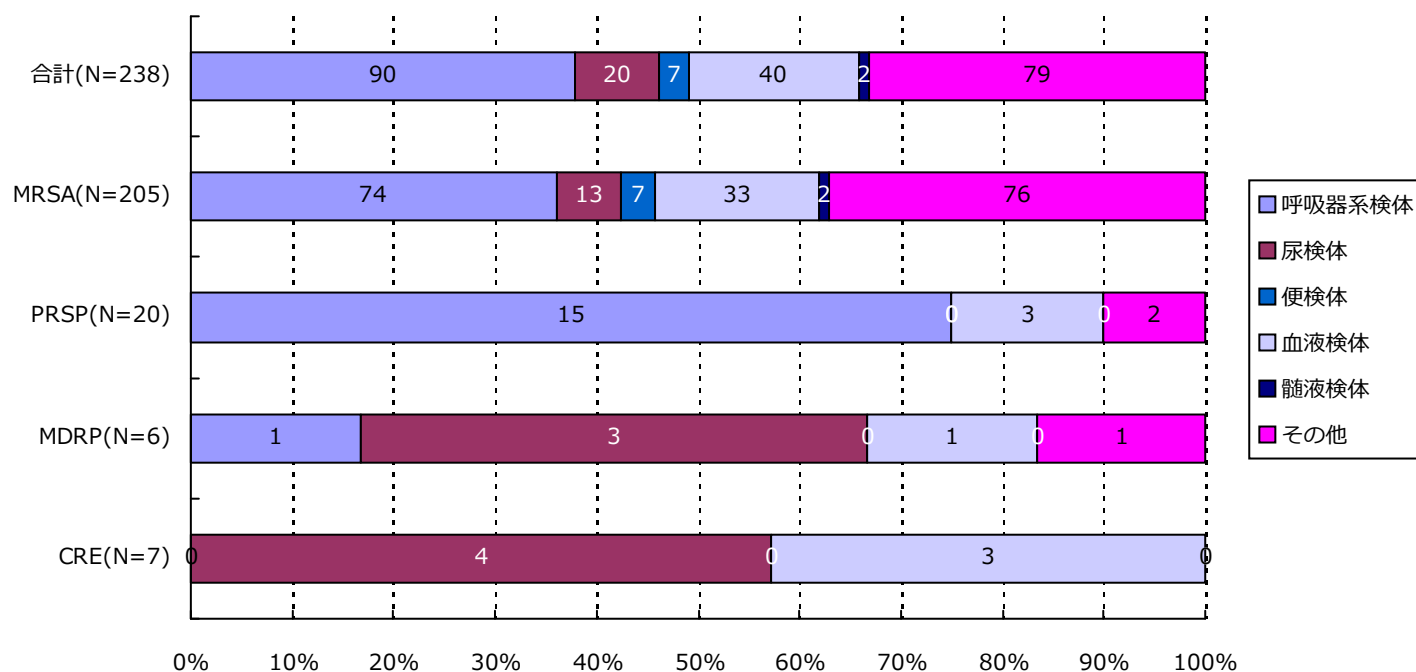
分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
男	155 (65.1%)	131 (63.9%)	0 (-)	0 (-)	12 (60.0%)	6 (100.0%)	0 (-)	6 (85.7%)
女	83 (34.9%)	74 (36.1%)	0 (-)	0 (-)	8 (40.0%)	0 (-)	0 (-)	1 (14.3%)
合計	238	205	0	0	20	6	0	7

4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
1歳未満	3(1.3%)	3(1.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
1歳以上5歳未満	2(0.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	2(10.0%)	0(-)	0(-)	0(-)
5歳以上10歳未満	1(0.4%)	1(0.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
10歳代	1(0.4%)	1(0.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
20歳代	2(0.8%)	2(1.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
30歳代	5(2.1%)	4(2.0%)	0(-)	0(-)	1(5.0%)	0(-)	0(-)	0(-)
40歳代	7(2.9%)	7(3.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
50歳代	13(5.5%)	11(5.4%)	0(-)	0(-)	2(10.0%)	0(-)	0(-)	0(-)
60歳代	39(16.4%)	35(17.1%)	0(-)	0(-)	1(5.0%)	2(33.3%)	0(-)	1(14.3%)
70歳代	78(32.8%)	68(33.2%)	0(-)	0(-)	6(30.0%)	2(33.3%)	0(-)	2(28.6%)
80歳代	68(28.6%)	56(27.3%)	0(-)	0(-)	7(35.0%)	2(33.3%)	0(-)	3(42.9%)
90歳以上	19(8.0%)	17(8.3%)	0(-)	0(-)	1(5.0%)	0(-)	0(-)	1(14.3%)
合計	238	205	0	0	20	6	0	7

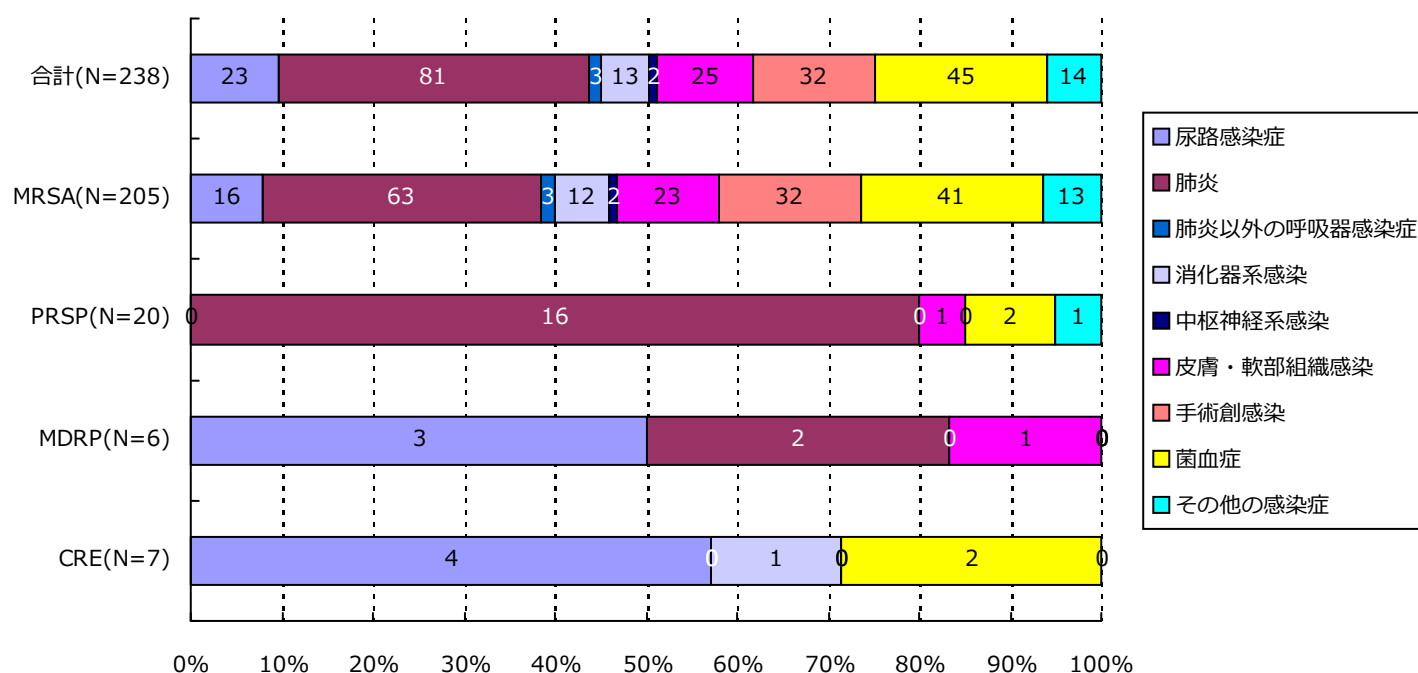
5. 耐性菌新規感染症患者の検体*内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
呼吸器系	90(37.8%)	74(36.1%)	0(-)	0(-)	15(75.0%)	1(16.7%)	0(-)	0(-)
尿検体	20(8.4%)	13(6.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	3(50.0%)	0(-)	4(57.1%)
便検体	7(2.9%)	7(3.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
血液検体	40(16.8%)	33(16.1%)	0(-)	0(-)	3(15.0%)	1(16.7%)	0(-)	3(42.9%)
髄液検体	2(0.8%)	2(1.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	79(33.2%)	76(37.1%)	0(-)	0(-)	2(10.0%)	1(16.7%)	0(-)	0(-)
合計	238	205	0	0	20	6	0	7

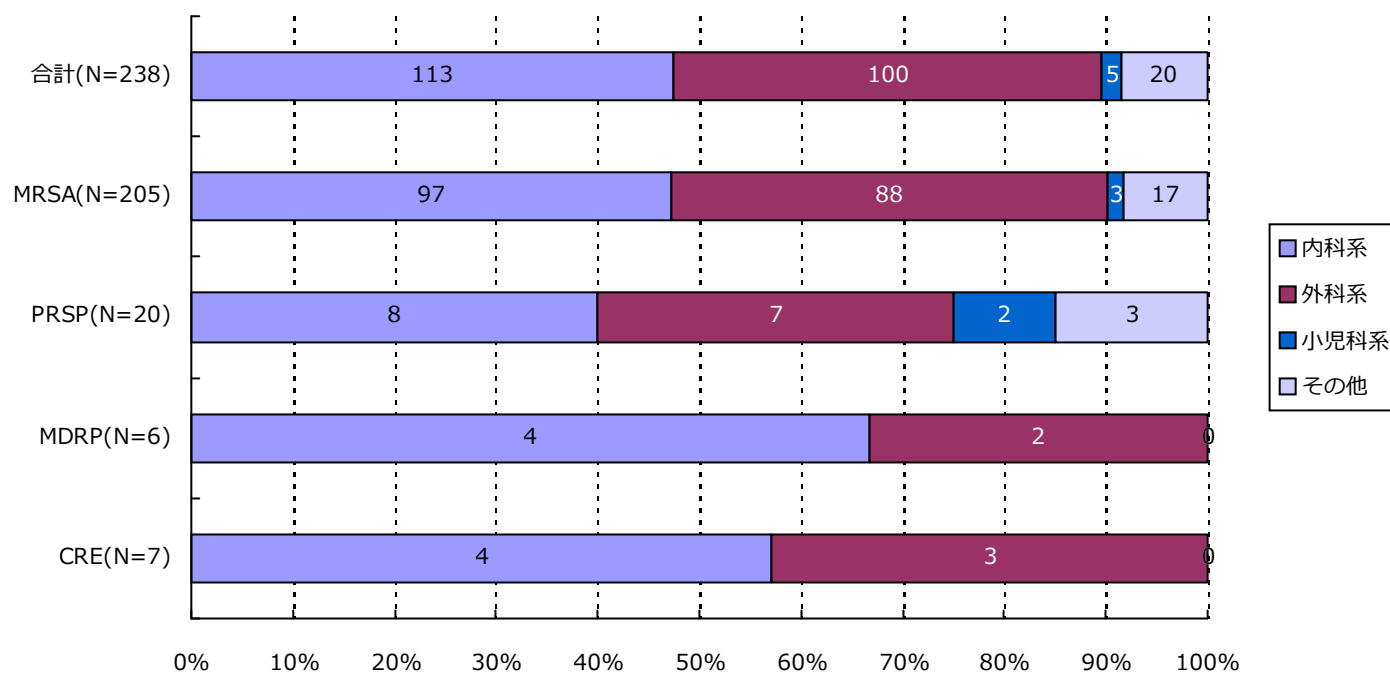
*検体区分については巻末の資料 1 を参照

6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
尿路	23(9.7%)	16(7.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	3(50.0%)	0(-)	4(57.1%)
肺炎	81(34.0%)	63(30.7%)	0(-)	0(-)	16(80.0%)	2(33.3%)	0(-)	0(-)
肺炎以外	3(1.3%)	3(1.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
消化器系	13(5.5%)	12(5.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(14.3%)
中枢神経系	2(0.8%)	2(1.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
皮膚・軟部	25(10.5%)	23(11.2%)	0(-)	0(-)	1(5.0%)	1(16.7%)	0(-)	0(-)
手術創	32(13.4%)	32(15.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
菌血症	45(18.9%)	41(20.0%)	0(-)	0(-)	2(10.0%)	0(-)	0(-)	2(28.6%)
その他	14(5.9%)	13(6.3%)	0(-)	0(-)	1(5.0%)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	238	205	0	0	20	6	0	7

7. 耐性菌新規感染症患者の診療科*別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
内科系	113(47.5%)	97(47.3%)	0(-)	0(-)	8(40.0%)	4(66.7%)	0(-)	4(57.1%)
外科系	100(42.0%)	88(42.9%)	0(-)	0(-)	7(35.0%)	2(33.3%)	0(-)	3(42.9%)
小児科系	5(2.1%)	3(1.5%)	0(-)	0(-)	2(10.0%)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	20(8.4%)	17(8.3%)	0(-)	0(-)	3(15.0%)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	238	205	0	0	20	6	0	7

*診療科の内訳については巻末の資料2を参照

・資料 1

呼吸器系検体	喀出痰
	気管内採痰
	気管支洗浄液
	咽頭粘液
	鼻腔内
	口腔内
	生検材料(肺)
	胸水
	その他(呼吸器)
尿検体	自然排尿
	採尿カテーテル
	留置カテーテル
	カテーテル尿
便検体	糞便
血液検体	静脈血
	動脈血
髄液検体	髄液
その他	尿道分泌液
	膣分泌液
	胃・十二指腸液
	胆汁
	生検材料(消化管)
	腹水
	関節液
	その他

・資料 2

内科系	内科	外科系	外科
	循環器内科		消化器外科
	神経内科		肛門科
	呼吸器内科		肝胆脾外科
	消化器内科		心臓血管外科
	胃腸科		内分泌外科
	内分泌・代謝内科		呼吸器外科
	腎臓内科		小児外科
	糖尿病内科		小児循環器外科
	アレルギー・膠原病内科		小児消化器外科
	膠原病内科		産婦人科
	アレルギー内科		産科
	リウマチ内科		婦人科
	血液内科		整形外科
	感染症内科		美容外科
	老人内科		眼科
	心療内科		耳鼻咽喉科
	その他		性病科
神経科		泌尿器科	
精神科		皮膚・泌尿器科	
放射線科		皮膚科	
総合診療部		脳神経外科	
救急部		形成外科	
救急・集中治療部		歯科口腔外科	
集中治療部(ICU)		歯科	
冠動脈疾患集中治療部(CCU)		小児歯科	
内視鏡科		矯正歯科	
透析科		口腔外科	
理学療法・リハビリテーション科		手術部	
理学療法科		移植・人工臓器科	
リハビリテーション科		小児科	
麻酔科		新生児科	
その他		新生児集中治療部(NICU)	
		周産期センター	

・資料 3 厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 薬剤耐性菌 判定基準 (Ver.3.1)

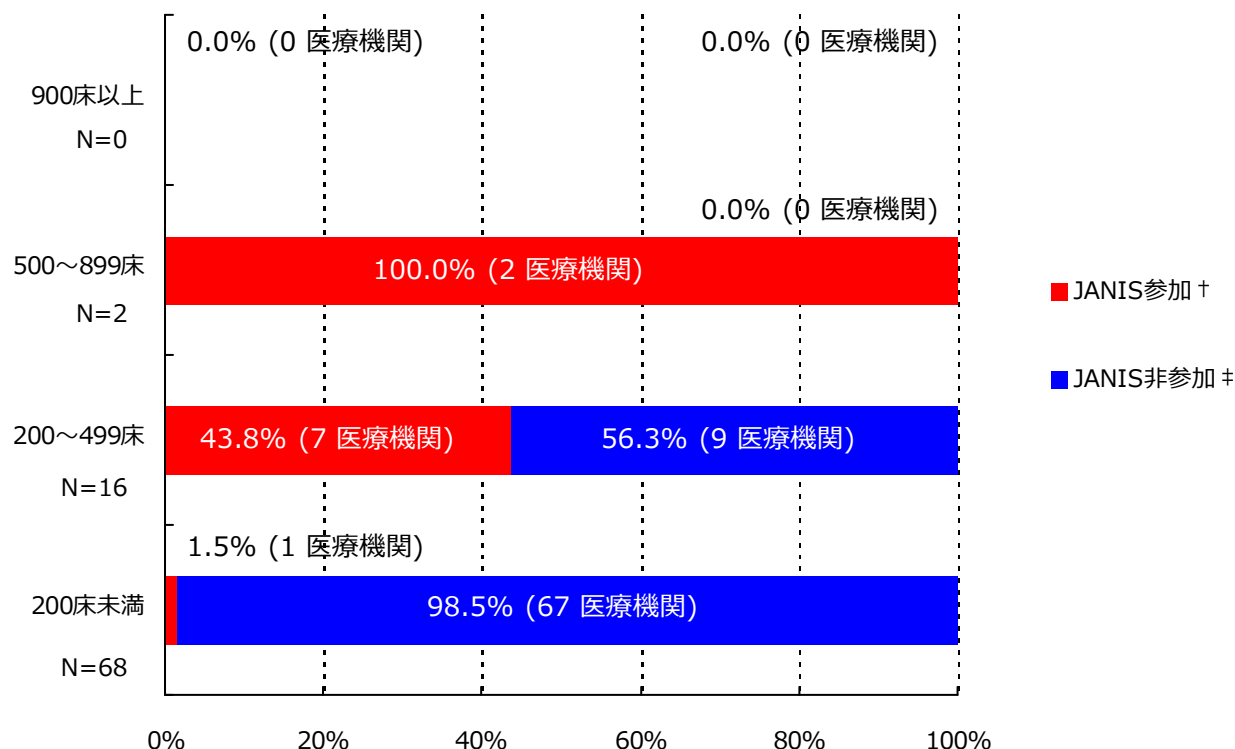
菌名	概要*	菌名コード	微量液体希釈法の基準*	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)	MPIPC が “R” の <i>Staphylococcus aureus</i> (または CFX がディスク拡散法で “R”)、または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC \geq 4 μ g/ml	MPIPC \leq 10mm または CFX \leq 21mm
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	VCM が微量液体希釈法で “R” の <i>Staphylococcus aureus</i>	1301、1303-1306	VCM \geq 16 μ g/ml	
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・ VCM が微量液体希釈法で耐性 + ・ VCM がディスク拡散法で “R” ・ 選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp. は除く	1201、1202、1205、1206、1209、1210、1213-1217	VCM \geq 16 μ g/ml +	VCM \leq 14mm
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	PCG が微量液体希釈法で耐性 +、または MPIPC がディスク拡散法で “S 以外” の <i>Streptococcus pneumoniae</i>	1131	PCG \geq 0.125 μ g/ml +	MPIPC \leq 19mm または PCG が試薬会社の基準で “S 以外” (例 \leq 23mm) ‡
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	下記のすべての条件を満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・ カルバペネム系 (IPM、MEPM のいずれか) が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX、GFLX のいずれか)	4001	IPM・MEPM \geq 16 μ g/ml + AMK \geq 32 μ g/ml + NFLX \geq 16 μ g/ml OFLX・LVFX・LFLX・GFLX \geq 8 μ g/ml CPFX \geq 4 μ g/ml	IPM・MEPM \leq 13mm + AMK \leq 14mm NFLX・OFLX \leq 12mm LVFX \leq 13mm、LFLX \leq 18mm CPFX \leq 15mm、GFLX \leq 14mm
多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)	下記のすべての条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp. ・ カルバペネム系が “R” (IPM、MEPM のいずれか) ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (LVFX、CPFX、GFLX のいずれか)	4400-4403	IPM・MEPM \geq 16 μ g/ml AMK \geq 32 μ g/ml + LVFX・GFLX \geq 8 μ g/ml CPFX \geq 4 μ g/ml	IPM・MEPM \leq 13mm AMK \leq 14mm LVFX \leq 13mm、GFLX \leq 14mm CPFX \leq 15mm
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE)	下記のいずれかの条件を満たす腸内細菌科細菌 ・ MEPM が耐性 + ・ IPM が耐性 +、かつ CMZ が “R”	2000-2691、3150-3151	MEPM \geq 2 μ g/ml + IPM \geq 2 μ g/ml + かつ CMZ \geq 64 μ g/ml	MEPM \leq 22mm IPM \leq 22mm、かつ CMZ \leq 12mm

* 原則 S,I,R の判定は CLSI2012(M100-S22)に準拠

+ 感染症発生動向調査の基準に準拠

‡ PR(I)SP のスクリーニングにディスク拡散法で PCG を用いることは推奨されていないが、国内の現状を考慮し採用

1. データ提出医療機関*数(10医療機関)



*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

† JANIS参加 = 2015年1月～12月 集計対象医療機関数

‡ JANIS非参加 = (2014年 都道府県別医療機関数¶) - (2015年1月～12月 集計対象医療機関数)

病床数	2014年 都道府県別医療機関数¶	2015年1月～12月 集計対象医療機関数 (都道府県別医療機関数に占める割合)
900床以上	0	0 (-)
500～899床	2	2 (100.0%)
200～499床	16	7 (43.8%)
200床未満	68	1 (1.5%)
病床数不明	-	0 (-)
合計	86	10 (11.6%)

¶平成26年医療施設（動態）調査を参照した。

(和歌山県)

公開情報 2015年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

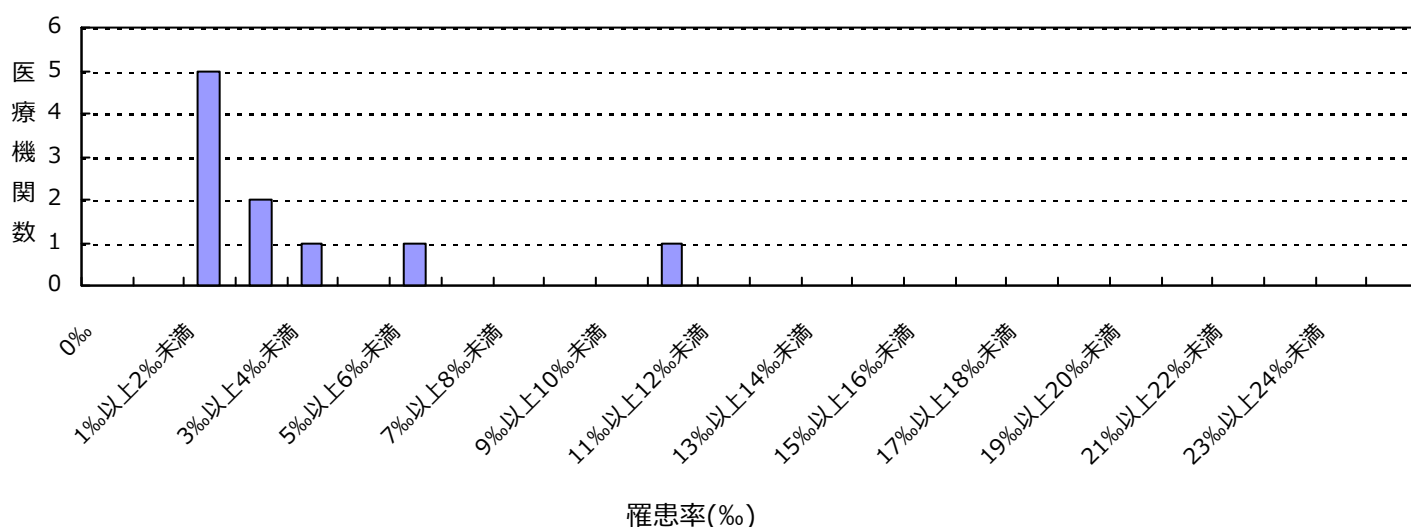


2. 新規感染症患者数と罹患率

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
MRSA	80,723	2	240	2.97%	1.31 1.94 10.41

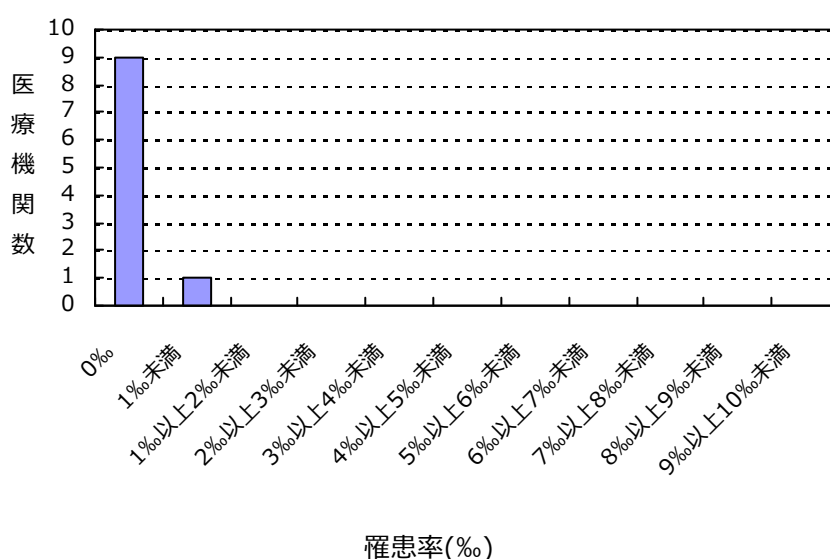
集計対象医療機関の罹患率(N=10)



ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
PRSP	80,723	0	2	0.02%	0.00 0.00 0.10

集計対象医療機関の罹患率(N=10)

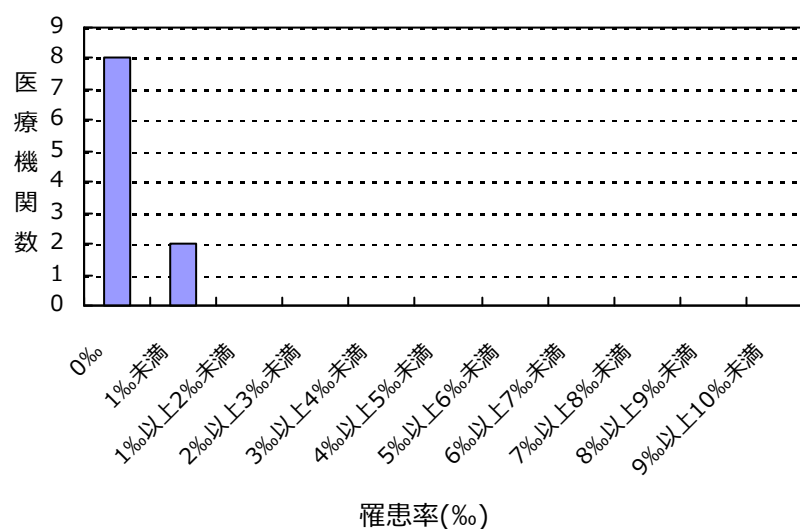


2. 新規感染症患者数と罹患率

多剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
MDRP	80,723	0	2	0.02%	0.00 0.00 0.23

集計対象医療機関の罹患率(N=10)



(和歌山県)

公開情報 2015年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)感染症の報告はありませんでした

バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)感染症の報告はありませんでした

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)感染症の報告はありませんでした

総入院患者数、新規感染症患者数、罹患率の説明

総入院患者数 = (対象期間の各月の新規入院患者数の合計) + (対象期間の一番初めの月の継続入院患者数)

感染症患者数 = (新規感染症患者数) + (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)

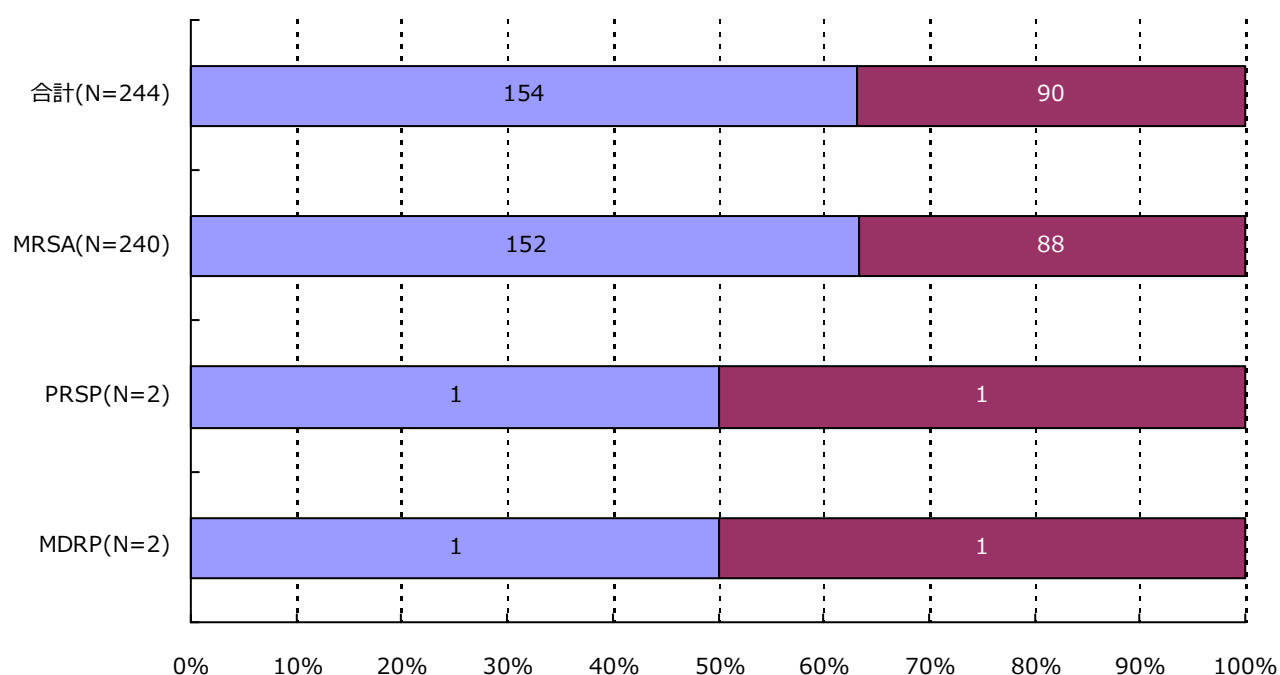
新規感染症患者数 = 対象期間の各月の新規感染症患者数の合計

継続感染症患者数 = 対象期間の一番初めの月より前に新規感染症患者とされ、対象期間の一番初めの月に改めて検査した際にも、継続的に同じ耐性菌に感染していた患者の数

罹患率 = (新規感染症患者数) ÷ ((総入院患者数) - (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)) × 1000

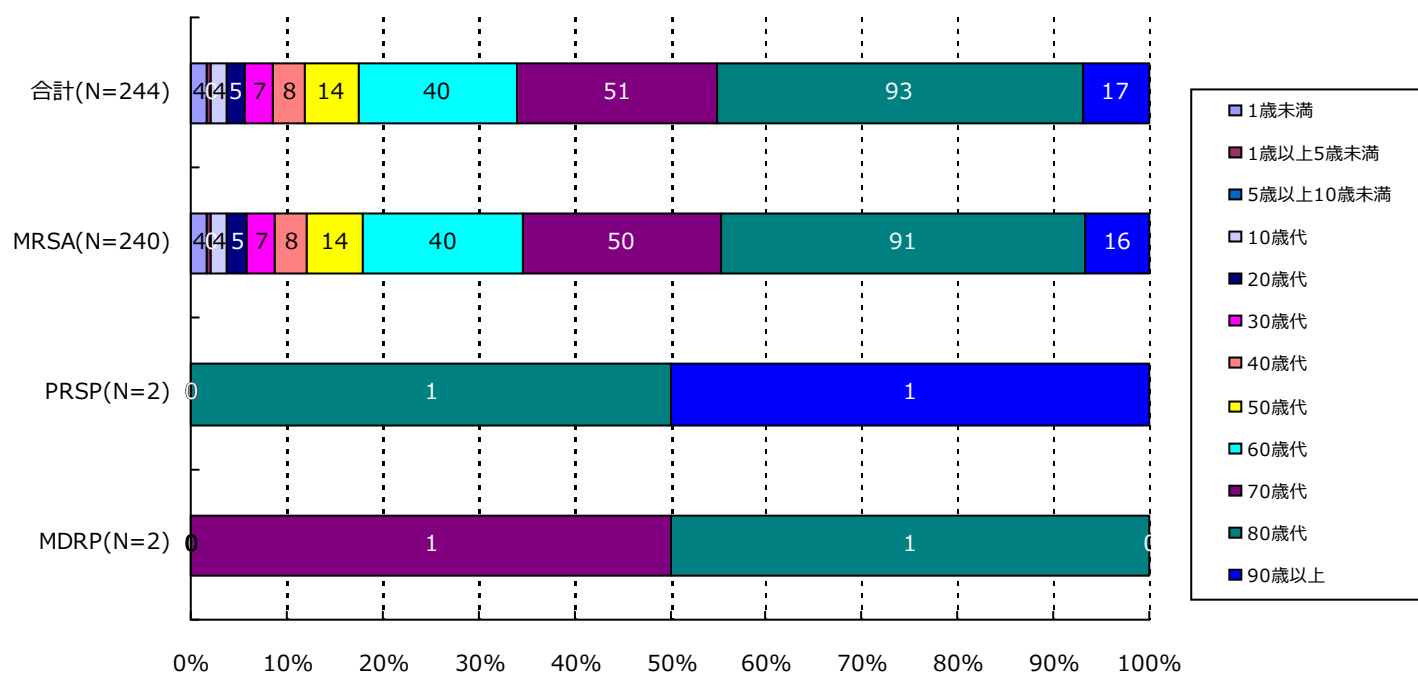
全体の罹患率 = (集計対象医療機関の新規感染症患者数合計) ÷ ((集計対象医療機関の総入院患者数合計) - (集計対象医療機関の対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数合計)) × 1000

3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳



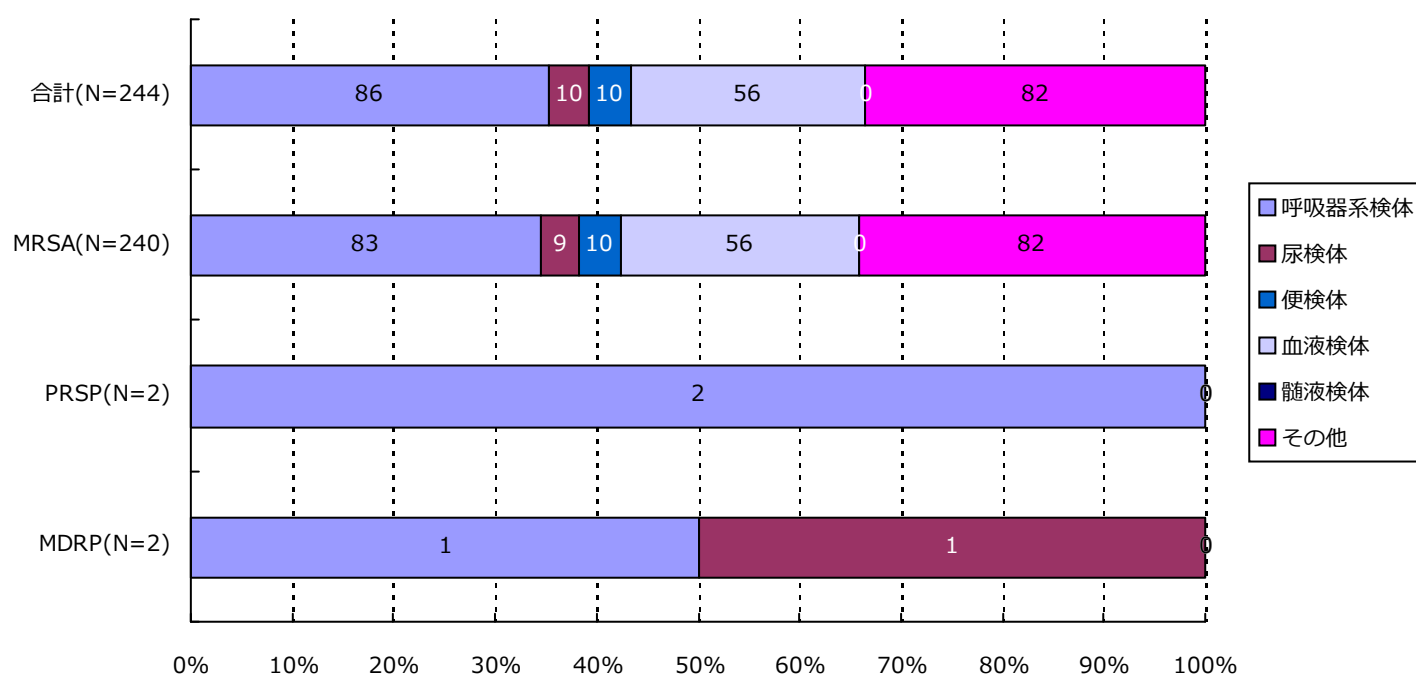
分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
男	154 (63.1%)	152 (63.3%)	0 (-)	0 (-)	1 (50.0%)	1 (50.0%)	0 (-)	0 (-)
女	90 (36.9%)	88 (36.7%)	0 (-)	0 (-)	1 (50.0%)	1 (50.0%)	0 (-)	0 (-)
合計	244	240	0	0	2	2	0	0

4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
1歳未満	4(1.6%)	4(1.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
1歳以上5歳未満	1(0.4%)	1(0.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
5歳以上10歳未満	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
10歳代	4(1.6%)	4(1.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
20歳代	5(2.0%)	5(2.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
30歳代	7(2.9%)	7(2.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
40歳代	8(3.3%)	8(3.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
50歳代	14(5.7%)	14(5.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
60歳代	40(16.4%)	40(16.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
70歳代	51(20.9%)	50(20.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(50.0%)	0(-)	0(-)
80歳代	93(38.1%)	91(37.9%)	0(-)	0(-)	1(50.0%)	1(50.0%)	0(-)	0(-)
90歳以上	17(7.0%)	16(6.7%)	0(-)	0(-)	1(50.0%)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	244	240	0	0	2	2	0	0

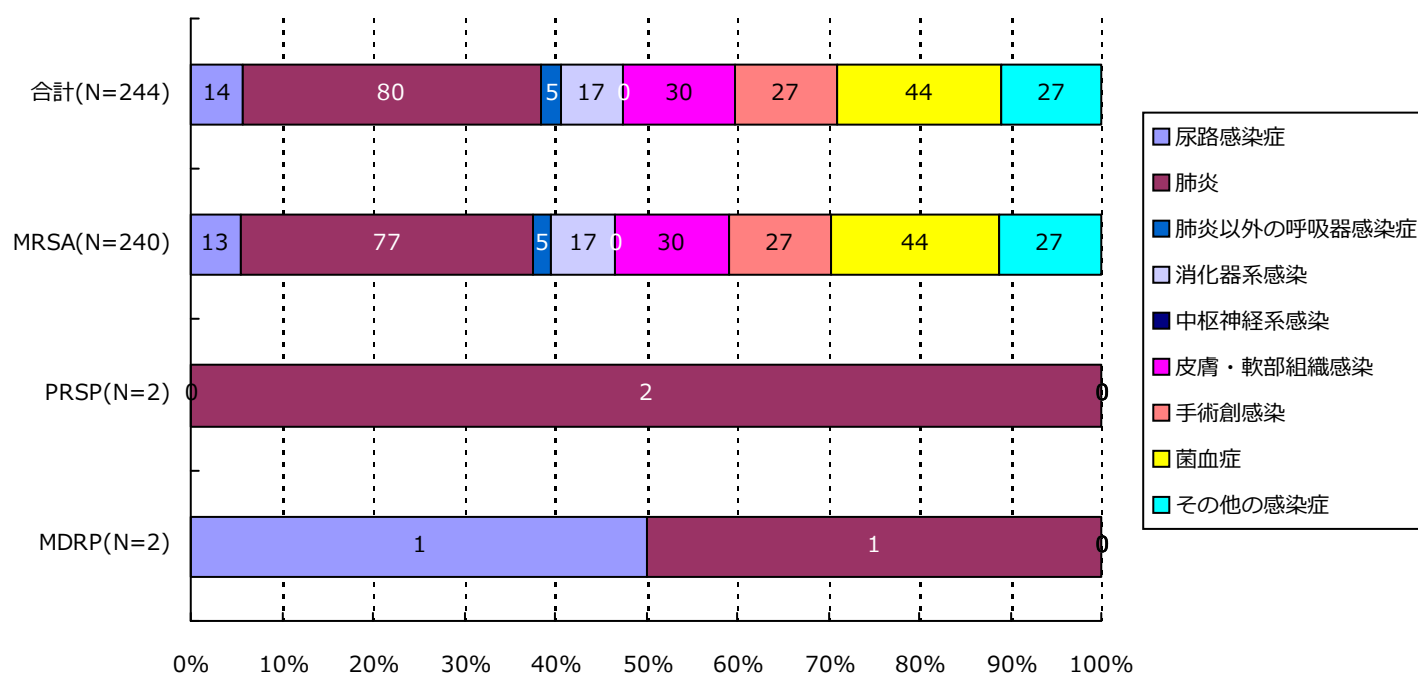
5. 耐性菌新規感染症患者の検体*内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
呼吸器系	86(35.2%)	83(34.6%)	0(-)	0(-)	2(100.0%)	1(50.0%)	0(-)	0(-)
尿検体	10(4.1%)	9(3.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(50.0%)	0(-)	0(-)
便検体	10(4.1%)	10(4.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
血液検体	56(23.0%)	56(23.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
髄液検体	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	82(33.6%)	82(34.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	244	240	0	0	2	2	0	0

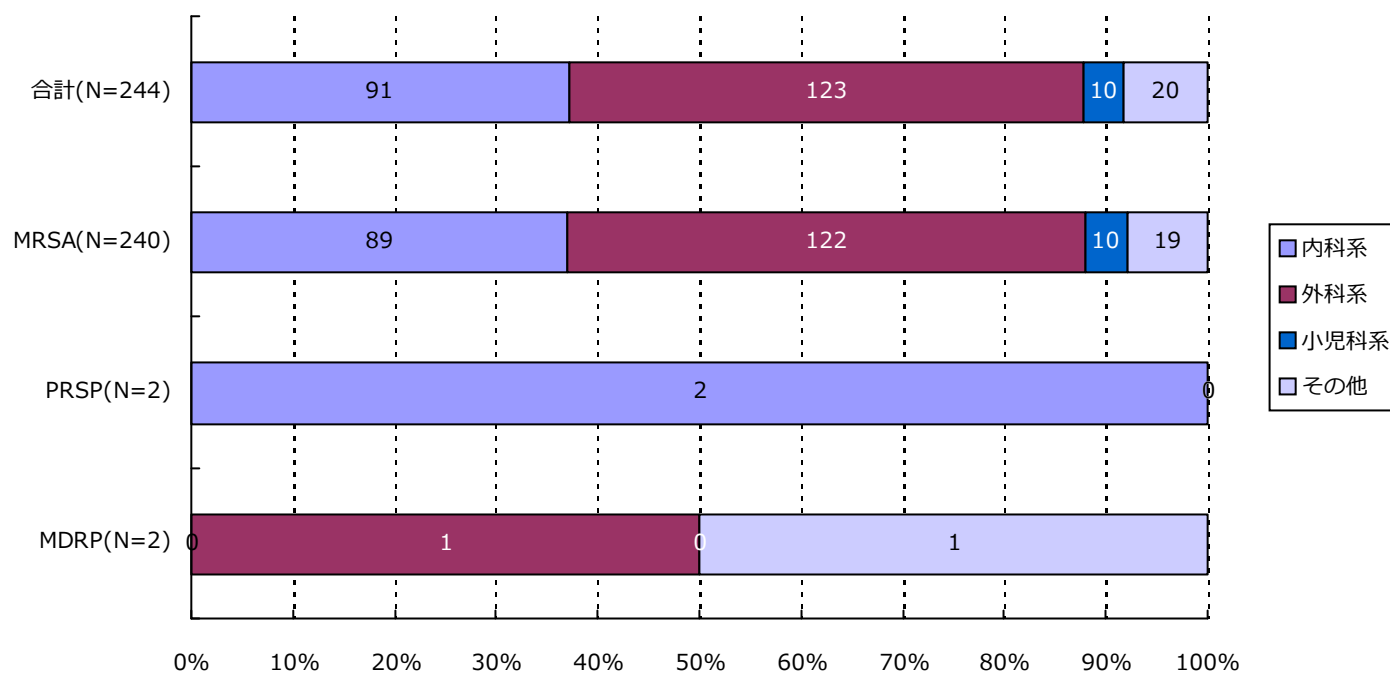
*検体区分については巻末の資料 1 を参照

6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
尿路	14(5.7%)	13(5.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(50.0%)	0(-)	0(-)
肺炎	80(32.8%)	77(32.1%)	0(-)	0(-)	2(100.0%)	1(50.0%)	0(-)	0(-)
肺炎以外	5(2.0%)	5(2.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
消化器系	17(7.0%)	17(7.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
中枢神経系	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
皮膚・軟部	30(12.3%)	30(12.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
手術創	27(11.1%)	27(11.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
菌血症	44(18.0%)	44(18.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	27(11.1%)	27(11.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	244	240	0	0	2	2	0	0

7. 耐性菌新規感染症患者の診療科*別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
内科系	91(37.3%)	89(37.1%)	0(-)	0(-)	2(100.0%)	0(-)	0(-)	0(-)
外科系	123(50.4%)	122(50.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(50.0%)	0(-)	0(-)
小児科系	10(4.1%)	10(4.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	20(8.2%)	19(7.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(50.0%)	0(-)	0(-)
合計	244	240	0	0	2	2	0	0

*診療科の内訳については巻末の資料2を参照

・資料 1

呼吸器系検体	喀出痰
	気管内採痰
	気管支洗浄液
	咽頭粘液
	鼻腔内
	口腔内
	生検材料(肺)
	胸水
	その他(呼吸器)
尿検体	自然排尿
	採尿カテーテル
	留置カテーテル
	カテーテル尿
便検体	糞便
血液検体	静脈血
	動脈血
髄液検体	髄液
その他	尿道分泌液
	膣分泌液
	胃・十二指腸液
	胆汁
	生検材料(消化管)
	腹水
	関節液
	その他

・資料 2

内科系	内科
	循環器内科
	神経内科
	呼吸器内科
	消化器内科
	胃腸科
	内分泌・代謝内科
	腎臓内科
	糖尿病内科
	アレルギー・膠原病内科
	膠原病内科
	アレルギー内科
	リウマチ内科
	血液内科
	感染症内科
	老人内科
	心療内科
	その他
神経科	
精神科	
放射線科	
総合診療部	
救急部	
救急・集中治療部	
集中治療部(ICU)	
冠動脈疾患集中治療部(CCU)	
内視鏡科	
透析科	
理学療法・リハビリテーション科	
理学療法科	
リハビリテーション科	
麻酔科	
その他	

外科系	外科
	消化器外科
	肛門科
	肝胆脾外科
	心臓血管外科
	内分泌外科
	呼吸器外科
	小児外科
	小児循環器外科
	小児消化器外科
	産婦人科
	産科
	婦人科
	整形外科
	美容外科
	眼科
	耳鼻咽喉科
	気管食道科
	泌尿器科
	皮膚・泌尿器科
皮膚科	
脳神経外科	
形成外科	
歯科口腔外科	
歯科	
小児歯科	
矯正歯科	
口腔外科	
手術部	
移植・人工臓器科	

小児科系	小児科
	新生児科
	新生児集中治療部(NICU)
	周産期センター

資料 3 厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 薬剤耐性菌 判定基準 (Ver.3.1)

菌名	概要*	菌名コード	微量液体希釈法の基準*	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)	MPIPC が “R” の <i>Staphylococcus aureus</i> (または CFX がディスク拡散法で “R”)、または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC \geq 4 μ g/ml	MPIPC \leq 10mm または CFX \leq 21mm
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	VCM が微量液体希釈法で “R” の <i>Staphylococcus aureus</i>	1301、1303-1306	VCM \geq 16 μ g/ml	
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・ VCM が微量液体希釈法で耐性 + ・ VCM がディスク拡散法で “R” ・ 選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp. は除く	1201、1202、1205、1206、1209、1210、1213-1217	VCM \geq 16 μ g/ml +	VCM \leq 14mm
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	PCG が微量液体希釈法で耐性 +、または MPIPC がディスク拡散法で “S 以外” の <i>Streptococcus pneumoniae</i>	1131	PCG \geq 0.125 μ g/ml +	MPIPC \leq 19mm または PCG が試薬会社の基準で “S 以外” (例 \leq 23mm) ‡
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	下記のすべての条件を満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・ カルバペネム系 (IPM、MEPM のいずれか) が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX、GFLX のいずれか)	4001	IPM・MEPM \geq 16 μ g/ml + AMK \geq 32 μ g/ml + NFLX \geq 16 μ g/ml OFLX・LVFX・LFLX・GFLX \geq 8 μ g/ml CPFX \geq 4 μ g/ml	IPM・MEPM \leq 13mm + AMK \leq 14mm NFLX・OFLX \leq 12mm LVFX \leq 13mm、LFLX \leq 18mm CPFX \leq 15mm、GFLX \leq 14mm
多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)	下記のすべての条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp. ・ カルバペネム系が “R” (IPM、MEPM のいずれか) ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (LVFX、CPFX、GFLX のいずれか)	4400-4403	IPM・MEPM \geq 16 μ g/ml AMK \geq 32 μ g/ml + LVFX・GFLX \geq 8 μ g/ml CPFX \geq 4 μ g/ml	IPM・MEPM \leq 13mm AMK \leq 14mm LVFX \leq 13mm、GFLX \leq 14mm CPFX \leq 15mm
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE)	下記のいずれかの条件を満たす腸内細菌科細菌 ・ MEPM が耐性 + ・ IPM が耐性 +、かつ CMZ が “R”	2000-2691、3150-3151	MEPM \geq 2 μ g/ml + IPM \geq 2 μ g/ml + かつ CMZ \geq 64 μ g/ml	MEPM \leq 22mm IPM \leq 22mm、かつ CMZ \leq 12mm

* 原則 S,I,R の判定は CLSI2012(M100-S22)に準拠

+ 感染症発生動向調査の基準に準拠

‡ PR(I)SP のスクリーニングにディスク拡散法で PCG を用いることは推奨されていないが、国内の現状を考慮し採用